

The 68th National Convention of IPSJ
平成18年



第68回全国大会 大会案内 / プログラム

未来を拓く情報学

2006.3.7 (火) ▶ 10 (金)

会場：工学院大学新宿キャンパス
東京都新宿区西新宿1-24-2

《大会会期中》

Tel/Fax (03)3340-0161

《聴講参加費》(税込)

正会員3,000円 正会員(CD付)8,000円 非会員6,000円 学生無料

《講演論文集》(税込)

4冊セット(CD-ROM1枚付) 43,000円

分冊 9,000円

CD-ROM 7,000円

《懇親会参加費》(税込)

一般5,000円 学生3,000円

第68回全国大会スポンサー

MATHEMATICAL
SYSTEMS INC.

株式会社 数理システム

とめ

株式会社 とめ研究所



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp/>

プログラム目次

会場案内図	1
工学院大学新宿キャンパス図	2
館内案内図	3
プログラム概要	7
講演論文集分類と内容	11
情報処理学会創立 45 周年記念イベント	
日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム	12
全国大会イベント企画	13
情報処理学会創立 45 周年記念イベント	
日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム概要	16
全国大会イベント企画概要	18
プログラム詳細	31

(第1分冊 アーキテクチャ)

1A ハイパフォーマンスコンピューティング (一般セッション)	31
2A 計算機システム (一般セッション)	31
3A 設計自動化技術 (1) (一般セッション)	31
4A OS 構成法 (一般セッション)	31
5A 組込みシステム (一般セッション)	31
1J 分散・実時間システムとセキュリティ (学生セッション)	31
2J ハイパフォーマンスコンピューティング (学生セッション)	31
3J プロセッサと高速化 (学生セッション)	32
4J コンパイラ (学生セッション)	32
5J 大規模システムと結合網 (学生セッション)	32
6J 設計自動化技術 (2) (学生セッション)	32
デモセッション	32

(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

6A 分析/設計・学習 (一般セッション)	32
7A 品質・テスト (一般セッション)	32
2B アルゴリズムとその応用 (一般セッション)	32
3B グラフ・アルゴリズム (一般セッション)	32
4F サービス・アспект指向 (一般セッション)	33
7J 開発支援・分析/設計 (学生セッション)	33
2K 変換/合成・検証 (学生セッション)	33
3K Web・サービス指向 (学生セッション)	33
5K アルゴリズムと数理モデル化 (学生セッション)	33
6K 品質・メトリクス (学生セッション)	33

(第2分冊 人工知能と認知科学)

4B 音声言語情報処理 (一般セッション)	35
5B 生体情報処理 (一般セッション)	35
6B 知的システム (一般セッション)	35
7B 探索と学習 (一般セッション)	35
2C 色彩画像処理・画像検索 (一般セッション)	35
3C 画像の理解 (一般セッション)	35
4C 動画・立体視・医用画像 (一般セッション)	35
5C 自然言語処理 (一般セッション)	36
2H 音楽情報科学 (3) (一般セッション)	36
7K AI 応用 (学生セッション)	36
1L 遺伝的アルゴリズム (学生セッション)	36
2L 音楽情報科学 (1) (学生セッション)	36
3L 音楽情報科学 (2) (学生セッション)	36
4L 複雑系 (学生セッション)	36
5L マルチエージェントシステム (学生セッション)	37
6L 学習 (学生セッション)	37
7L ニューラルネットワーク (学生セッション)	37
2M 画像の合成と抽出 (学生セッション)	37
3M 画像検索技術 (学生セッション)	37
4M 人間情報の画像処理技術 (学生セッション)	38

5M 音声言語情報処理 (学生セッション)	38
6M セキュリティ画像処理技術・医療画像処理 (学生セッション)	38
7M ロボットビジョン・3次元画像処理 (学生セッション)	38
1N 情報抽出と解析 (学生セッション)	38
2N 感性画像情報処理 (学生セッション)	38
3N 文書分類と情報検索 (学生セッション)	39
4N コーパス・辞書・概念 (学生セッション)	39
5N 対話と生成 (学生セッション)	39
デモセッション	39

(第3分冊 データベースとメディア)

6C 特徴抽出と応用 (一般セッション)	40
7C 文書処理 (一般セッション)	40
1D セキュリティ (一般セッション)	40
4D 情報分類・検索 (一般セッション)	40
5D パフォーマンス (一般セッション)	40
6D コンテンツ管理・流通 (一般セッション)	40
7D マルチメディア (一般セッション)	40
1E Web (一般セッション)	41
2E XML (一般セッション)	41
6N セマンティックウェブとオントロジー (学生セッション)	41
7N 高速化・高機能化 (学生セッション)	41
1P マルチメディア (学生セッション)	41
2P Blog と RSS (学生セッション)	41
3P Web マイニングとコミュニケーション (学生セッション)	41
4P 推薦システム (学生セッション)	42
5P Web 応用 (学生セッション)	42
6P Web (学生セッション)	42
7P データマイニング (学生セッション)	42
1Q 知財・コンテンツ管理 (学生セッション)	42
デモセッション	42

(第3分冊 ネットワーク)

3E 移動体ネットワーク・遠隔監視 (一般セッション)	43
4E セキュリティ (1) (一般セッション)	43
5E セキュリティ (2) (一般セッション)	43
6E 分散システム・ネットワーク運用管理 (1) (一般セッション)	43
7E 分散システム・ネットワーク運用管理 (2) (一般セッション)	43
1F 社会システム基盤 (一般セッション)	43
2F マルチメディアシステム (一般セッション)	44
3F センサーネットと関連技術 (一般セッション)	44
5F 電子タグ・携帯機器サービス (一般セッション)	44
6F アドホックネットワーク (一般セッション)	44
2Q P2P (学生セッション)	44
3Q ナビゲーションシステム (学生セッション)	44
4Q ユビキタスコンピューティング (学生セッション)	44
5Q ITS と位置情報サービス (学生セッション)	45
6Q モバイルアプリケーション (1) (学生セッション)	45
7Q モバイルアプリケーション (2) (学生セッション)	45
1R ストリーミング (学生セッション)	45
2R 分散システムとウェブサービス (学生セッション)	45
3R ネットワーク構築, 管理, QoS (学生セッション)	46
4R アドホックネットワーク (学生セッション)	46
5R モバイル IP (学生セッション)	46
6R ネットワークセキュリティ (1) (学生セッション)	46
7R ネットワークセキュリティ (2) (学生セッション)	46
1S 無線ネットワーク (学生セッション)	46

2S	分散システム／グリッド (学生セッション)	47
	デモセッション	47

(第4分冊 インタフェース)

7F	モデリング及びCAD (一般セッション)	48
1G	コミュニケーションとインタフェース (一般セッション)	48
2G	作業支援のインタフェース (一般セッション)	48
3G	レンダリング (一般セッション)	48
4G	グループウェア (一般セッション)	48
3S	顔と表情 (学生セッション)	48
4S	マルチメディア／マルチモーダルインタフェース (学生セッション)	48
5S	感性情報処理 (学生セッション)	49
6S	情報提示と視覚化 (学生セッション)	49
1T	コミュニケーションとインタフェース (学生セッション)	49
2T	レンダリング (学生セッション)	49
3T	入力インタフェース (学生セッション)	49
4T	可視化及び非写実的レンダリング (学生セッション)	49
5T	複合現実感 (学生セッション)	50
6T	協調作業のインタフェース (学生セッション)	50
7T	コミュニケーション一般 (学生セッション)	50
1U	モデリング及びアニメーション (学生セッション)	50
2U	情報共有ソフトウェア (学生セッション)	50
	デモセッション	50

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

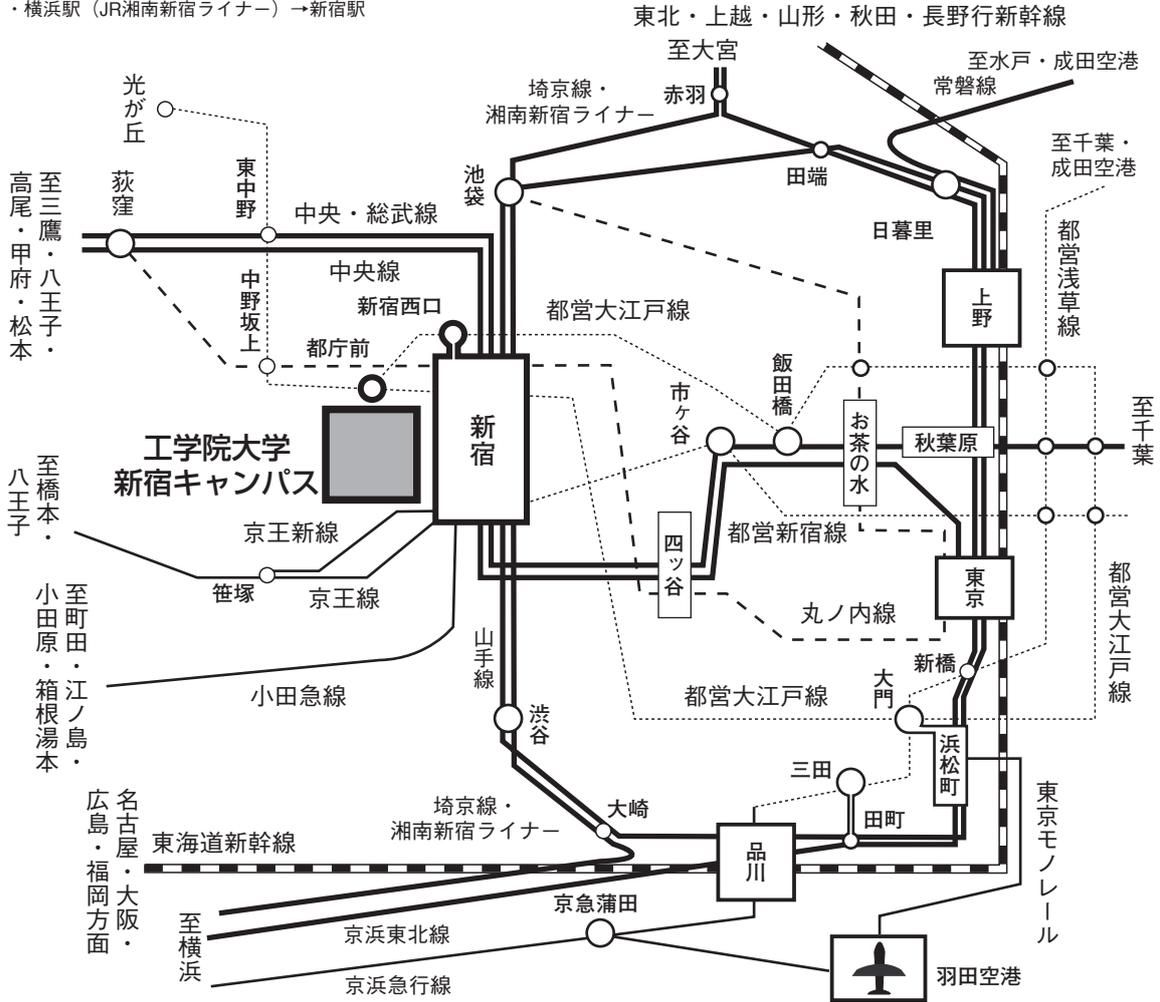
5G	産業と医療の情報システム (一般セッション)	51
6G	情報管理 (一般セッション)	51
7G	コンピュータと社会 (一般セッション)	51
1H	情報教育 (一般セッション)	51
3H	教育システム (1) (一般セッション)	51
4H	教育支援 (一般セッション)	51
5H	企業と情報システム (一般セッション)	52
6H	教育システム (2) (一般セッション)	52
7H	e-learning (一般セッション)	52
4U	自律的学習支援 (学生セッション)	52
5U	エンタテインメントコンピューティング (学生セッション)	52
6U	コンピュータと社会 (学生セッション)	53
7U	医療情報システム (学生セッション)	53
1V	教育システム (1) (学生セッション)	53
2V	バイオ情報学と身体情報処理 (学生セッション)	53
3V	組織と情報システム (学生セッション)	53
4V	教育システム (2) (学生セッション)	53
5V	教育システム (3) (学生セッション)	54
7V	情報システムの実例 (学生セッション)	54
	デモセッション	54

会場案内図

■電車 [新宿駅 (JR・東京メトロ・都営地下鉄・小田急・京王) → 徒歩約5分]
 [都庁前駅 (都営地下鉄大江戸線) → 徒歩約2分]

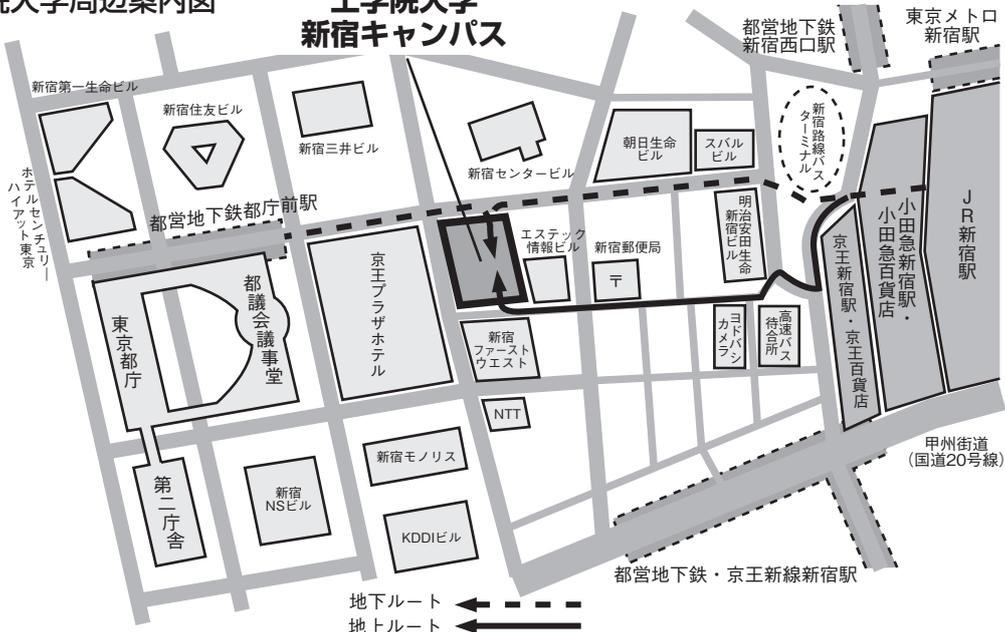
◎最寄駅までのアクセス

- ・東京駅 (JR中央線快速) → 新宿駅
- ・上野駅 (JR山手線) → 新宿駅
- ・池袋駅 (JR埼京線もしくは山手線) → 新宿駅
- ・羽田空港 (京浜急行線) → 品川駅 (JR山手線) → 新宿駅
- ・横浜駅 (JR湘南新宿ライン) → 新宿駅



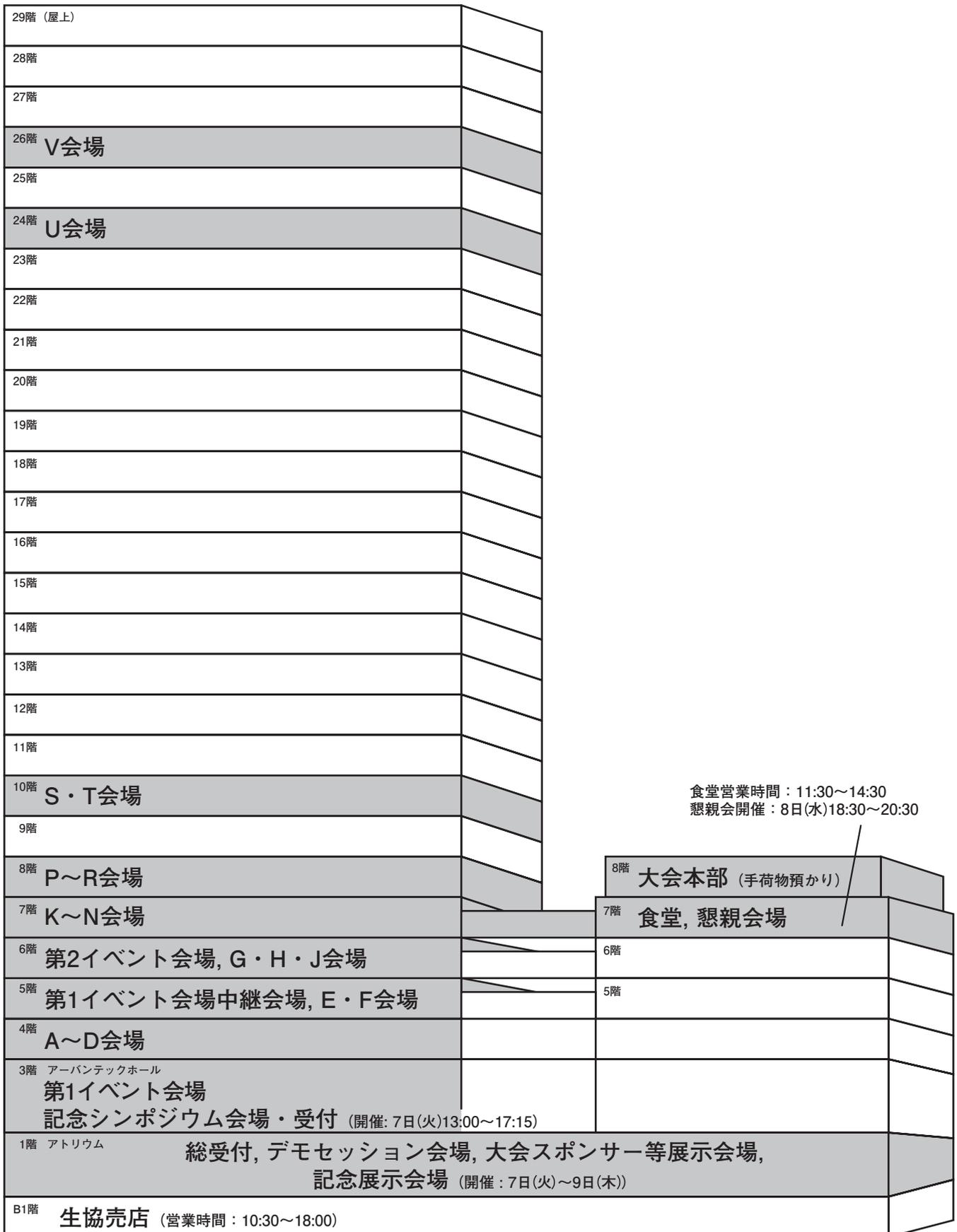
工学院大学周辺案内図

工学院大学 新宿キャンパス



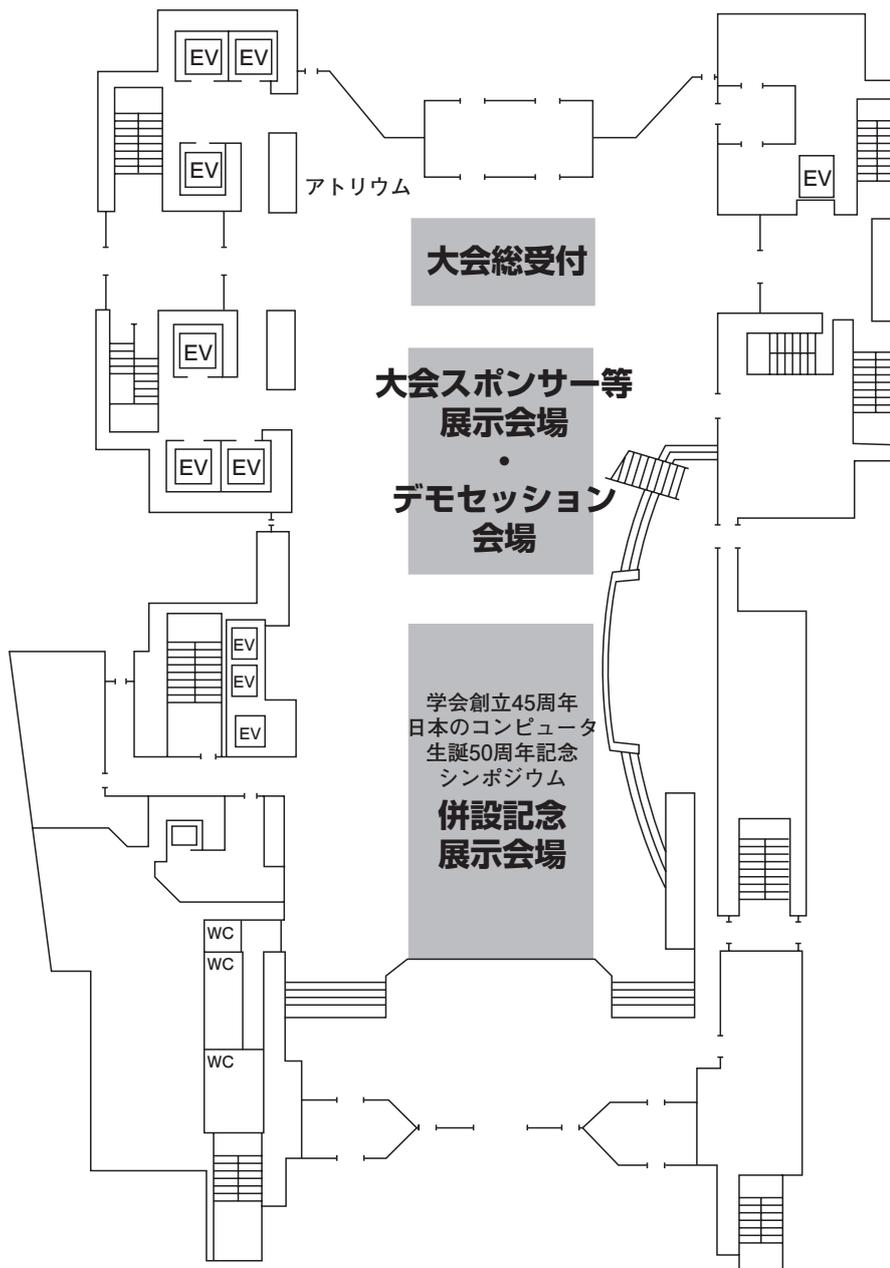
地下ルート ←
 地上ルート ←

工学院大学新宿キャンパス図

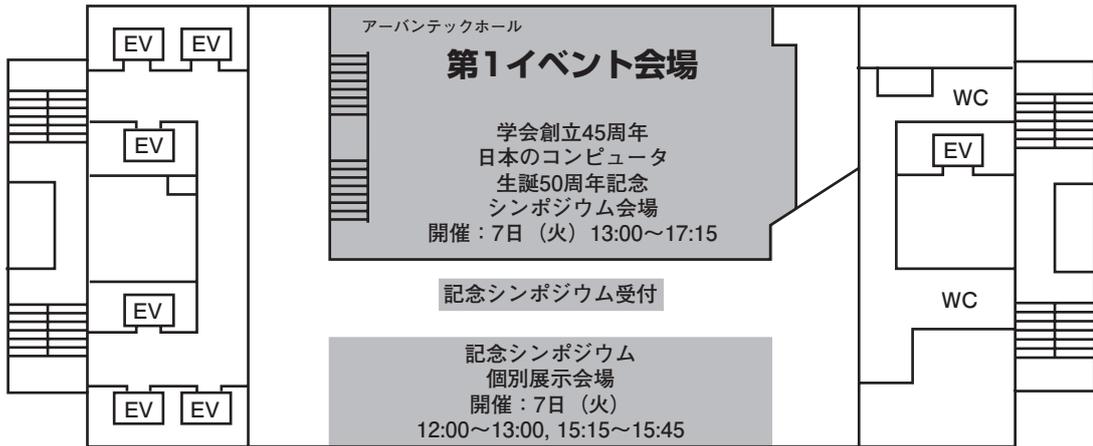


館内案内図

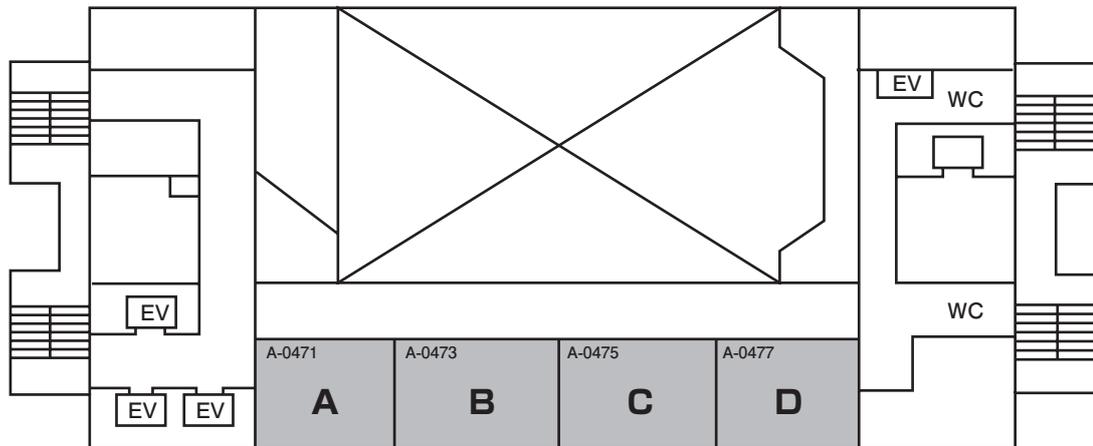
1F



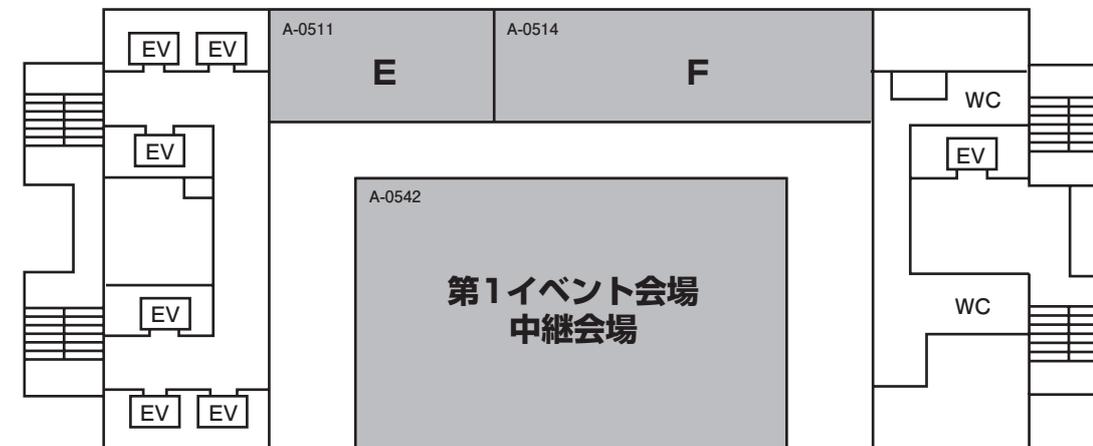
3F



4F



5F

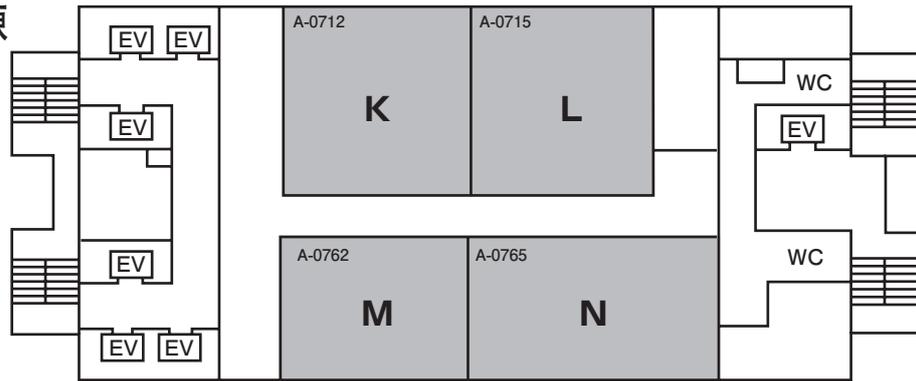


6F

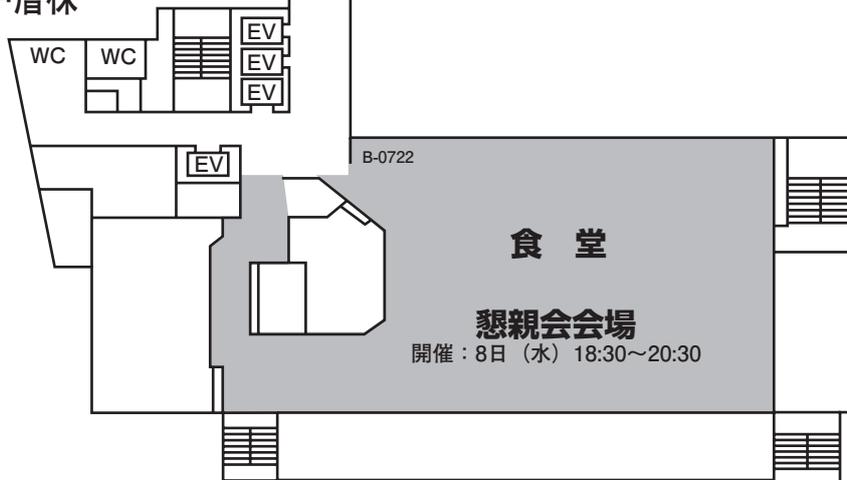


7F

高層棟

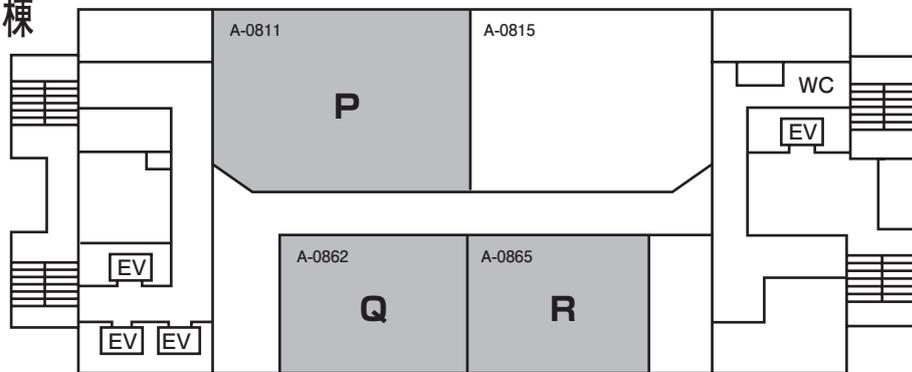


中層棟

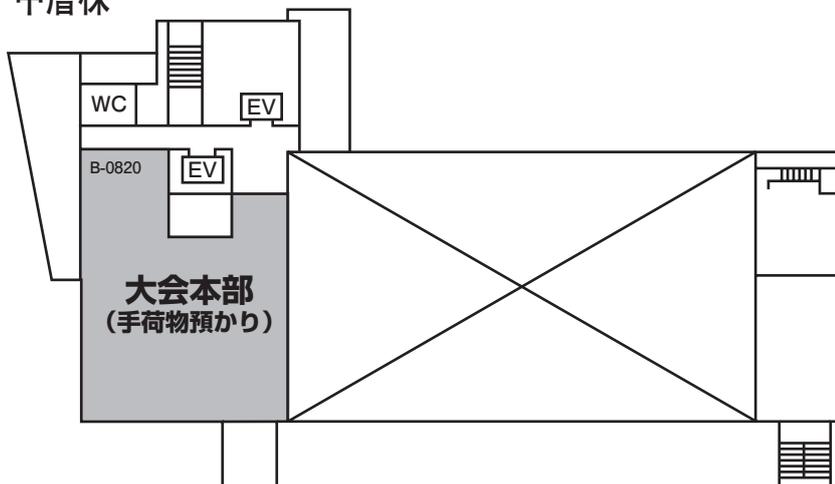


8F

高層棟

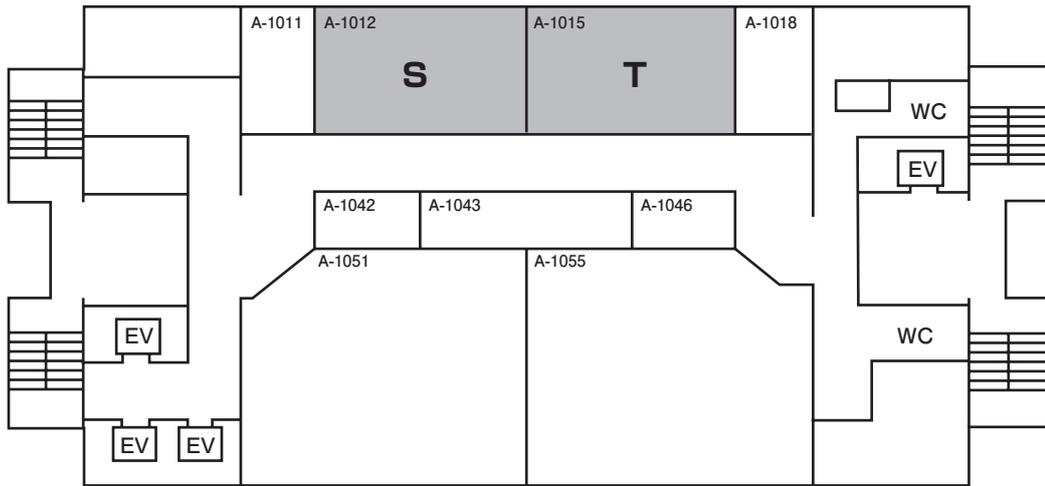


中層棟

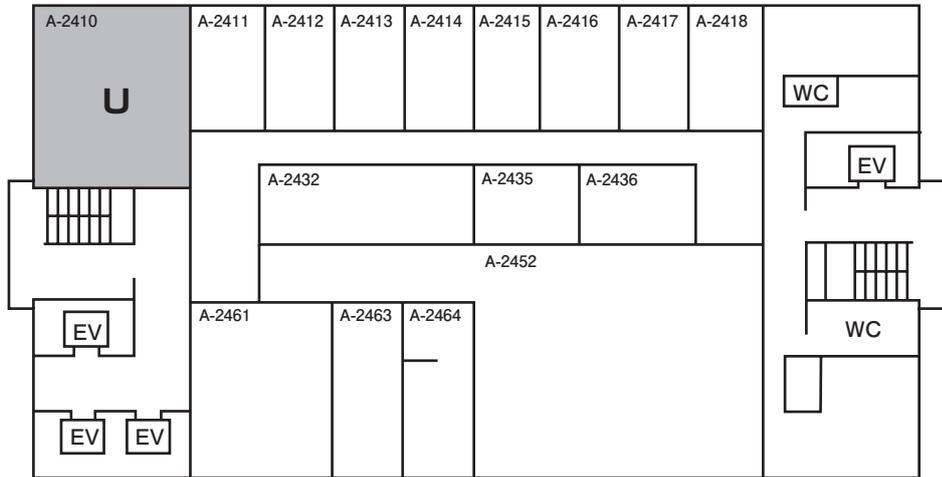


※8Fには高層棟と中層棟の連絡通路がございませんのでご注意ください。

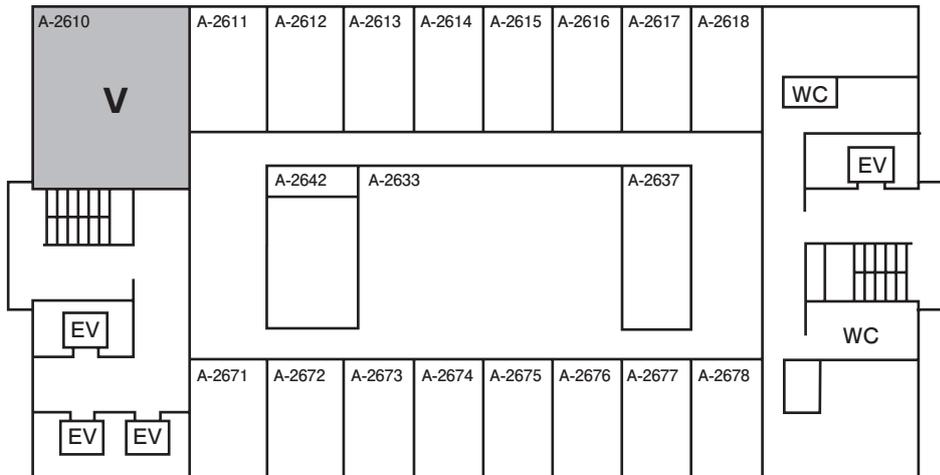
10F



24F



26F



情報処理学会 第 68 回全国大会 プログラム概要

日	会場 時間	第1イベント会場	第2イベント会場	一般セッション A	一般セッション B
		高層棟 3F アーバンテックホール	高層棟 6F A-0652教室	高層棟 4F A-0471教室	高層棟 4F A-0473教室
3月7日 (火)	9:00	情報処理学会創立45周年記念 日本のコンピュータ生誕50周年 記念シンポジウム 16		ハイパフォーマンス コンピューティング 佐藤 周行 (東大) ① 31	
	12:00				
	13:00				
3月8日 (水)	9:30	開会式 表彰式 認証式			
	10:10	招待講演 (1) 韓国の情報化経験とこれからの課題 Yang Seung Taik (東明情報大学総長) 18			
	11:10	招待講演 (2) Introduction to CAC (Computing Accreditation Commission) of ABEEK (Accreditation Board for Engineering Education of Korea) Sung Jo Kim (KISS副会長/Chung-Ang University) 18			
	13:15	特別セッション (1) ここまで来たコンピュータ将棋 13:15~15:45 人間とコンピュータの将棋の対戦 対局者：清水上 徹 (2005年アマ竜王) コンピュータ：激指 (2005年コンピュータ将棋選手権優勝)	シンポジウム 日本学術会議と「情報学」の新展開 13:15~13:45 基調講演 日本学術会議と情報学 土居 範久 (中大) 14:00~15:15 パネル討論 日本学術会議と情報学の新展開 26	計算機システム 天野 英晴 (慶大) ① 31	アルゴリズムとその応用 鹿島 久志 (日本IBM) ① 32
	15:15	16:00~18:00 パネル討論 将棋とコンピュータ	研究グループ企画 ありかな? 「でござるでござる情報保障」 ~障害のある人と考える機会を、もっと~ 15:30~17:30 講演4件 17:30~18:00 自由討論 26	設計自動化技術 (1) 西 直樹 (NEC) ① 31	グラフ・アルゴリズム 福越 宏弥 (富士通研) ① 32
	18:00				
3月9日 (木)	9:00	特別セッション (2) サービス・サイエンスの出現 9:00~10:00 基調講演 Service Sciences, Management and Engineering (SSME) Jeffrey T. Kreulen (IBM) 10:00~12:00 パネル討論 サービス・サイエンスの確立に向けて 20		OS構成法 河野 健二 (慶大) ① 31	音声言語情報処理 山田 武志 (筑波大) ② 35
	13:00	招待講演 (3) コンピュータと機械工学の45年 - ロケット・ロボット・マイクロ技術 - 三浦 宏文 (工学院大学学長) 18			
	14:30	特別セッション (3) Symbiotic Computingシンポジウム 14:30~15:10 基調講演 Symbiotic Computing - ポスト・ユビキタス情報環境へ向けて - 白鳥 則郎 (東北大) 他 講演5件	教育シンポジウム (1) 理工系情報専門学科学者の実力は?: 達成度調査の結果と分析 14:00~16:00 講演5件 16:00~17:00 総合討論 27	組み込みシステム 早川 栄一 (拓大) ① 31	生体情報処理 湯浅 将英 (電機大) ② 35
	17:30	16:50~17:30 パネル討論 Symbiotic Computing 21			
	9:00	特別セッション (4) ブロードバンド情報発信: BBコンテンツ 9:00~9:50 基調講演 未来へ輝くブロードバンドコンテンツを創る 真咲 なおこ (SKJ) 9:50~12:00 パネル討論 放送と通信の融合の本当の姿を論じる 23	教育シンポジウム (2) 高校の「情報科」教員養成における課題 - 企業・社会と高校のギャップ、 教員養成制度と教員採用のギャップ - 9:00~11:25 講演4件, 意見発表1件 11:25~12:00 パネル討論 大学の役割と高校の役割と政府・行政の役割 29	分析/設計・学習 紫合 治 (電機大) ① 32	知的システム 松平 正樹 (沖電気) ② 35
3月10日 (金)	13:00	招待講演 (4) 次世代スーパーコンピュータにかける夢 - 国家基幹技術としての推進ビジョン - 星野 利彦 (科学技術研究企画官) 19			
	14:30	特別セッション (5) 競争と協調による情報検索研究の深耕: NTCIRの足跡と未来 14:30~15:30 基調講演 5回のNTCIRの総括と今後 神門 典子 (国立情報学研) 15:30~17:00 パネル討論 オーガナイザ・参加者間の壁を壊す 24	教育シンポジウム (3) 大学の一般情報処理教育のあり方について - 2006年問題を考える - 14:30~15:50 講演2件, 調査報告1件 16:00~17:30 パネル討論 大学等における一般情報処理教育のあり方 30	品質・テスト 田村 直樹 (三菱) ① 32	探索と学習 吉田 哲也 (北大) ② 35
	17:30				

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

情報処理学会 第68回全国大会

日	会場 時間	一般セッション C 高層棟 4F A-0475教室	一般セッション D 高層棟 4F A-0477教室	一般セッション E 高層棟 5F A-0511教室	一般セッション F 高層棟 5F A-0514教室	一般セッション G 高層棟 6F A-0611教室	一般セッション H 高層棟 6F A-0615教室	
3月7日 (火)	9:00	1	セキュリティ	Web	社会システム基盤	コミュニケーションと インタフェース	情報教育	
	12:00		丸山 宏 (日本IBM)	関 洋平 (豊橋技科大)	森本喜一郎 (産能大)	堀 浩一 (東大)	兼宗 進 (一橋大)	
	13:00		③ 40	③ 41	③ 43	④ 48	④ 51	
3月8日 (水)	9:30	2	特別セッション (1) ここまで来た コンピュータ将棋 対局室	XML	マルチメディアシステム	作業支援の インタフェース	音楽情報科学 (3)	
	10:10			加藤 弘之 (国立情報学研)	井手口哲夫 (愛知県大)	横井 茂樹 (名大)	小坂 直敏 (電機大)	
	11:00			③ 41	③ 44	④ 48	② 36	
	11:10			移動体ネットワーク・ 遠隔監視	センサーネットと 関連技術	レンダリング	教育システム (1)	
	12:00				横田 英俊 (KDDI研)	秋山 康智 (三菱)	斎藤 隆文 (農工大)	金子 敬一 (農工大)
	13:15				③ 43	③ 44	④ 48	④ 51
	15:15			② 35	③ 41	③ 44	④ 48	② 36
15:30	画像の理解	移動体ネットワーク・ 遠隔監視	センサーネットと 関連技術	レンダリング	教育システム (1)			
18:00	② 35	③ 43	③ 44	④ 48	④ 51			
3月9日 (木)	9:00	動画・立体視・ 医用画像	情報分類・検索	セキュリティ (1)	サービス・ アスペクト指向	グループウェア	教育支援	
	12:00	長尾 智晴 (横浜国大)	川越 恭二 (立命館大)	菊池 浩明 (東海大)	増原 英彦 (東大)	宗森 純 (和歌山大)	大即 洋子 (清和)	
	13:00	② 35	③ 40	③ 43	① 33	④ 48	④ 51	
3月9日 (木)	14:00	5	パフォーマンス	セキュリティ (2)	電子タグ・ 携帯機器サービス	産業と医療の 情報システム	企業と情報システム	
	14:30			中川 裕志 (東大)	鈴木 優 (立命館大)	宇田 隆哉 (東京工科大)	戸辺 義人 (電機大)	山口 高平 (慶大)
3月10日 (金)	17:30	② 36	③ 40	③ 43	③ 44	④ 51	④ 52	
	9:00	特徴抽出と応用	コンテンツ管理・流通	分散システム・ ネットワーク運用管理 (1)	アドホックネットワーク	情報管理	教育システム (2)	
	12:00	金子 邦彦 (九大)	山田 誠二 (国立情報学研)	加藤 由花 (電通大)	石原 進 (静岡大)	辻 秀一 (東海大)	中平 勝子 (長岡技科大)	
	13:00	③ 40	③ 40	③ 43	③ 44	④ 51	④ 52	
	14:00	7	マルチメディア	分散システム・ ネットワーク運用管理 (2)	モデリング及びCAD	コンピュータと社会	e-learning	
14:30	武田 正之 (東理大)			船生 豊 (岩手県大)	今泉 貴史 (千葉大)	岡田 稔 (早大)	前川 徹 (富士通総研)	渡辺 博芳 (帝京大)
17:30	③ 40	③ 40	③ 43	④ 48	④ 51	④ 52		

プログラム概要

学生セッション J 高層棟 6F A-0656教室	学生セッション K 高層棟 7F A-0712教室	学生セッション L 高層棟 7F A-0715教室	学生セッション M 高層棟 7F A-0762教室	学生セッション N 高層棟 7F A-0765教室	学生セッション P 高層棟 8F A-0811教室	学生セッション Q 高層棟 8F A-0862教室
分散・実時間システムとセキュリティ 高汐 一紀 (慶大) ① 31		遺伝的アルゴリズム 松井 正一 (電中研) ② 36		情報抽出と解析 那須川哲哉 (日本IBM) ② 38	マルチメディア 橋本 隆子 (リコー) ③ 41	知財・コンテンツ管理 石川 博 (首都大) ③ 42
ハイパフォーマンスコンピューティング 合田 憲人 (東工大) ① 31	変換/合成・検証 吉岡 信和 (国立情報学研) ① 33	音楽情報科学 (1) 平田 圭二 (NTT) ② 36	画像の合成と抽出 川崎 洋 (埼玉大) ② 37	感性画像情報処理 券 世紅 (オムロン) ② 38	BlogとRSS 中島 伸介 (奈良先端大) ③ 41	P2P 西山 智 (KDDI研) ③ 44
プロセッサと高速化 鳥居 淳 (NEC) ① 32	Web・サービス指向 坂田 祐司 (NTTデータ) ① 33	音楽情報科学 (2) 鈴木 泰山 (ビコロポ) ② 36	画像検索技術 新田 克己 (東工大) ② 37	文書分類と情報検索 相澤 彰子 (国立情報学研) ② 39	Webマイニングとコミュニケーション 浦本 直彦 (日本IBM) ③ 41	ナビゲーションシステム 屋代 智之 (千葉工大) ③ 44
コンパイラ 佐藤 真琴 (日立) ① 32		複雑系 栗原 聡 (阪大) ② 36	人間情報の画像処理技術 和田 俊和 (和歌山大) ② 38	コーパス・辞書・概念 熊野 正 (NHK技研) ② 39	推薦システム 仲尾 由雄 (富士通研) ③ 42	ユビキタスコンピューティング 堀内 浩規 (KDDI研) ③ 44
大規模システムと結合網 横田 隆史 (宇都宮大) ① 32	アルゴリズムと数理モデル化 廣安 知之 (同志社大) ① 33	マルチエージェントシステム 北村 泰彦 (関西学院大) ② 37	音声言語情報処理 大淵 康成 (日立) ② 38	対話と生成 中岩 浩巳 (NTT) ② 39	Web応用 大山 敬三 (国立情報学研) ③ 42	ITSと位置情報サービス 萬代 雅希 (静岡大) ③ 45
設計自動化技術 (2) 島崎 健二 (松下) ① 32	品質・メトリクス 渡辺 博之 (オージス総研) ① 33	学習 宮崎 和光 (大学評価・学位授与機構) ② 37	セキュリティ画像処理技術・医療画像処理 羽下 哲司 (三菱) ② 38	セマンティックウェブとオントロジー 新 麗 (IIJ) ③ 41	Web 岩山 真 (日立) ③ 42	モバイルアプリケーション (1) 萩野 浩明 (NTTドコモ) ③ 45
開発支援・分析/設計 沖田 直幸 (横河電機) ① 33	AI応用 駒谷 和範 (京大) ② 36	ニューラルネットワーク 小野田 崇 (電中研) ② 37	ロボットビジョン・3次元画像処理 倉爪 亮 (九大) ② 38	高速化・高機能化 金政 泰彦 (富士通研) ③ 41	データマイニング 松本 一則 (KDDI研) ③ 42	モバイルアプリケーション (2) 北形 元 (東北大) ③ 45

情報処理学会 第68回全国大会 プログラム概要

日	会場 時間	学生セッション R 高層棟 8F A-0865教室	学生セッション S 高層棟 10F A-1012教室	学生セッション T 高層棟 10F A-1015教室	学生セッション U 高層棟 24F A-2410教室	学生セッション V 高層棟 26F A-2610教室	デモセッション デモセッション会場 併設記念展示会場 高層棟 1F アトリウム	
3月7日 (火)	9:00	ストリーミング 山崎 克之 (KDDI研)	無線ネットワーク 齋藤 正史 (三菱)	コミュニケーションと インタフェース 今井 倫太 (慶大)	モデリング及び アニメーション 山口 泰 (東大)	教育システム (1) 中野 由章 (千里金蘭大)	日本のコンピュータ 生誕50周年記念シンポジウム 併設記念展示会	
	12:00	③ 45	③ 46	④ 49	④ 50	④ 53		
	13:00	/						
3月8日 (水)	17:00	/						日本のコンピュータ 生誕50周年記念シンポジウム 併設記念展示会 デモセッション
	9:30	/						
	10:10	/						
	11:00	/						
	11:10	/						
	12:00	/						
3月8日 (水)	13:15	分散システムと ウェブサービス 安東 孝二 (東大)	分散システム/グリッド 弓場 敏嗣 (電通大)	レンダリング 柿本 正憲 (日本SGI)	情報共有ソフトウェア 國藤 進 (北陸先端大)	バイオ情報学と 身体情報処理 関嶋 政和 (産総研)	デモセッション	
	15:15	③ 45	③ 47	④ 49	④ 50	④ 53		
	15:30	ネットワーク構築, 管理, QoS 地引 昌弘 (NEC)	顔と表情 金子 正秀 (電通大)	入力インタフェース 角田 博保 (電通大)	/			組織と情報システム 鎌田真由美 (日本IBM)
3月9日 (木)	18:00	③ 46	③ 48	④ 49	/		④ 53	
	9:00	アドホックネットワーク 尾上 裕子 (NTTドコモ)	マルチメディア/ マルチモーダル インタフェース 長 幾朗 (早大)	可視化及び 非写実的レンダリング 斎藤 豪 (東工大)	自律的学習支援 佐渡 一広 (群馬大)	教育システム (2) 石田 厚子 (日立)	日本のコンピュータ 生誕50周年記念シンポジウム 併設記念展示会 デモセッション	
	12:00	③ 46	④ 48	④ 49	④ 52	④ 53		
	13:00	/						
	14:00	/						
14:30	モバイルIP 佐藤 永欣 (東洋大)	感性情報処理 杉本 富利 (東洋大)	複合現実感 岡田 義広 (九大)	エンタテインメント コンピューティング 稲見 昌彦 (電通大)	教育システム (3) 小山 博史 (ガリレオ)			
3月10日 (金)	17:30	③ 46	④ 49	④ 50	④ 52	④ 54		
	9:00	ネットワーク セキュリティ (1) 寺田 真敏 (日立)	情報提示と視覚化 三浦 元喜 (北陸先端大)	協調作業の インタフェース 市村 哲 (東京工科大)	コンピュータと社会 仲谷 善雄 (立命館大)	/		デモセッション
	12:00	③ 46	④ 49	④ 50	④ 53	/		
	13:00	/						
	14:00	/						
14:30	ネットワーク セキュリティ (2) 竹森 敬祐 (KDDI研)	/		コミュニケーション一般 井上 智雄 (筑波大)	医療情報システム 松家 英雄 (産能大)	情報システムの実例 刀川 真 (NTTデータ)		
3月10日 (金)	17:30	③ 46	/		④ 50	④ 53	④ 54	

第 68 回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内はセッション会場名)

●第 1 分冊

- ・アーキテクチャ
計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング,
エレクトロニクス設計自動化・CAD
(1A ~ 5A, 1J ~ 6J)
(デモセッション: デ-06, デ-15)
- ・ソフトウェア科学・工学
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング
(6A, 7A, 2B, 3B, 4F, 7J, 2K, 3K, 5K, 6K)

●第 2 分冊

- ・人工知能と認知科学
人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学
(4B ~ 7B, 2C ~ 5C, 2H, 7K, 1L ~ 7L, 2M ~ 7M, 1N ~ 5N)

(デモセッション: デ-01, デ-17)

●第 3 分冊

- ・データベースとメディア
データベース, 情報検索, メディアと情報開発・共有・流通
(6C, 7C, 1D, 4D ~ 7D, 1E, 2E, 6N, 7N, 1P ~ 7P, 1Q)
(デモセッション: デ-04, デ-09, デ-11, デ-12, デ-13, デ-14)
- ・ネットワーク
マルチメディア通信と分散処理, 分散システム運用, マルチメディア符号化, モバイルコンピューティング, ITS
(3E ~ 7E, 1F ~ 3F, 5F, 6F, 2Q ~ 7Q, 1R ~ 7R, 1S, 2S)
(デモセッション: デ-05, デ-10)

●第 4 分冊

- ・インタフェース
ヒューマンインタフェース, グループウェア, グラフィクスと CAD, 仮想現実感
(7F, 1G ~ 4G, 3S ~ 6S, 1T ~ 7T, 1U, 2U)
(デモセッション: デ-02, デ-03, デ-08)
- ・コンピュータと人間社会
情報システム, コンピュータ教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, バイオ情報学,
エンタテインメントコンピューティング, 標準化, その他
(5G ~ 7G, 1H, 3H ~ 7H, 4U ~ 7U, 1V ~ 5V, 7V)
(デモセッション: デ-07, デ-16)

－全国大会イベント企画－

- ・招待講演 (1) : 「韓国の情報化経験とこれからの課題」
Yang Seung Taik (東明情報大学総長)
- ・招待講演 (2) : 「Introduction to CAC (Computing Accreditation Commission) of ABEEK
(Accreditation Board for Engineering Education of Korea)」
Sung Jo Kim (KISS 副会長 / Chung-Ang University)
- ・招待講演 (3) : 「コンピュータと機械工学の45年－ロケット・ロボット・マイクロ技術－」
三浦 宏文 (工学院大学学長)
- ・招待講演 (4) : 「次世代スーパーコンピュータにける夢－国家基幹技術としての推進ビジョン－」
星野 利彦 (情報科学技術研究企画官)
- ・特別セッション (1) : ここまで来たコンピュータ将棋
- ・特別セッション (2) : サービス・サイエンスの出現
- ・特別セッション (3) : Symbiotic Computing シンポジウム
- ・特別セッション (4) : ブロードバンド情報発信: BB コンテンツ
- ・特別セッション (5) : 競争と協調による情報検索研究の深耕: NTCIR の足跡と未来
- ・シンポジウム: 日本学術会議と「情報学」の新展開
- ・研究グループ企画: ありかな? 「てごろでがっちり情報保障」～障害のある人と考える機会を, もっと
- ・教育シンポジウム (1) : 理工系情報専門学科学生の実力は?: 達成度調査の結果と分析
- ・教育シンポジウム (2) : 高校の「情報科」教員養成における課題
－企業・社会と高校のギャップ, 教員養成制度と教員採用のギャップ－
- ・教育シンポジウム (3) : 大学の一般情報処理教育のあり方について－2006年問題を考える－

－全国大会 会場別プログラム－

【第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)】		
日	時間	内 容
8	9:30-10:10	[9:30- 9:50] 開会式 / 第67回全国大会優秀賞・奨励賞表彰式 開会の挨拶: 安西 祐一郎 (本学会会長) プログラム委員長挨拶: 権塚 久雄 (工学院大) 第67回全国大会優秀賞・奨励賞表彰式 [9:50-10:00] フェロー認証式 [10:00-10:05] 学会活動貢献賞表彰式 [10:05-10:10] 優秀教育賞 優秀教材賞表彰式
	10:10-11:00	招待講演 (1) : 韓国の情報化経験とこれからの課題 Yang Seung Taik (東明情報大学総長)
	11:10-12:00	招待講演 (2) : Introduction to CAC (Computing Accreditation Commission) of ABEEK (Accreditation Board for Engineering Education of Korea) Sung Jo Kim (KISS 韓国情報科学会副会長 / Chung-Ang University)
	特別セッション (1) : ここまで来たコンピュータ将棋	
(水)	13:15-15:45 (終了目安)	人間とコンピュータの将棋の対戦 対局者: 清水上 徹 (2005年アマ竜王 / NEC) コンピュータ: 激 指 (2005年コンピュータ将棋選手権優勝) 解説: 島 朗 (プロ棋士 八段) 司会 (聞き手): 伊藤 毅志 (電通大)
	16:00-18:00 (対局終了後)	パネル討論: 将棋とコンピュータ 司 会: 松原 仁 (はこだて未来大) ゲ ス ト: 清水上 徹 (2005年アマ竜王 / NEC) パネリスト: 伊藤 毅志 (電通大), 島 朗 (プロ棋士八段), 鶴岡 慶雅 (激指開発者)

【第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)】		
日	時間	内 容
9	特別セッション(2): サービス・サイエンスの出現	
	9:00-10:00	基調講演: Service Sciences, Management and Engineering (SSME) Jeffrey T. Kreulen (IBM Almaden Services Research)
	10:00-12:00	パネル討論: サービス・サイエンスの確立に向けて 司 会: 丹羽 邦彦 (科学技術振興機構) パネリスト: Jeffrey T. Kreulen (IBM), 徳田 英幸 (慶大), 中島 秀之 (はこだて未来大), 内丸 幸喜 (文部科学省), 橋本 正洋 (経済産業省)
(木)	13:00-14:00	招待講演(3): コンピュータと機械工学の45年-ロケット・ロボット・マイクロ技術- 三浦 宏文 (工学院大学学長)
	特別セッション(3): Symbiotic Computing シンポジウム	
	14:30-15:10	基調講演: Symbiotic Computing -ポスト・ユビキタス情報環境へ向けて 白鳥 則郎 (東北大)
	15:10-15:30	講演(1): アンビエント・ナレッジとトラスト 田中 克己 (京大)
	15:30-15:50	講演(2): 企業・組織・共生・計算 寺野 隆雄 (東工大)
	15:50-16:10	講演(3): Social Ware 木下 哲男 (東北大)
	16:10-16:30	講演(4): ウェアラブル・ユビキタスコンピューティングと共生コンピューティング 塚本 昌彦 (神戸大)
	16:30-16:50	講演(5): ICT産業の観点での Symbiotic Computing 原 良憲 (NEC)
10	16:50-17:30	パネル討論: Symbiotic Computing 司 会: 白鳥 則郎 (東北大) パネリスト: 木下 哲男 (東北大), 田中 克己 (京大), 塚本 昌彦 (神戸大), 寺野 隆雄 (東工大), 原 良憲 (NEC)
	特別セッション(4): ブロードバンド情報発信: BB コンテンツ	
	9:00-9:50	基調講演: 未来へ輝くブロードバンドコンテンツを創る 真咲 なおこ (SKJ)
日	9:50-12:00	パネル討論: 放送と通信の融合の本当の姿を論じる 司 会: 関口 和一 (日本経済新聞社) パネリスト: 梶 明彦 (ジャルパック), 鈴木 滋彦 (NTTソフトウェア), 安田 浩 (東大)
	13:00-14:00	招待講演(4): 次世代スーパーコンピュータにける夢-国家基幹技術としての推進ビジョン- 星野 利彦 (情報科学技術研究企画官)
(金)	特別セッション(5): 競争と協調による情報検索研究の深耕: NTCIRの足跡と未来	
	14:30-15:30	基調講演: 5回のNTCIRの総括と今後 神門 典子 (国立情報学研)
	15:30-17:00	パネル討論: オーガナイザ・参加者間の壁を壊す 司 会: 酒井 哲也 (東芝) パネリスト: 伊藤 克亘 (名大), 大山 敬三 (国立情報学研), 岸田 和明 (駿河台大), 藤井 敦 (筑波大), 藤田 澄男 (ヤフー), 吉岡 真治 (北大)

【第2 イベント会場 (高層棟6F A-0652 教室)】		
日	時間	内 容
8	シンポジウム: 日本学術会議と「情報学」の新展開	
	13:15-13:45	基調講演: 日本学術会議と情報学 土居 範久 (中大)
	14:00-15:15	パネル討論: 日本学術会議と情報学の新展開 司 会: 笈 捷彦 (早大) パネリスト: 安西 祐一郎 (慶應義塾), 武市 正人 (東大), 土居 範久 (中大), 益田 隆司 (電通大), 村岡 洋一 (早大)
日	研究グループ企画: ありかな? 「てごろでがっちり情報保障」~障害のある人と考える機会を, もっと	
	15:30-16:00	講演(1): ありかな? てごろでがっちり情報保障 萩川 友宏 (静岡大)
	16:00-16:30	講演(2): 手頃な情報保障: 情報系研究者にできること 坂根 裕 (デジタルセンセーション)
	16:30-17:00	講演(3): 手頃な情報保障: 企業・大学にできること 織田 修平 (NTT)
	17:00-17:30	講演(4): 手頃な情報保障: 情報系研究者に望むこと 青柳 まゆみ (筑波大)
(水)	17:30-18:00	自由討論 司 会: 萩川 友宏 (静岡大) パネリスト: 青柳 まゆみ (筑波大), 織田 修平 (NTT), 坂根 裕 (デジタルセンセーション), 竹林 洋一 (静岡大) ※このセッションについては、障害者手帳所持者とその介助者1名については参加無料と致します ので、大会総受付にてその旨お申し出ください。

【第2 イベント会場 (高層棟 6F A-0652 教室)】

日	時間	内 容
9 日 (木)	教育シンポジウム (1) : 理工系情報専門学科学生の実力は? : 達成度調査の結果と分析	
	14:30-14:35	オープニング: シンポジウムの趣旨説明 筧 捷彦 (早大)
	14:35-15:00	講演 (1) : 達成度調査についての報告 角田 博保 (電通大)
	15:00-15:15	講演 (2) : カリキュラム検討の立場からの意見 疋田 輝雄 (明大)
	15:15-15:30	講演 (3) : アクレディテーション審査を行う立場からの意見 牛島 和夫 (九産大)
	15:30-15:45	講演 (4) : JABEE 認定校 (情報分野) からの意見 掛下 哲郎 (佐賀大)
	15:45-16:00	講演 (5) : 産業界からの意見 有賀 貞一 (CSK ホールディングス)
16:00-17:00	総合討論 司 会: 筧 捷彦 (早大) パネリスト: 有賀 貞一 (CSK ホールディングス), 牛島 和夫 (九産大), 角田 博保 (電通大), 掛下 哲郎 (佐賀大), 疋田 輝雄 (明大)	
10 日	教育シンポジウム (2) : 高校の「情報科」教員養成における課題 - 企業・社会と高校のギャップ, 教員養成制度と教員採用のギャップ -	
	9:00-9:30	講演 (1) : 情報科の教員養成に関わって (1) 辰己 丈夫 (農工大)
	9:30-10:00	講演 (2) : 高等学校における現状と課題 小原 格 (都立町田高校)
	10:10-10:40	講演 (3) : 情報科の教員養成に関わって (2) 和田 勉 (長野大)
	10:40-10:55	意見発表: 高等学校の情報科教員をめざす大学新卒者の立場から 下村 幸子 (信州大)
	10:55-11:25	講演 (4) : 社会人として必要な情報分野の資質と高校における情報教育 大久保 昇 (内田洋行)
	11:25-12:00	パネル討論: 大学の役割と高校の役割と政府・行政の役割 司 会: 立田 ルミ (獨協大) パネリスト: 大久保 昇 (内田洋行), 小原 格 (都立町田高校), 下村 幸子 (信州大), 辰己 丈夫 (農工大), 和田 勉 (長野大)
(金)	教育シンポジウム (3) : 大学の一般情報処理教育のあり方について - 2006 年問題を考える -	
	14:30-15:00	講演 (1) : 企業から見た大学の一般情報処理教育への期待 駒谷 昇一 (NTT ソフトウェア)
	15:00-15:30	講演 (2) : 早稲田大学における一般情報処理教育 楠元 範明 (早大)
	15:30-15:50	調査報告: 2006 年問題に対する大学の対応状況 河村 一樹 (東京国際大)
	16:00-17:30	パネル討論: 大学等における一般情報処理教育のあり方 司 会: 河村 一樹 (東京国際大) パネリスト: 楠元 範明 (早大), 駒谷 昇一 (NTT ソフトウェア), 竹村 治雄 (阪大)

【一般セッション: A~H 会場 (8 会場)】 高層棟 4F~6F

【学生セッション: J~V 会場 (12 会場)】 高層棟 6F~8F, 10F, 24F, 26F

7 日 (火) [9:00~12:00], 8 日 (水) [13:15~15:15, 15:30~18:00], 9 日 (木) [9:00~12:00, 14:30~17:30], 10 日 (金) [9:00~12:00, 14:30~17:30]

【デモセッション: デモ会場 (1 会場)】 高層棟 1F アトリウム

8 日 (水) [9:30~18:00], 9 日 (木) [9:00~17:30], 10 日 (金) [9:00~17:30]

【懇親会会場】 中層棟 7F 学生食堂

8 日 (水) [18:30~20:30]

情報処理学会創立 45 周年記念イベント 日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム 特別講演・基調講演・パネル討論の概要

特別講演：情報学的転回とは何か

3月7日(火) 13:35-14:30 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

西垣 通 (東京大学大学院情報学環 教授)

[講演概要]

近年、生命現象の本質に情報があることが明らかになり、世界全体が情報でできているという、いわば情報一元論が登場しつつある。これを「情報学的転回」と呼ぶことができるだろう。かつて19世紀に物理学が世界を物質とエネルギーから眺めたように、そして20世紀に言語学が世界を言語から眺めたように、21世紀の情報学は世界の万物を情報という視座から眺めるのである。しかしながら、情報処理技術の急速な進歩発展にひきかえ、情報と生命・人間・社会との関係は、まだ学問的に十分な解明がなされているとは言い難い。文と理の知をへだてる壁は厚いのである。このことが、人間をロボットのようにみなす人間機械論につながり、情報化社会の混乱や過当競争をまねく原因の1つになっているのではないだろうか。我々にとって望ましい情報学的転回とはいかなるものか、衆知をあつめるための問題提起をこころみたい。



[略歴]

1948年、東京に生まれる。東京大学工学部計数工学科卒。工学博士。(株)日立製作所主任研究員、米国スタンフォード大学客員研究員、明治大学教授、東京大学社会科学研究所教授をへて、2000年より現職。オペレーティングシステムの研究者だったが(1979年度論文賞)、のちに研究対象を広げ、現在の専攻は文理にわたる情報学・メディア論。著書に『情報学的転回』(春秋社)、『基礎情報学』(NTT出版)など多数。

基調講演：ユニバーサル・コミュニケーションの時代ー充実した情報空間の建設に向けてー

3月7日(火) 14:30-15:15 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

長尾 真 (独立行政法人情報通信研究機構 理事長)

[講演概要]

通信技術は距離と時間の壁を克服してきましたが、これからは言語や文化、身体能力などの壁をできるだけ低くし、世界中どこに居ても、自分の課題を解決し、人々と相互理解をし、心豊かに生活できる環境を作らねばなりません。そのためには、居ながらにして何でも楽しめる環境、居ながらにして何でもできる環境、各種の高度なセンシング技術によってあらゆる状況における不測の事態に対応できる環境、言語・文化を越えて五感通信をも可能とする環境などを実現する充実した情報空間の建設に向けて努力することが大切と存じます。

本講演では、情報通信技術(ICT)の将来像を展望するとともに、このような充実した情報空間(ユニバーサル・コミュニケーション)の実現に向けての課題、取り組みについて考えてゆきます。



[略歴]

1936年10月4日生。1959年京都大学工学部卒。1966年京都大学工学博士。1961年京都大学工学部助手。1967年京都大学工学部講師。1968年京都大学工学部助教授。1969年フランス・グルノーブル大学客員助教授(1970年10月帰国)1973年京都大学工学部教授。1986年京都大学大型計算機センター長(1990年まで)。1992年京都大学評議員(1994年まで)。1995年京都大学附属図書館館長(1997年まで)。1995年京都大学評議員(1997年まで)。1996年京都大学総長特別補佐(1997年まで)。1996年京都大学大学院工学研究科教授。1997年京都大学大学院工学研究科長・工学部長。1997年京都大学総長(2003年まで)。2001年国立大学協会会長(2003年まで)。2004年独立行政法人情報通信研究機構理事長。1997年紫綬褒章、2005年日本国際賞受賞。情報工学を専門分野とし、文字認識、画像処理の研究に従事し、世界的な業績をあげる。日・英語の自動翻訳の研究を中心とする自然言語の研究に従事し、機械翻訳技術の分野で世界をリードする。それらの業績により、国内外の関連学会の会長を歴任している。さらに、京都大学の学内要職に就き、総長を満期2期務める他、国立大学法人法策定過程における国立大学協会会長として同協会の運営を行うなど、組織マネジメントにも多大な業績をあげる。

パネル討論：日本のIT産業の未来を創る

3月7日(火) 15:45-17:15 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

[討論概要]

情報処理学会は1960年設立し、発展する情報処理分野で指導的役割を果たすべく活動してきました。情報関連分野の急速な拡大と多様化に対応すべく、21世紀に向けて新しい考え方を創出し活動してゆく必要があるとの認識に基づき、現在、学会として以下の3つの観点を重視し、どう活動すべきかを大いに議論しています。本パネル討論「日本のIT産業の未来を創る」では、各観点について専門家からご意見をいただき、皆様とともに議論を深めればと思います。

- (1) IT研究者と産業界をいかに融合し、日本のITパワーを増大させるか
- (2) 中学・高校・大学の教育の中で「情報」をいかに扱い、教えていくか
- (3) 日本の将来を担う若手IT研究者をいかに育てるか



司会：吉澤 康文 (東京農工大学)

[略歴]

1967年東京工業大学卒業。同年(株)日立製作所中央研究所に勤務。HITAC5020/TSSの研究開発に従事。1973年システム開発研究所。仮想記憶、大規模TSS、オンラインシステム、など大型計算機のOSの性能向上と評価、記憶管理方式、OSテスト・デバッグシステム、ハイエンドサーバ、超並列計算機、リアルタイムシステムなどの研究開発を推進。1995年より東京農工大学教授(工学博士)。

当会・理事・監事経験。フェロー会員。



パネリスト：青山 幹雄 (南山大学)

[略歴]

1980年岡山大学大学院工学研究科修士課程修了。同年富士通(株)入社。分散処理通信ソフトウェアシステムの開発、ならびに開発方法の開発と適用に従事。この間、1986～88年米国イリノイ大学客員研究員。1995年4月新潟工科大学教授。2001年4月より現職。ソフトウェア開発方法論、ソフトウェアアーキテクチャ、要求工学、ソフトウェア進化、Webサービス/サービス指向アーキテクチャ(SOA)などに興味を持つ。



パネリスト：笈 捷彦（早稲田大学）

[略歴]

1970年東京大学工学系大学院計数工学専攻修士課程修了, 同年東京大学工学部助手, 1974年立教大学理学部講師・助教授, 1986年より現職. 日本ソフトウェア科学会, 日本数学会, 日本応用数理学会, ACM 各会員. 本会フェロー, 情報処理教育委員会委員長, アクレディテーション委員会委員, 情報規格調査会 SC22 専門委員会委員長, JABEE 認定・審査調整委員会委員, プログラミングの言語, 方法, 環境, 教育に興味を持つ.



パネリスト：大堀 淳（東北大学）

[略歴]

1957年生まれ. 1981年東京大学文学部哲学科卒業. 1989年ペンシルバニア大学計算機科学科博士課程修了. Ph.D.
1981年沖電気工業（株）入社. 英国王立協会特別研究員（グラスゴー大学）, 沖電気工業（株）関西総合研究所特別研究室長, 京都大学数理解析研究所助教授, 北陸先端科学技術大学院大学教授を経て, 現在, 東北大学電気通信研究所教授.
プログラミング言語に興味を持つ.

全国大会イベント企画

招待講演・特別セッション・シンポジウム・ 研究グループ企画・教育シンポジウムの概要

招待講演 (1) : 韓国の情報化経験とこれからの課題

3月8日(水) 10:10-11:00 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

Yang Seung Taik (東明情報大学総長)

[講演概要]

韓国は広帯域インターネット普及率、インターネット利用率、無線移動通信を利用したデータ通信などにおいて、世界で最も先端を歩む国家として知られている。そしてこれらの情報化を基盤とした製品が世界の市場で頭角を現し始めている。このような韓国の情報化の成果は、この4～5年という短期間の努力の結果であると認識されている。しかしこの成果は1980年代から現在までの、持続的な努力の結果だといえる。1982年に確定、推進された、TDX 電子交換機の開発事業として始められた大型な研究開発である国策事業を続けたことによって得た、プライドや自信が、情報化の進展を加速させたと考えられる。この講演では過去の韓国の情報化推進事項を観察し、これからの方向を提示するものとする。

[略歴]



1939年生まれ、ソウル大学において電気工学学士、Virginia Polytechnic Institute 工学修士、Polytechnic Institute of Brooklyn 工学博士の学位を取得。

アメリカのベル研究所において11年間勤務後、帰国。

1980年代 TDX 電子交換機、1990年代 CDMA 移動通信システム開発事業などを主導し、韓国電子通信研究院長、韓国情報通信大学総長、情報通信部長官などを歴任し、現在東明情報大学の総長として在職中である。

招待講演 (2) : Introduction to CAC (Computing Accreditation Commission) of ABEEK (Accreditation Board for Engineering Education of Korea)

3月8日(水) 11:10-12:00 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

Sung Jo Kim (KISS 韓国情報科学会 副会長 / Chung-Ang University)

[講演概要]

Accreditation Board for Engineering Education of Korea (ABEEK) has established the standards and guidelines for engineering and related education programs and has promoted advanced engineering education in Korea since 1999. During this period, ABEEK has received recognition, approval and authorization of operation status from a national ministry of educational, legislative mandates and other authorities (governmental and non-governmental). In order to improve global competency of Korea in IT-related fields, ABEEK has launched the Computing Accreditation Commission (CAC) in 2004 as its second accreditation commission. Within ABEEK, the Computing Accreditation Commission is responsible for the accreditation of programs in computer science and information systems for outcomes-based education, while the Engineering Accreditation Commission (EAC) is responsible for the accreditation of various programs in engineering such as electrical and electronic engineering, mechanical engineering, chemical engineering, etc. In this invited speech, after presenting history of the CAC of ABEEK, I will discuss the role of the Korea Information Science Society (KISS), which is the lead society within ABEEK for accreditation of IT-related programs, followed by accreditation criteria and experiences in accreditation using the criteria.

[略歴]



Prof. Sung Jo Kim received the B.S. degree from the Seoul National University in 1975, the M.S. degree from the Korea Advanced Institute of Science and Technology in 1977, the Ph.D. degree from the University of Texas at Austin in 1987, respectively. He held a visiting professor position with the University of California - Irvine during 1997-98 academic year. He was also the Dean of Graduate School of Information and the CIO of Chung-Ang University from 1999 to 2003. He has been serving as Senior Vice Chairman of Accreditation Operation Division of Accreditation Board for Engineering Education of Korea since 2004. He has been also serving as a Vice President of the Korea Information Science Society in charge of IT Education Commission since 2005. He was the editor-in-chief of the KISS Journal during 1996-97. Currently, he is the Dean of College of Engineering and a Professor of the School of Computer Science and Engineering at Chung-Ang University. His research interests include embedded system, mobile computing system, and Linux system.

招待講演 (3) : コンピュータと機械工学の45年—ロケット・ロボット・マイクロ技術—

3月9日(木) 13:00-14:00 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

三浦 宏文 (工学院大学学長)

[講演概要]

情報処理学会が設立されたのが1960年と聞いた。私が大学を卒業した年である。私は、その年、初めてコンピュータを使用した。東大工学部6号館総合試験所に設置されていたTAC (Todai Automatic Computer) である。

それ以来、45年間、コンピュータを愛用しつつ、機械工学を専門として研究教育生活を過ごしてきたが、研究テーマは、上記副題の3つを渡り歩いた。大学2年の秋、人類最初の人工衛星スプートニクが打ち上げられた。宇宙に興味を持ち、修士、博士論文は、ロケットの誘導制御に用いられるジャイロ機器に関するものであった。当時、東大のロケットの手伝いをした。NASAのアポロ計画にも、短い期間だが参加した。ロケットの打ち上げが、大学から宇宙科学研究所へ移ったので、研究テーマをロボットに変えた。約15年後、マイクロ技術にテーマが変わった。3つのテーマとコンピュータについて話したい。

[略歴]



1960年3月東京大学工学部機械工学科卒業。1965年3月同大学院修了、工学博士。1978年2月東京大学工学部教授(機械情報工学、情報工学)、1998年3月東京大学を定年退官、東京大学名誉教授(5月)、同年4月工学院大学教授(機械システム工学科)等を経て2003年4月より工学院大学学長。専門は、機構学、機械力学、システム工学、ロボット工学。日本機械学会フェロー・名誉員、日本ロボット学会フェロー、日本IFTtoMMフェロー。主な著書は、『機械力学—機構・運動・力学—』(朝倉書店 2001)、『ロボットと人工知能』(岩波書店 2002)、『ハンディブック メカトロニクス (改訂2版)』(監修、オーム社 2005)等。

招待講演 (4) : 次世代スーパーコンピュータにける夢—国家基幹技術としての推進ビジョン—

3月10日(金) 13:00-14:00 [第1イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

星野 利彦 (情報科学技術研究企画官)

[講演概要]

文部科学省は、2006年度より7ヶ年計画による次世代スーパーコンピュータ「京速計算機システム」プロジェクトに着手する。このプロジェクトは、地球シミュレータに続く「ナショナル・リーダーシップ・システム」の実現を目指すものである。

「リーダーシップ」とは、大学をはじめとする多くの研究機関が導入する「インフラストラクチャ・システム」の先駆けとなるものという意味で用いている。このようなインフラ・システムへの垂直展開を、継続的に取り組むべき国の責務として位置づけ、中長期的なビジョンの下での「第一期」開発計画として立案されている点が、本件プロジェクトの特色であり、これまでのスパコン開発プロジェクトとの際だった違いである。

そして超高速ネットワーク時代に適切に対応した最新のサイバー・サイエンス・インフラストラクチャとして、次世代スパコンのみならず多種多様な「(広義の) 計算機」等の有機的な連携や仮想研究組織環境 (ヴァーチャル・オーガニゼーション) で研究組織や個人が「しなやかな関係を構築する」ことを容易ならしめる—これこそが本プロジェクトの真の目的である。

本講演では、計算機科学や計算科学という分野の視座からのディテールではなく、科学技術政策論的に見た次世代スパコン・プロジェクトの目指すものとその実現による科学技術・学術界へのインパクトについて、ライバルである米国の状況と比較しつつ述べる。

[略歴]



1991年科学技術庁入庁。郵政省通信政策局技術開発推進課国際研究係長、外務省在ロシア連邦日本国大使館一等書記官などを経て、2004年1月より現職。これまで原子力(核融合研究、放射線利用研究等のプロジェクトの推進)、IT(研究推進制度の立案及びプロジェクトの推進)、国際関係(核拡散防止、旧ソ連諸国の核兵器廃棄支援、ITER計画・ISS計画等の国際科学技術協力等)の事務に従事した。

1991年4月 科学技術庁 入庁

1996年1月 郵政省通信政策局技術開発推進課国際研究係長

1999年7月 科学技術庁原子力局政策課(総括担当)

2000年5月 外務省在ロシア連邦日本国大使館一等書記官

2004年1月 文部科学省研究振興局情報課情報技術推進室長(現職)

特別セッション (1) : ここまで来たコンピュータ将棋

[全体概要]

将棋はチェスと異なり敵から取った駒が再利用できるため、場合の数がはるかに大きく、また終盤になるほど選択肢が多くなるという特徴を有している。そのためにコンピュータにとって将棋はチェスよりもむずかしく、1970年代後半に研究開発が始まったコンピュータ将棋はなかなか強くならなかった。しかし最近になって急速な進歩をとり、アマ5段のレベルに達するまでになってきた。将棋のプロ棋士の組織である将棋連盟がプロ棋士とコンピュータ将棋の対戦を原則禁止するという措置を取っているほどである。この特別セッションではまず実際にアマ日本一である清水上氏とコンピュータ将棋世界一の激指(げきさし)の対戦を見ることによってコンピュータ将棋の実力を確認する(プロ棋士の鳥八段に解説をしていただく)。さらにコンピュータ将棋がいつ名人レベルになるかなど今後の展望について社会的な影響を含めてコンピュータ将棋関係者、プロ棋士を交えて議論する。人間とコンピュータのこれからの関わりを考える上での貴重な題材を提供してくれるものと期待される。

●人間とコンピュータの対局 3月8日(水) 13:15-15:45 (終了目安)

[第1イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]



対局者：清水上 徹 (2005年アマ竜王/ NEC)

[略歴]

2003年 明治大学経営学部経営学科卒。日本電気(株)入社。社会インフラソリューション企画本部資材部 所属。

■将棋の戦績

1991年 小学生名人戦優勝。1992年 中学生名人戦優勝。1993年 中学生選抜選手権優勝。1996年 高校竜王戦優勝。

2002年 学生名人戦、学生王将戦、GC戦優勝。2003年 アマチュア王将戦優勝。2005年 アマチュア竜王戦、GC戦優勝



「激指」開発者：鶴岡 慶雅 (東大/ JST)

[略歴]

1974年宮城県生まれ。工学博士。2002年東京大学大学院工学系研究科・博士課程終了。科学技術振興機構・戦略的研究推進事業発展研究・研究員。現在、東京大学理学部にて自然言語処理の研究に従事。専門分野は、機械学習を利用した自然言語処理、医学生物学文献からの情報抽出。2005年、第15回世界コンピュータ将棋選手権優勝。



解説：鳥 朗 (日本将棋連盟プロ八段)

[略歴]

1963年東京都出身。

1980年プロ棋士(四段)。1988年初タイトル(竜王)。2004年八段。タイトル戦出場6回。A級在位9期。

著書は「純粋なるもの」ほか5点ほど。現在、日本将棋連盟理事を務める。

コンピューター将棋とは、以前コンピューター将棋協会主催の学会パネリストを務めて以来の造詣。



聞き手：伊藤 毅志 (電通大)

[略歴]

1994年、名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。1994年より電気通信大学電気通信学部情報工学科助手。

一貫して、人間の問題解決、学習過程に興味をもち、認知科学、人工知能的手法を用いて、学習支援、教育工学、ゲーム情報学の研究に従事。ここ数年は、将棋を題材とした熟達者の思考に関する認知科学的研究を行い、人間の思考を模倣した将棋ソフトの開発も行っている。情報処理学会、電子情報通信学会、ICGA、日本認知科学会各会員。

●パネル討論 3月8日(水) 16:00-18:00 (対局終了後)

「将棋とコンピュータ」

「討論概要」

コンピュータチェスが1997年に人間の世界チャンピオンに勝ったのはよく知られているが、将棋は持ち駒制度(敵から取った駒を再利用できる制度)によってチェスより場合の数ははるかに大きく、コンピュータはなかなか強くなれなかった。チェスで効果的だった終盤の完全探索が使えないなど、チェスで有効だった手法のかかなりの部分が将棋には向いていないためである。ようやくアマ初段までなったのは1990年代半ばのことであるが、それからは約2年間で1段の割合で強くなり、いまではアマ5段のレベルにまで達している。昨年アマの日本一を決める大会に激指(げきさし)というソフトが出場してベスト16になったことは記憶に新しい。またプロ棋士の組織がプロ棋士とコンピュータが事前了解なしに対戦することを禁じたのも大きなニュースになった。

ここではパネラーにプロ棋士、アマ日本一、コンピュータ将棋開発者などを迎えることによって、コンピュータが強くなった技術的なポイントや(いつ名人にコンピュータが勝つかの予想を含めて)将棋における今後の人間とコンピュータの関わり方などについて議論したい。



司会：松原 仁 (はこだて未来大)

「略歴」

1959年東京生まれ。1981年東大理学部情報科学科卒業。1986年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。

1986年通産省工技院電子技術総合研究所入所。2000年公立はこだて未来大学システム情報科学部教授。

現在に至る

ゲスト：清水上 徹 (2005年アマ竜王/NEC)

略歴・写真は「人間とコンピュータの対局」を参照。

パネリスト：伊藤 毅志 (電通大)

略歴・写真は「人間とコンピュータの対局」を参照。

パネリスト：島 朗 (日本将棋連盟プロ八段)

略歴・写真は「人間とコンピュータの対局」を参照。

パネリスト：鶴岡 慶雅 (東大/JST)

略歴・写真は「人間とコンピュータの対局」を参照。

特別セッション (2)：サービス・サイエンスの出現

「全体概要」

現在サービス産業に従事する労働人口は先進国では70%を越え、急速に増加し続けている。一方で、学問としてのサービスへの取り組みは理工学やMOT、MBAの各領域で個別に研究が進められているが、イノベーションや産業界との連携の遅れが指摘されてる。1950年代にコンピューター・サイエンスが出現したように学問領域としての「サービス・サイエンス」の確立に向けて、米国やヨーロッパ諸国において産学官で検討が進んでいる。日本においてもサービス産業の生産性の体系的な向上が持続的な経済にとって重要であることが認識されつつある。

情報処理学会においても、情報技術をはじめとするテクノロジーがサービス化されていく社会や経済にどのように貢献できるか、学会としてもそこでどのような役割を担うのか議論を行う。

●基調講演 3月9日(木) 9:00-10:00 [第1イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

「Service Sciences, Management and Engineering (SSME)」

Jeffrey T. Kreulen (IBM Almaden Services Research)

「講演概要」

As the economies of the world shift to higher and higher percentages of services, business services and information services are two of the fastest growing parts of the global service economy. The development of more systematic approaches to service innovation that complement product and process innovation techniques is a key need of our times.

Services Sciences, Management and Engineering (SSME) aims to bring together ongoing work in computer science, operations research, industrial and systems engineering, business strategy and modeling, management sciences, social and cognitive sciences, and legal sciences to develop the skills required in a services-led economy. We define Services Science, Management, and Engineering (SSME) as the application of scientific, engineering, and management disciplines to tasks that one organization beneficially performs for others ("services").

By integrating the knowledge needed to create more systematic approaches to service innovations, embodied by an SSME practitioner or "service scientist," this will lead to more predictable improvements in service productivity, quality, performance, compliance, growth, knowledge reuse, and work evolution, especially in work-sharing and risk-sharing relationships between service providers and clients. Services are the application of knowledge and skills for the coproduction of value with the service recipient. As such, developing service innovation capabilities is a key enabler of knowledge-based economies.



「略歴」

Jeffrey Kreulen, senior manager of Services Oriented Technology in the Almaden Services Research function at the IBM Almaden Research Center, leads a team of researchers focused on services-oriented computer science technologies. Dr. Kreulen oversees technology innovations that leverage IBM Research's unique ability to improve the business performance of service delivery.

Dr. Kreulen's most recent work has been on the Business Insights Workbench (BIW) project, which brings together structured and unstructured data to improve the shape and caliber of decision making for business professionals. BIW has been successfully applied to real customer business problems in areas such as customer relationship management, intellectual property analysis and marketplace intelligence applications. The recipient of two IBM Outstanding Technical Achievement Awards, Dr. Kreulen holds 10 patents and has published extensively at conferences and in journals.

He received his B.S. in applied mathematics (computer science) from Carnegie-Mellon University and his M.S. in electrical engineering and Ph.D. in computer engineering from Pennsylvania State University. Since joining IBM in 1992, he has worked on multiprocessor systems design and verification, operating systems, systems management, web-based service delivery, integrated text and data analysis, service-oriented technologies and service science.

●パネル討論 3月9日(木) 10:00-12:00 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)] 「サービス・サイエンスの確立に向けて」

[討論概要]

産業構造に占めるサービス産業の比率が急速に高まり、先進国では従事する人口比でもGDPに占める比率でも70%を超えるまでになっている。従来、科学技術は主として製造業に応用されその発展に大きな貢献をしてきたが、サービス産業に対してはどのような貢献ができるのかに関心が集まっている。とくに我が国のサービス産業の生産性は国際的に見て低いと指摘されており、科学技術が貢献できればその効果は大きいと考えられる。しかしながらこの分野の研究はまだ緒に就いたばかりで、どのような科学技術が必要とされるのか、またそれをどのように育てていけばよいのか、必ずしも明確になっているとは言い難い。本パネル討論においては、「サービスサイエンス」の学問分野とは何か、またそれを発展させるには何をなすべきか、学会の果たすべき役割は何か、を情報処理技術とその社会との接点の分野の専門家と政策立案者により議論したい。



司会：丹羽 邦彦 (科学技術振興機構)

[略歴]

1969年、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。

日本電気株式会社中央研究所入社。デジタル通信・デジタル信号処理システムの研究開発、映像機器開発、技術企画などに従事。その間、INTELSAT (International Telecommunications Satellite Organization)、NEC America に出向。

2001年、日本テキサスインスツルメンツ株式会社入社。ブロードバンド通信用半導体ビジネスに従事。

2003年10月から独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センターに勤務。シニアフェロー、工学博士。

パネリスト：Jeffrey T. Kreulen (IBM Almaden Services Research)

略歴・写真は「基調講演 Service Sciences, Management and Engineering (SSME)」を参照。



パネリスト：内丸 幸喜 (文部科学省)

[略歴]

1964年2月21日福岡県生、京都大学工学部卒。1987年4月科学技術庁研究開発局企画課。1988年9月通商産業省通商政策局北アジア課総括係長。1990年10月科学技術庁科学技術振興局国際課企画係長。1992年6月同科学技術政策局計画課専門職(総括担当)。1994年1月同研究開発局宇宙利用推進室室長補佐。1995年7月郵政省近畿電気通信監理局電気通信部電気通信振興課長。1997年7月科学技術庁科学技術振興局研究基盤課課長補佐。1999年7月同研究開発局ライフサイエンス課課長補佐。2000年7月同研究開発局企画課課長補佐。2001年1月文部科学省研究開発局開発企画課課長補佐。2001年7月理化学研究所横浜研究所研究推進部調査役兼構造プロテオミクス研究推進本部企画調整室長。2002年10月文部科学省科学技術・学術政策局計画官付企画官兼評価推進室長。2005年1月内閣府科学技術政策統括官付企画官(総合戦略担当)兼科学技術基本政策担当室次長。2005年6月文部科学省科学技術・学術政策局計画官。



パネリスト：徳田 英幸 (慶大)

[略歴]

1975年慶應義塾大学工学部卒。同大学院工学研究科修士。ウォータールー大学計算機科学科博士 (Ph.D. in Computer Science)。1983年米国カーネギーメロン大学計算機科学科に勤務。研究准教授を経て、1990年より、慶應義塾大学環境情報学部勤務。慶應義塾常任理事(1997-2001年)を経て、現職。

主に、オペレーティングシステム、分散システム、ユビキタスコンピューティングシステムに関する研究に従事。現在、情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会顧問、ネットワークロボットフォーラム会長、ユビキタスネットワークフォーラム技術部会長&電子タグ高度利活用部会長、総務省ユビキタスネット社会の実現に向けた基本政策WG副委員長。研究教育業績に関して Motorola Foundation Award, IBM Faculty Award, 経済産業大臣賞、総務大臣賞などを受賞。



パネリスト：中島 秀之 (はこだて未来大)

[略歴]

1952年11月14日生まれ、西宮市出身。1977年3月東京大学工学部計数工学科卒業。

1983年3月東京大学大学院情報工学専門課程博士課程修了。1983年4月通商産業省工業技術院電子技術総合研究所入所。

1999年4月(上記機構改革して)産業技術総合研究所サイバーアシスト研究センター長 就任。

2004年4月公立はこだて未来大学学長就任。現在に至る。



パネリスト：橋本 正洋 (経済産業省)

[略歴]

1982年東京工業大学大学院修士課程修了。同年通商産業省(現経済産業省)入省。2002年産業技術環境局大学連携推進課長を経て、

2004年より現職。2002年より東京農工大学および東京工業大学非常勤講師。2003～04年北陸先端科学技術大学院大学客員教授。

2004～05年京都大学客員教授及び早稲田大学客員教授。主な論文に『MOTのすすめ』(一橋ビジネスレビュー Vol.51.4)がある。

特別セッション (3) : Symbiotic Computing シンポジウム

[全体概要]

今や情報処理システムは単独での設計では十分な効果を期待できない。ユーザやオペレータとしての人間との協調は言うまでもなく、環境や社会とのインタラクションをも考慮した上での設計・開発が不可欠になってきている。それに伴い、従来の情報処理基盤技術から新たな技術課題への挑戦が必要である。本特別セッションでは、人間、環境、社会と情報処理システムが共生する Symbiotic Computing のあるべき姿を議論するとともに、そこで考慮しなければならない技術や倫理や社会システムについても議論を行う。是非、多くの方にもご参加いただき、今後の情報処理システムのあるべき姿についてご議論いただきたい。

●基調講演 3月9日(木) 14:30-15:10 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]
「Symbiotic Computing –ポスト・ユビキタス情報環境へ向けて–」

白鳥 則郎(東北大)

[講演概要]

ユビキタス情報環境として、コンピュータとネットワークが社会の隅々まで行き渡った後に必要となるのは、その効果的な運用と活用である。高度な情報社会において、人やコンピュータ、ネットワークも、そして環境も社会も、単独では機能しない。そのため、これらの間における自然で円滑な相互作用が本質的に重要となる。具体的には、人、コンピュータ、ネットワーク、環境及び社会の、それぞれが自律動作し、相互に円滑にコミュニケーションし共生することが肝要である。このようなコミュニケーションに基づいた共生の実現へ向けて、ポスト・ユビキタス情報環境のコンピューティングパラダイムとして「Symbiotic Computing」について議論し、その課題を展望する。



[略歴]

1946年宮城県生まれ。1977年東北大学大学院博士課程修了。1984年同大学助教授(電気通信研究所)。1990年同大学教授(工学部情報工学科)。1993年同大学教授(電気通信研究所)。人とIT環境の共生、コミュニケーション論、やわらかいネットワーク、共生コンピューティングの研究を推進。IEEEフェロー、情報処理学会フェロー、電子情報通信学会フェロー。2004年情報処理学会副会長。2004年IFIP日本代表。電子情報通信学会業績賞、情報処理学会25周年記念論文賞、IEEE ICPADS 2000・最優秀論文賞、など受賞。

●講演(1) 3月9日(木) 15:10-15:30 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]
「アンビエント・ナレッジとトラスト」

田中 克己(京大)

[講演概要]

ユビキタスネットワーク社会やユビキタスコンピューティングという言葉で語られる近未来社会であるが、実空間とサイバー空間の関係を、本講演では、知識・コンテンツの利活用環境、いわば、「ユビキタス・コンテンツ環境」の立場から語ってみたい。

携帯電話やPDAをもって毎日実空間を我々は本当に「うつむき」ながら歩きたいのであろうか。また、監視機器やセンサー機器に囲まれて、また、自らも多くのデジタル機器を身につけて、実空間を本当に歩きたいのであろうか。サイバー空間の設計は今の実空間を我々がどのようにしたいのかと密接な関係があると考えられる。

本講演では、このような観点から、実空間における知識・コンテンツの取得・利用環境、人間と実空間の間でデータを相互にやりとりする際のアクセス制御はどうあるべきか、実空間とサイバー空間を連携させた情報検索の可能性、コンテキスト・コンピューティングの限界、獲得できる知識・コンテンツのトラストなどの観点から論じるとともに、関連する京大およびNICTにおけるこれまでの研究について述べる。



[略歴]

1974年京大・工学卒、1976年同大学院修士課程修了。1979年神戸大・教養部・助手、1986年工学部助教授、1994年工学部教授を経て、2001年より京大大学院情報学研究所社会情報学専攻教授。京大・工博。主にデータベースとマルチメディア情報システムの研究に従事。ACM TODS Area Editor、情報処理学会論文誌：データベース共同編集委員長など歴任。情報処理学会フェロー、日本データベース学会副会長。

●講演(2) 3月9日(木) 15:30-15:50 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]
「企業・組織・共生・計算」

寺野 隆雄(東工大)

[講演概要]

変化が激しい現代社会においては、ビジネスの遂行においても自律的な組織・自律的な行動が必須となる。そのためのパラダイムとして遺伝的アルゴリズムを代表とする進化計算がある。本パネルでは、人・組織・ソフトウェアが共生するために進化計算の考え方がどのように役立つのかを論じ、今後の「Symbiotic Computing」のありかたについて考察する。



[略歴]

東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻教授。機械学習、創発的計算手法、組織行動、知識システム開発方法論などの研究に従事。

所属学会：人工知能学会、計測自動制御学会、日本OR学会、情報処理学会、電気学会、経営情報学会、社会情報学会、IEEE、AAAI。

1976年東京大学計数工学科数理工学コース卒業。1978年同情報工学科修士課程修了。1978年～1989年(財)電力中央研究所勤務。

1990年より筑波大学大学院経営システム科学専攻、1996年同教授。工学博士。1996年イリノイ大学ならびにスタンフォード大学客員研究員。

主要著書：知識システムハンドブック(1990)、オーム社(共編著)；エキスパートシステム(1991)、丸善(共著)；エキスパートシステム評価マニュアル(1992)、オーム社(編著)；知識システム開発方法論(1993)、朝倉書店ほか。

●講演(3) 3月9日(木) 15:50-16:10 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]
「Social Ware」

木下 哲男(東北大)

[講演概要]

高度な情報通信技術に立脚したサイバー社会が人々の多彩な活動を支える新しい社会として人々と共生し発展してゆく上で、これまで人間社会の中で産み出され蓄積されてきた様々な知識(社会知)を効果的に活用できるようにすることが重要である。そこで、種々の社会知に基づいて設計・構築され、人々の活動を効果的に支援するサービスを実現するソフトウェアの総称として、ソーシャルウェアと呼ぶ新しい枠組みを提案する。これにより既存の社会知だけでなく、サイバー社会の中で新たに生成される社会知なども取り込みながら、人間とサイバー社会との望ましい共生を実現し、人々が安心して仕事や生活を展開できる基盤となるサイバー社会の構築を目指す。



[略歴]

1979年東北大学大学院修士課程修了。同年沖電気工業(株)入社。知識情報処理技術の研究開発に従事。1996年東北大学電気通信研究所助教授、2001年同大情報シナジーセンター教授。知識工学、エージェント工学、エージェント応用システム等の研究開発に従事。情報処理学会平元年度研究賞、1996年度論文賞、電子情報通信学会2001年度業績賞など受賞。工博、電子情報通信学会、人工知能学会、日本認知科学会、IEEE、ACM、AAAI各会員。

●講演 (4) 3月9日 (木) 16:10-16:30 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]
「ウェアラブル・ユビキタスコンピューティングと共生コンピューティング」

塚本 昌彦 (神戸大)

[講演概要]

これから10年、さらに小型になって実世界に埋めこまれて使われるようになるコンピュータが、ウェアラブル・ユビキタス環境下で、どのように人や環境、機器などと連携をとって動作するようになるのかを示す。



[略歴]

1987年京都大学工学部数理工学科卒業。1989年京都大学大学院工学研究科応用システム科学専攻修士課程修了。

同年シャープ株式会社入社。1995年大阪大学工学部情報システム工学科講師。1996年 同学科助教授。

2002年大阪大学大学院情報科学研究科助教授。2004年神戸大学工学部電気電子工学科教授。現在に至る。

NPO法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構理事長。工学博士。

●講演 (5) 3月9日 (木) 16:30-16:50 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

「ICT産業の観点での Symbiotic Computing」

原 良憲 (NEC)

[講演概要]

ユビキタス環境の普及期においては、情報活用の促進やコミュニケーション利便性が高まる反面、安心安全に対する不安や、情報過多による利用者への負荷増が懸念される。また、IT機器はコモディティ化の波に晒され、利用者の高次元欲求を充足させるIT関連サービスの提供も困難となってきた。システムを介した人と人との関わりを重視し、人に優しく、環境変化に強いSymbiotic Computingのコンセプトは、これらの諸問題の解決に向けて、今後ますます重要になる考え方である。ここでは、ICT産業の観点でのSymbiotic Computingの特性を概観し、利用者が価値を見出し満足する機能をどのように提供するのか、どのような構成でこれら機能を実現するのか、また、どのようなICT産業が創出・発展していくのか等について議論し、今後の展望を述べる。



[略歴]

1983年東大・工・電気・修士修了。同年NEC中央研究所入社。ハイパーメディア、マルチメディア情報検索等の研究開発に従事。

1990～91年スタンフォード大学コンピュータサイエンス学科客員研究員。1995年より9年間、NEC北米研究所シリコンバレー研究開発拠点の立ち上げと研究開発管理に従事。ベンチャー企業設立を含む研究開発からの新事業開発も手がける。

2004年より、NECインターネットシステム研究所研究統括マネージャー (関西研究所統括)。京大博士 (情報学)。

●パネル討論 3月9日 (木) 16:50-17:30 [第1 イベント会場 (高層棟3階 アーバンテックホール)]

「Symbiotic Computing」

[討論概要]

ユビキタス情報環境として、コンピュータとネットワークが社会の隅々まで行き渡った時、人、コンピュータ、ネットワーク、環境及び社会が協調的に相互作用し、自然で円滑なコミュニケーションを行い共生するための課題について、様々な観点から議論する。議論の切り口の提示として、まず5人のパネラーに、それぞれの立場から講演をして頂く。具体的には、人と社会の関わりを考える社会情報学の観点から「アンビエント・ナレッジとトラスト」(田中)、ビジネス環境における組織論の観点から「企業・組織・共生・計算」(寺野)。また、人々の社会活動を支援する新しいソフトウェアの観点から「Social Ware」(木下)、文字通りコンピュータを身につける観点から「ウェアラブル・ユビキタスコンピューティングと共生コンピューティング」(塚本)、企業の立場から「ICT産業の観点でのSymbiotic Computing」についてお話し頂く。これらの講演を糸口として、ポスト・ユビキタス情報社会の構築へ向けた「Symbiotic Computing」と、その課題について展望したい。

司 会：白鳥 則郎 (東北大)

略歴・写真は「基調講演 Symbiotic Computing -ポスト・ユビキタス情報環境へ向けて-」を参照。

パネリスト：木下 哲男 (東北大)

略歴・写真は「講演 (3) Social War」を参照。

パネリスト：田中 克己 (京大)

略歴・写真は「講演 (1) アンビエント・ナレッジとトラスト」を参照。

パネリスト：塚本 昌彦 (神戸大)

略歴・写真は「講演 (4) ウェアラブル・ユビキタスコンピューティングと共生コンピューティング」を参照。

パネリスト：寺野 隆雄 (東工大)

略歴・写真は「講演 (2) 企業・組織・共生・計算」を参照。

パネリスト：原 良憲 (NEC)

略歴・写真は「講演 (5) ICT産業の観点でのSymbiotic Computing」を参照。

特別セッション (4)：ブロードバンド情報発信：BBコンテンツ

[全体概要]

ブロードバンドの広がりにより情報の受け手から誰もが発信者として、情報を共有できる時代。人と人をつなぐ双方向のコミュニケーションツールとして、情報量の多い、音声・映像の配信は、人の生活において欠くことのできないものとなりつつある。しかし、現実にはネットならではのオリジナルコンテンツのヒット番組もまだ出ておらず、更にIT企業による既存のテレビ局の買収劇などが繰り返されている。また、インターネットの特徴である、自由区である故陰と陽の側面も見られる。ネット配信の本来の可能性と価値を高めつつ、安全で人気のある番組制作配信はできないのか？ブロードバンド放送をテレビの二次利用という、再放送メディアにするのではなく、オリジナリティのあるものとして、魅力あるコンテンツを作ることはきっとできるはずである。人の役に立つコンテンツがあってこそメディア、テクノロジーであると考え、今回の特別セッションでは、優良なコンテンツとはどのようなものかを考え、BB配信の未来を切り拓く一助となれば幸いである。

●基調講演 3月10日(金) 9:00-9:50 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]

「未来へ輝くブロードバンドコンテンツを創る」

真咲 なおこ (SKJ)

[講演概要]

ブロードバンドの広がりにより情報の受け手から誰もが発信者として、情報を共有できる時代。人と人をつなぐ双方向のコミュニケーションツールとして、情報量の多い、音声・映像の配信は、人々の生活において欠くことのできないものとなりつつあります。しかし、現実にはネットならではのオリジナルコンテンツのヒット番組もまだ出ておらず、既存のテレビ局に向けてのTOBが繰り返されました。

また、インターネットの特徴である、自由区である故、陰と陽の側面も見られます。ネット配信の本来の可能性と価値を高めつつ、安全で人気のある番組制作配信はできないのでしょうか？ブロードバンド放送をテレビの二次利用という、再放送メディアにするのではなく、オリジナリティのあるものとして、魅力あるコンテンツを作ることは可能だと思います。人の役に立つコンテンツがあってこそそのメディア、テクノロジーであると私は考えます。

今回の特別セッションでは、優良なコンテンツとはどのようなものかを考え、BB配信の未来を切り拓く一助となりましたら幸いです。



[略歴]

日本航空国際線客室乗務員を経て、ビデオジャーナリストへ転進。ドキュメンタリー番組TVK「未来検索」は今年で10周年を迎え長寿番組となった。2001年総務省関東総合通信局長賞、日本航空ホームページ動画サイトJALTVを提案構築する。

また中京大学社会学部・静岡大学情報学部非常勤講師を始め、総務省関係他の講演も多数行いブロードバンド動画配信の未来を語っている。SHE KNOWS JOURNAL 株式会社代表取締役社長。

●パネル討論 3月10日(金) 9:50-12:00 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]

「放送と通信の融合の本当の姿を論じる」

[討論概要]

ブロードバンド通信の普及に伴い、放送番組を通信回線を使って配信しようという動きが広がっている。いわゆる通信と放送の融合だ。ネットベンチャー企業のライブドアや楽天による放送会社への出資がその大きな引き金となったが、総務大臣に就任した竹中平蔵氏も通信と放送の融合を促すための大臣懇談会を発足、制度面での見直し論議も始まろうとしている。

本パネルディスカッションでは通信分野と放送分野のそれぞれの専門家を招き、融合を促すための課題とは何か、融合が進んだ場合の新しいビジネスチャンスとは何か、とテーマについて議論する。特に日本では今年4月から携帯端末向けの地上デジタル放送が始まる。携帯電話も一つの通信手段であり、携帯電話と放送との組み合わせも新しい融合のスタイルの形となるに違いない。また受信料の不払い問題で揺れるNHKの経営問題についても、融合との関連で議論する。



司会：関口 和一 (日本経済新聞社)

[略歴]

1982年一橋大学法学部卒、日本経済新聞社入社。1988年フルブライト研究員として米ハーバード大学国際問題研究所に留学。1989年英文日経キャップ、1990-1994年ワシントン支局特派員。電機業界担当キャップ、日経産業新聞「サイバースペース革命」企画担当キャップを経て、1996年より産業部編集委員。2000年から論説委員を兼ね、主に情報通信分野を担当。文化庁文化審議会(著作権)専門委員、法政大学大学院客員教授、早稲田大学、明治大学の非常勤講師などを兼務。著書に「パソコン革命の旗手たち」(日本経済新聞社)、共著に「サイバースペース革命」「サイバービジネス最前線」(以上日本経済新聞社)「モダンタイムス2001」(日経BP社)など。論文に「日米における知的所有権問題」(ハーバード大学)がある。



パネリスト：梶 明彦 (ジャルパック)

1945年、東京生まれ。1969年、日本航空へ入社。経営企画室、取締役福岡支店長、常務取締役旅客事業総括などを経て、2003年6月に現職の(株)ジャルパック代表取締役社長に就任。日本航空時代にはJL TVの開発にも係わり、現在は、海外旅行の顧客ニーズに合わせたオンラインeビジネス事業も経営重点項目に掲げている。



パネリスト：鈴木 滋彦 (NTTソフトウェア)

1968年、東京大学工学部電子工学科卒業後、日本電信電話公社(現NTT)に入社。入社以来、NTT研究部門に従事。95年NTT理事、97年常務理事、98年NTT取締役・研究開発本部副本部長、99年、NTT取締役・第三部門長(技術戦略担当)を経て、02年NTTソフトウェア株式会社代表取締役副社長、03年同社代表取締役社長に就任。現在に至る。

工学博士。IEEE Fellow、電子情報通信学会フェロー、電子情報通信学会副会長、情報処理学会会員。



パネリスト：安田 浩 (東大)

1967年東京大学工学部電子科卒業、1972年同大学院博士課程修了。同年4月日本電信電話公社入社。NTT理事・情報通信研究所所長を経て、1997年3月退社。NTT在職中は、画像符号化、画像信号処理、マルチメディアサービスに関わる研究・開発に従事。

1997年4月東京大学教授、先端科学技術研究センター所属。1998年4月より同大学教授、国際・産学共同研究センター所属。2003年4月～2005年3月国際・産学共同研究センター長就任。高速通信網およびその応用、インターネットおよびその応用、画像処理・画像符号化・知的財産権保護技術の研究ならびに感性工学研究に取組む。

特別セッション (5)：競争と協調による情報検索研究の深耕：NTCIRの足跡と未来

[全体概要]

国立情報学研究所が1999年より開催している情報検索・アクセス技術の評価型国際ワークショップNTCIR(エンティサイル)は、2005年12月に第5回ワークショップミーティングを開催する。米国NISTが主催するTREC(Text Retrieval Conference)と同様、NTCIRは10カ国以上の大学・企業の研究機関が協力しながら技術を競い合う場となっている。Web検索エンジンの普及により「検索」という言葉が一般ユーザにもすっかり浸透した今、本特別セッションでは5回のNTCIRから得られた知見の総括を行い、評価型ワークショップの未来について議論する。特にユーザ指向検索、マルチメディア検索への展開や、情報アクセス研究のさらなる加速に向けたワークショップ主催者と参加者の協力的体制のあるべき姿についてフロアも交え自由に意見交換を行う。

●基調講演 3月10日(金) 14:30-15:30 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]

[5回のNTCIRの総括と今後]

神門 典子(国立情報学研)

[講演概要]

国立情報学研究所が1999年より開催している情報検索・アクセス技術の評価型国際ワークショップNTCIR(エンティサイル)は、15カ国から参加した約100のチームとタスクオーガナイザの協力のもとに約1年かけて進めてきた大規模評価実験の総括として、2005年12月に第5回ワークショップミーティングを開催した。米国NISTが主催するTREC(Text Retrieval Conference)と同様、NTCIRは大学や企業の研究機関が協力しながら技術を競い合う場となっている。本講演では、過去5回のNTCIRを振り返り、これまでに得られた有用な知見について紹介し、さらにNTCIRを含めた評価型ワークショップの功罪および今後あるべき姿について論じる。



[略歴]

1994年慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(図書館・情報学)。同年学術情報センター助手。1995年米国シラキウス大学情報学部客員研究員。1996～1997年デンマーク王立図書館情報大学客員研究員。1998年学術情報センター助教授。2000年国立情報学研究所助教授。2002年より総合研究大学院大学助教授を併任。2004年より国立情報学研究所教授ならびに総合研究大学院大学教授。現在に至る。テキスト構造を用いた検索と情報活用支援、言語横断検索、情報検索システムの評価等の研究に従事。ACM-SIGIR, ASIS&T, 言語処理学会, 日本図書館情報学会各会員。

●パネル討論 3月10日(金) 15:30-17:00 [第1イベント会場(高層棟3階 アーバンテックホール)]

[オーガナイザ・参加者間の壁を壊す]

[討論概要]

国立情報学研究所が1999年より開催している情報検索・アクセス技術の評価型国際ワークショップNTCIR(エンティサイル)は、2005年12月に第5回ワークショップミーティングを開催した。米国NISTが主催するTREC(Text Retrieval Conference)と同様、NTCIRは10カ国以上の大学・企業の研究機関が協力しながら技術を競い合う場となっている。

Web検索エンジンの普及により「検索」という言葉が一般ユーザにもすっかり浸透した今、本特別セッションでは5回のNTCIRから得られた知見の総括を行い、評価型ワークショップの未来について議論する。特にユーザ指向検索、マルチメディア検索への展開や、情報アクセス研究のさらなる加速に向けたワークショップ主催者と参加者の協力体制のあるべき姿についてフロアも交え自由に意見交換を行う。



司 会：酒井 哲也(東芝)

[略歴]

1968年生。1993年早稲田大学大学院理工学研究科工業経営学専門分野修士課程修了。同年(株)東芝入社。2000年～2001年英ケンブリッジ大学客員研究員。現在、(株)東芝 研究開発センター知識メディアラボラトリー研究主務。情報処理学会・電子情報通信学会各会員。工学博士。



パネリスト：伊藤 克亘(名大)

博士(工学)。1993年、電子技術総合研究所入所。2003年、名古屋大学大学院情報科学研究科助教授。現在に至る。音声を中心とした自然言語全般に興味を持つ。連続音声認識コンソーシアムなどで音声認識ソフトウェアの普及活動をおこなってきた。NTCIR-3においてWeb検索タスクのサブタスクとして音声入力型Web検索タスクを提案。



パネリスト：大山 敬三(国立情報学研)

1980年東京大学工学部電子工学科卒業。1985年同大学院電気工学専攻博士課程修了。工学博士。同年東京大学文献情報センター助手。1986年学術情報センター助手。1987年同助教授。1998年同教授。2000年国立情報学研究所教授。現在に至る。XML文書処理、電子図書館、情報検索システム、Web検索技術評価手法などの研究開発に従事。情報処理学会、電子情報通信学会、情報メディア学会各会員。



パネリスト：岸田 和明(駿河台大)

1991年慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程中退。同年、図書館情報大学助手(文部教官)。1994年駿河台大学文化情報学部助教授。2002年より教授(現在に至る)。1998～99年カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員。また現在、国立情報学研究所客員教授、放送大学客員教授を兼任。



パネリスト：藤井 敦(筑波大)

1993年3月東京工業大学工学部情報工学科卒業。1998年3月同大学院博士課程修了。現在、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科助教授。博士(工学)。自然言語処理、情報検索、音声言語処理、人工知能の研究に従事。IPA未踏ソフトウェア創造事業にて事典検索サイトCycloneを開発し、2003年に「天才プログラマー/スーパークリエータ」を受賞。NTCIRワークショップにて特許検索タスクを企画運営中。



パネリスト：藤田 澄男(ヤフー)

1985年(株)日本コンピュータ研究所入社。1989年パリ第7大学DEA。1993年マンチェスター工科大学リサーチアソシエイト。1995年(株)ジャストシステム入社。1998年米国Claritech社リサーチサイエンティスト。2002年(株)パトリス入社。主幹研究員。2005年ヤフー株式会社入社。現在の研究分野：情報検索、テキストマイニング



パネリスト：吉岡 真治(北大)

1991年東京大学工学部精密機械工学科卒業。1996年同大学院精密機械工学専攻博士課程修了。博士(工学)。同年、学術情報センター研究開発部助手。2000年国立情報学研究所情報学資源研究センター助手。2001年北海道大学大学院工学研究科助教授。2004年同大学院情報科学研究科助教授。専門は情報検索への知識処理技術の応用、設計環境の知能化。情報処理学会情報学基礎研究会主査。

シンポジウム：日本学術会議と「情報学」の新展開

[全体概要]

この度、日本学術会議の第20期の会員 (<http://www.scj.go.jp/ja/info/member/>) が新しく決まった。今回は、日本学術会議の位置づけや会員の選出方法などが見直されて、新しい形で再出発の第一歩となる。この中で、210人の会員の中に13名もの「情報学」の研究者が選ばれたことは、画期的なことと思われる。これは、「情報学」の分野が相当の広がりを持ったものとして認知された、とも言える。これを期に、情報学に最も関連の深い情報処理学会の全国大会に、新会員にお集まり頂き情報学について語って頂く場を設けた。新しい体制をとった日本学術会議が何を指すのか、その中で情報学がどのように位置づけられるのか、学会とどのような連携を図るのか、など、日本学術会議と情報学についての抱負と展望をうかがう。

●基調講演 3月8日(水) 13:15-13:45 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)] 「日本学術会議と情報学」



土居 範久 (中大)

[略歴]

中央大学理工学部教授、慶應義塾大学名誉教授。現在、日本学術会議会員・第3部(理学・工学)副部長、文部科学省科学技術・学術審議会委員、総務省情報通信審議のための研究開発プログラムディレクター、科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター「情報と社会」領域統括、NPO法人日本セキュリティ監査協会会長、国際計算機学会(ACM)日本支部長。専門はソフトウェアを中心とした計算機科学および情報セキュリティ。情報処理学会名誉会員。

●パネル討論 3月8日(水) 14:00-15:15 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)] 「日本学術会議と「情報学」の新展開」



司 会：筧 捷彦 (早大)

[略歴]

早稲田大学理工学部コンピュータ・ネットワーク工学科教授。1968年東京大学卒。1970年東京大学工学系大学院計数工学専攻修士課程修了、同年東京大学工学部助手、1974年立教大学理学部講師・助教授、1986年より現職。日本ソフトウェア科学会、日本数学会、日本応用数理学会、ACM各会員。本会フェロー、情報処理教育委員会委員長、ア krediteーション委員会委員、情報規格調査会SC22専門委員会委員長、JABEE認定・審査調整委員会委員。プログラミングの言語、方法、環境、教育に興味を持つ。



パネリスト：安西 祐一郎 (慶應義塾)

慶應義塾大学工学研究科博士課程修了、工学博士。慶應義塾大学助手、カーネギーメロン大学客員助教授、北海道大学助教授等を経て、1988年慶應義塾大学理工学部教授。1993年同理工学部長・大学院理工学研究科委員長を経て、2001年慶應義塾長就任。現在、日本私立大学連盟会長、国立大学経営協議会委員、情報処理学会会長等。また、日本認知科学会会長、科学基礎論学会等の理事を歴任。専門は情報科学・認知科学・知的社会基盤工学。



パネリスト：武市 正人 (東大)

1972年東京大学工学部助手、講師、1977年電気通信大学講師、助教授、1987年東京大学工学部助教授、1993年東京大学大学院工学系研究科教授、2001年東京大学大学院情報理工学系研究科教授、2004年より同研究科長、現在に至る。2003年日本学術会議第19期会員、2005年同第20期会員。工学博士。プログラミング言語、関数プログラミング、構造化文書処理の研究・教育に従事。

パネリスト：土居 範久 (中大)

略歴・写真は「基調講演 日本学術会議と情報学」を参照。



パネリスト：益田 隆司 (電通大)

1963年東京大学工学部卒業。1965年同修士課程修了。同年(株)日立製作所入社。1977年筑波大学電子・情報工学系講師、助教授、教授。1988年東京大学理学部情報科学科教授。1995-1997年理学部長、大学院理学系研究科長。2000年電気通信大学教授。2001年同副学長。2002年同電気通信学部長。2004年より同学長。本学会論文誌編集委員、研究会主査、理事、監事、会長を歴任(前会長)。論文賞(5回)。専門はオペレーティングシステム。



パネリスト：村岡 洋一 (早大)

早稲田大学副総長、理工学部教授、COE「プロダクティブICTアカデミアプログラム」拠点リーダー。1965年早稲田大学理工学部卒業、1971年アメリカイリノイ大学電子計算機学科博士課程修了(Ph.D.)。同大学 Visiting Research Associate、日本電信電話公社(現NTT)電気通信研究所などを経て、1985年より早稲田大学理工学部教授、2002年11月より早稲田大学副総長。

研究グループ企画：あrikana? 「てごろでがっちり情報保障」～障害のある人と考える機会を、もっと

[全体概要]

私たち素人にもできる手頃な情報保障の方法をみつけませんか? すてきなアイデアは共有し、私たちの大学、企業、学会で広く実践しませんか? 視覚・聴覚障害者への情報保障の担い手として、点訳者や手話通訳者などが広く知られている。しかし、研究会や一般の講演、大学の講義、職場の会議などで実際にそのような専門家を十分に配置できるケースはきわめて少ないのが現状である。結果として、研究や職業、勉強などの様々な活動に、障害のある人々が参加しにくい状況が続いている。しかし、私たちでも、保障を必要とする人々とのあいだで上手な落としどころを見つけることができれば、これまで専門家に任せきりにしていた情報保障に参加できる余地があるように思われる。素人芸ながらも、自発的に情報保障に取り組むことが、大学・企業・学会の門戸を広げることはもとより、人にやさしいシステムを産み出す原動力にならないか。それとも、素人がいくら工夫してみても、情報の粗製乱造にしかならず終わってしまうのか。本セッションでは、素人でもできること、できないこと、手を出してよいところ、いけないところ、最低限知っておかなければならないことなどを探りつつ、素人芸であるかわりに広く継続的に実施可能な「手頃な情報保障」の可能性と、そのありかたについて議論する。

●講演 (1) 3月8日 (水) 15:30-16:00 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)]

「あrikana? てごろでがっちり情報保障」



萩川 友宏 (静岡大)

[略歴]

筑波大学自然学類卒業。学部在学中に福祉機器に関心をもち、情報学部生に紛れてハードウェアやアルゴリズムを学ぶ。大学院より情報分野に転身。2000年同大学院工学研究科修士課程修了。同年静岡大学情報学部着任。現在まで助手。パーソナルインターフェイスを中心とした機器連携によるアクセシビリティ向上の研究に従事。

●講演 (2) 3月8日 (水) 16:00-16:30 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)]

「手頃な情報保障：情報系研究者にできること」



坂根 裕 (デジタルセンセーション)

[略歴]

1974年大阪府生まれ。1998年大阪大学工学部卒業。2000年大阪大学大学院工学研究科修士課程修了。2002年静岡大学情報学部助手。2004年デジタルセンセーション(株)代表取締役社長兼任。空手、幼児教育、コンテンツ配信に関する研究・開発に従事。

●講演 (3) 3月8日 (水) 16:30-17:00 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)]

「手頃な情報保障：企業・大学にできること」



織田 修平 (NTT)

[略歴]

生来の聴覚障害者。1997年福岡大学理学部応用数学科卒業。同年日本電信電話株式会社入社。画像通信、バーチャルリアリティにおける聴覚障害者のコミュニケーション支援の研究開発などを経て、現在、NTTサイバースペース研究所にて音声・音響信号の研究。特に聴覚障害者支援の研究に従事。2004年電子情報通信学会 HCG ヒューマンコミュニケーション賞受賞。電子情報通信学会、ヒューマンインタフェース学会、日本特殊教育学会各会員。

●講演 (4) 3月8日 (水) 17:00-17:30 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)]

「手頃な情報保障：情報系研究者に望むこと」



青柳 まゆみ (筑波大)

[略歴]

筑波大学大学院博士課程 人間総合科学研究科。聖徳大学講師(非)。研究テーマ：視覚障害学(視覚障害児教育、障害理解教育、視覚障害支援機器評価等) 主な著書：鳥山由子監修、青松利明・青柳まゆみ・石井裕志編著 視覚障害学生サポートガイドブック。日本医療企画、2005。

●自由討論 3月8日 (水) 17:30-18:00 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)]

司 会：萩川 友宏 (静岡大)

略歴・写真は「講演 (1) あrikana? てごろでがっちり情報保障」を参照。

パネリスト：青柳 まゆみ (筑波大)

略歴・写真は「講演 (4) 手頃な情報保障：情報系研究者に望むこと」を参照。

パネリスト：織田 修平 (NTT)

略歴・写真は「講演 (3) 手頃な情報保障：企業・大学にできること」を参照。

パネリスト：坂根 裕 (デジタルセンセーション)

略歴・写真は「講演 (2) 手頃な情報保障：情報系研究者にできること」を参照。

パネリスト：竹林 洋一 (静岡大)

[略歴]

1980年東北大大学院博士課程修了。パターン認識、知識処理、ヒューマンインタフェース(HI)の研究に従事、MIT Media ラボ客員研究員、東芝研究開発センターHI技術センター長、知識メディアラボラトリー技監を経て、2002年から静岡大学情報学部教授。デバイスからナレッジ・サービスまでを視野に入れて文工融合研究を推進。現在、本会理事、情報環境領域委員長、デジタルセンセーション株式会社社長。



教育シンポジウム (1)：理工系情報専門学科学生の實力は？：達成度調査の結果と分析

[全体概要]

情報処理教育委員会では理工系情報専門学科を対象とした教育成果に関する達成度調査を行なった。本調査の分析結果は、アクレディテーション委員会が担当しているJABEE審査だけでなく、情報処理学会が予定しているカリキュラム検討の際にも有用な情報になると思われる。また、理工系情報専門学科の現状を分析した上で、産業界からのフィードバックを得ることは重要性が高い。本シンポジウムでは達成度調査の結果を報告し、教育機関や学会が果たすべき役割についての議論を行う。

●オープニング:シンポジウムの趣旨説明 3月9日(木) 14:30-14:35 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)]
筧 捷彦(早大)

略歴・写真は22ページ「パネル討論 日本学術会議と情報学の新展開」を参照。

●講演(1) 3月9日(木) 14:35-15:00 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)]
「達成度調査についての報告」



角田 博保(電通大)

[略歴]

1974年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1976年同大学院修士課程修了。1981年同大学院博士課程単位取得退学。1981年東京工業大学研究生。1982年電気通信大学計算機科学科助手。1990年同大学情報工学科講師。1992年助教授。現在に至る。理学博士。計算機システムのヒューマンインタフェース、教育支援システム、文字列処理等に興味を持つ。ACM、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、日本認知科学会、ヒューマンインタフェース学会各会員。

●講演(2) 3月9日(木) 15:00-15:15 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)]
「カリキュラム検討の立場からの意見」



疋田 輝男(明大)

[略歴]

1989年から明治大学理工学部情報科学科教授。

計算理論、ネットワークコンピューティング等に興味をもつ。

現在、情報処理学会コンピュータサイエンス教育委員会委員長。

著書は「コンパイラの理論と実現」(共立出版)など。「情報科学こんせぶつ」(朝倉書店)共同編集。

●講演(3) 3月9日(木) 15:15-15:30 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)]
「ア krediteーション審査を行う立場からの意見」



牛島 和夫(九産大)

[略歴]

1961年東京大学工学部卒。1977年九州大学工学部教授。2001年九州大学名誉教授。同年、財団法人九州システム情報技術研究所長。

2002年4月九州産業大学情報科学部教授・学部長。本会理事、監事、九州支部長を歴任。2003年本会名誉会員。

現在本会ア krediteーション委員会委員長。

●講演(4) 3月9日(木) 15:30-15:45 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)]
「JABEE認定校(情報分野)からの意見」



掛下 哲郎(佐賀大)

[略歴]

九州大学情報工学科卒業。同博士後期課程修了。工学博士。現在、佐賀大学知能情報システム学科助教授。2001年度より学科の教育システムの構築を推進し、2003年度にJABEE認定を受けた。2004年度より情報処理学会ア krediteーション委員会幹事およびJABEE基準委員。データベースおよびソフトウェア工学を専門とする。現役ソフトウェア技術者向けにスーパー SEセミナーを開講中。

情報処理学会、電子情報通信学会等会員。

●講演(5) 3月9日(木) 15:45-16:00 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)]
「産業界からの意見」



有賀 貞一(CSKホールディングス)

[略歴]

1947年10月13日生まれ。1970年3月一橋大学経済学部卒。1970年4月株式会社野村電子計算センター入社。

1972年12月野村コンピュータシステム株式会社(社名変更)。1988年1月合併により株式会社野村総合研究所。

1990年6月同取締役 1994年6月同常務取締役。1997年6月株式会社CSK専務取締役。2000年6月同代表取締役副社長。

2003年6月同取締役。2004年7月同取締役(代表権付)。2005年10月株式会社CSKホールディングス取締役(代表権付)。

●総合討論 3月9日(木) 16:00-17:00 [第2イベント会場(高層棟6階 A-0652教室)]

司 会:筧 捷彦(早大)

略歴・写真は22ページ「パネル討論 日本学術会議と情報学の新展開」を参照。

パネリスト:有賀 貞一(CSKホールディングス)

略歴・写真は「講演(5)産業界からの意見」を参照。

パネリスト:牛島 和夫(九産大)

略歴・写真は「講演(3)ア krediteーション審査を行う立場からの意見」を参照。

パネリスト:角田 博保(電通大)

略歴・写真は「講演(1)達成度調査についての報告」を参照。

パネリスト:掛下 哲郎(佐賀大)

略歴・写真は「講演(4)JABEE認定校(情報分野)からの意見」を参照。

パネリスト:疋田 輝男(明大)

略歴・写真は「講演(2)カリキュラム検討の立場からの意見」を参照。

教育シンポジウム (2) : 高校の「情報科」教員養成における課題 —企業・社会と高校のギャップ, 教員養成制度と教員採用のギャップ—

[全体概要]

2003年4月から全国の高専普通科に必修の教科として、普通教科「情報」が設置された。日本全国では1万人程度の「情報」科の教員が必要となったが、現在でも、情報科学・情報工学系（以下、情報系と呼ぶ）の学科やコースを「情報」の免許を取得して卒業しても、教員として就職することができない事態が続いている。文部科学省は2000～2002年に数学や理科などの現職教員に3週間の研修を行ない、9千人の教員を促成栽培したが、これらの教員の多くは、コンピュータ操作などの「教えやすい内容」を中心に教科「情報」の授業を行なっているのが実情である。その結果、現在の学校現場では情報系学科等の卒業生が教壇に立つ必要性が薄いことが問題である。また、「情報」のみ担当の教員採用が少ない一方で、情報系学科では他教科の免許を学生に取得させることが困難、という問題も生じている。

本セッションでは、企業・社会が学校卒業者に求めているものと、現在の高校が教育しているもののギャップが大きいこと、教員養成制度と教員採用状況のギャップが大きいこと、などを指摘し、それを埋めるのは高校の役目なのか、大学の役目なのか、それとも制度・政策に問題があるのかについて議論しながら、大学における「情報」教員の養成問題について、議論を深めたい。

●講演 (1) 3月10日 (金) 9:00-9:30 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)] 「情報科の教員養成に関わって (1)」



辰己 丈夫 (農工大)

[略歴]

早稲田大学理工学部1991年卒業。同大学情報科学研究教育センター助手、神戸大学発達科学部講師を経て現職。非常勤講師として、東京大学理学部、青山学院大学で「情報科教育法」を担当。他に、早稲田大学、東京大学教養学部、放送大学、放送大学大学院で講義、論文指導を担当。情報処理学会代表委員、初等中等情報教育委員会、一般情報処理教育委員会委員、コンピュータと教育研究会・幹事など、国分寺市情報公開・個人情報審議会委員。

●講演 (2) 3月10日 (金) 9:30-10:00 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)] 「高等学校における現状と課題」



小原 格 (都立町田高校)

[略歴]

東京学芸大学教育学部特別教科教員養成課程数学科専攻卒業。1993年4月東京都立新島高等学校数学科教諭として入都。2000年4月東京都立町田高等学校へ異動。現職教員等講習会により、教科「情報」免許取得。2003年～現任校にて情報科を担当。東京都「東京の教育21」研究開発委員 (情報)、東京都高等学校情報教育研究会幹事 (情報活用部会長)。本校において、文部科学省学力向上フロンティアハイスクール及び教育課程研究指定校情報科担当教員。日本文教出版「情報A」教科書編集委員。

●講演 (3) 3月10日 (金) 10:10-10:40 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)] 「情報科の教員養成に関わって (2)」



和田 勉 (長野大)

[略歴]

1984年から長野大学産業社会学部専任講師。1988年同学部産業情報学科発足に伴い同学科専任講師、助教授を経て現在教授。高等学校普通教科「情報」の発足に先立つ「情報処理学会試作教科書」の執筆に参加した後、長野大での高等学校情報科教職課程を担当し「情報科教育法」等で教える。教えた学生の数人は学部在学中に情報教育シンポジウム SSS 等で発表しているが、そのような学生すら高等学校教員になる道がほとんど閉ざされていることに疑問を持つ。情報処理学会、CIEC、ACM 各会員。英語・中国語・韓国語ができる。

●意見発表 3月10日 (金) 10:40-10:55 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)] 「高等学校の情報科教員をめざす大学新卒者の立場から」



下村 幸子 (信州大)

[略歴]

信州大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育専修修士課程在学。2004年長野大学卒業。同年4月より現在の所属。大学時代に高校教科「情報」の免許を取得。2003年に行った教育実習に際しては、出身高校での受け入れがされず、所属大学の先生の紹介で慶應義塾湘南藤沢中・高等部で実習を行う。また、同年に教員採用試験を地元で受けることを希望するも募集がなく、断念。現在は、主に情報モラル教育について研究。

●講演 (4) 3月10日 (金) 10:55-11:25 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)] 「社会人として必要な情報分野の資質と高校における情報教育」



大久保 昇 (内田洋行)

[略歴]

1979年京都大学工学部卒、株式会社内田洋行入社、教育システム事業部に配属。2003年同事業部長、取締役就任。2005年常務取締役就任。現在、文部科学省初中局教育の情報化検討委員会委員、教育情報化推進協議会代表幹事、日本教育工学振興会副会長、日本教材備品協会副会長、日本理科教育振興協会副会長、日本教育工学協会常任理事、New Education EXPO 実行委員会事務局長。その他近年の政府 e-japan 政策関連での文部科学省、総務省、経済産業省等からの受託事業や研究案件に多く関わる。

●パネル討論 3月10日 (金) 11:25-12:00 [第2 イベント会場 (高層棟 6階 A-0652 教室)] 「大学の役割と高校の役割と政府・行政の役割」



司 会：立田 ルミ (獨協大)

[略歴]

1969年津田塾大学数学科卒、同年獨協大学計算機室勤務、1972年津田塾大学理学研究科修士課程修了、獨協大学経済学部経営学科助手、講師、助教授を経て、1987年より教授。教育工学に従事。1974年より情報処理学会会員。現在コンピュータと教育研究会財務担当幹事、教育システム情報学会評議員、論文編集委員、イリノイ大学客員研究員、イリノイ大学客員教授を歴任。現在 CIEC 理事、私立大学情報教育協会フォーラム委員。

パネリスト：大久保 昇（内田洋行）

略歴・写真は「講演（4） 社会人として必要な情報分野の資質と高校における情報教育」を参照。

パネリスト：小原 格（都立町田高校）

略歴・写真は「講演（2） 高等学校における現状と課題」を参照。

パネリスト：下村 幸子（信州大）

略歴・写真は「意見発表 高等学校の情報科教員をめざす大学新卒者の立場から」を参照。

パネリスト：辰己 丈夫（農工大）

略歴・写真は「講演（1） 情報科の教員養成に関わって（1）」を参照。

パネリスト：和田 勉（長野大）

略歴・写真は「講演（3） 情報科の教員養成に関わって（2）」を参照。

教育シンポジウム（3）：大学の一般情報処理教育のあり方について — 2006年問題を考える —

[全体概要]

2006年春には高校の必修科目「情報」を履修した学生が大学に入学してくる。大学の一般教養課程における情報処理教育の実態は高校の情報の内容とかなり重複した内容となっており、2006年春からの大学等における一般情報処理教育が破綻することが懸念されており2006年問題といわれている。情報処理学会情報処理教育委員会一般情報処理教育小委員会では大学等における一般情報処理教育のあり方に関する調査検討（文科省委託研究）において、教育内容の実態を調査し、2006年以降に実施されるべきカリキュラムを策定した。また、昨年秋にはカリキュラム体系のコア科目の教科書を情報処理学会のIT Textシリーズとして出版した。2005年、各大学での2006年問題への取り組み状況を調査する予定であり、その調査結果の報告と一般教養課程での情報処理教育のあり方を考えるパネルを行う。

●講演（1） 3月10日（金）14:30-15:00 [第2イベント会場（高層棟6階 A-0652教室）]

「企業から見た大学の一般情報処理教育への期待」



駒谷 昇一（NTTソフトウェア）

[略歴]

1980年NTTソフトウェアに入社、システム設計、プロジェクト管理、教育研修体系の策定に従事。2004年経産省ITスキル標準を活用した人材育成のあり方に関する調査委員会委員、ITSSユーザー協会導入コンサルタント認定委員会委員長、情報処理学会1996-1999年コンピュータと教育研究会運営委員、1999年第1回情報教育シンポジウム（SSS99）プログラム委員長、一般情報処理教育委員会幹事、教科書編集委員会委員。

●講演（2） 3月10日（金）15:00-15:30 [第2イベント会場（高層棟6階 A-0652教室）]

「早稲田大学における一般情報処理教育」



楠元 範明（早大）

[略歴]

早稲田大学教育・総合科学学術院助教授。

早稲田大学教育学部卒業。同大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士（理学）。同教育学部（現教育・総合科学学術院）助手を経て、現在に至る。2004年9月より早稲田大学メディアネットワークセンター教務主任（学生担当）。早稲田大学総合研究機構情報教育研究所幹事。情報処理学会コンピュータと教育研究会運営委員会、一般情報処理教育小委員会委員。

●調査報告 3月10日（金）15:30-15:50 [第2イベント会場（高層棟6階 A-0652教室）]

「2006年問題に対する大学の対応状況」



河村 一樹（東京国際大）

[略歴]

1955年生まれ。立教大学理学部化学科卒業。日本大学大学院理工学研究科博士前期課程電子工学専攻修了。博（工）。尚美学園短期大学、宮城大学を経て、現在、東京国際大学商学部情報システム学科教授。情報教育工学の研究・教育に従事。情報処理学会2003-2005年度代表会員。情報処理学会に於いて、コンピュータと教育研究会幹事および運営委員、情報処理教育委員会委員、一般情報処理教育委員会幹事、初等・中等情報教育委員会委員を歴任。

●パネル討論 3月10日（金）16:00-17:30 [第2イベント会場（高層棟6階 A-0652教室）]

「大学等における一般情報処理教育のあり方」

司 会：河村 一樹（東京国際大）

略歴・写真は「調査報告 2006年問題に対する大学の対応状況」を参照。

パネリスト：楠元 範明（早大）

略歴・写真は「講演（2） 早稲田大学における一般情報処理教育」を参照。

パネリスト：駒谷 昇一（NTTソフトウェア）

略歴・写真は「講演（1） 企業から見た大学の一般情報処理教育への期待」を参照。

パネリスト：竹村 治雄（阪大）

[略歴]

1958年4月3日生まれ。1982年3月大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1984年3月大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程物理系専攻修了。1987年3月同博士後期課程物理系専攻単位取得退学。1987年4月株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）入社。

1992年4月同主任研究員。1994年3月同退社。1994年4月奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。

1998年10月～1999年7月トロント大学工学部客員助教授。2001年4月～大阪大学サイバーメディアセンター。

現在、情報メディア教育研究部門教授。1987年7月工学博士（大阪大学）。



第1分冊

(アーキテクチャ)

一般セッション [1A会場] (3月7日(火) 9:00~12:00)

ハイパフォーマンスコンピューティング 座長 佐藤 周行 (東大)

- SCore クラスタシステムにおけるスレッドチェックポイント実装
○安井 隆, 清水正明 (日立)
- グローバルジョブスケジューリングアルゴリズム評価用シミュレータ
○渡邊啓正, 本多弘樹 (電通大),
Rak Massimiliano (Second University of Naples),
Villano Umberto (University of Sannio)
- 演習室を用いた並列計算機環境の構築とその性能評価
○山中善仁, 戸塚英臣, 栗野俊一, 藤井利江子, 鈴木潔光 (日大)
- 物理・数学の実践力育成を狙いとした教育用質点系汎用シミュレータの試作
○高木 茂 (沖縄高専)
- 第一原理分子動力学を用いたスーパーテクニカルサーバ SR11000 モデル K1 のバリア同期機構の性能評価
○高山恒一, 青木秀貴, 富田亜紀 (日立)

一般セッション [2A会場] (3月8日(水) 13:15~15:15)

計算機システム 座長 天野 英晴 (慶大)

- Cell プラットフォーム向けアプリケーションフレームワークの開発
○武内和昭, 前田誠司, 野末浩志, 雨宮治郎 (東芝)
- 特定のメモリ領域のアドレステレスを採取するソフトウェアライブラリの実装
○城勘友秀, 白木原敏雄 (東芝)
- リソース融通のためのディスクレス型サーバ移送機構の提案
○木場雄一, 福富和弘, 善明晃由, 木村哲郎 (東芝)
- ストレージシステムの高性能化に向けたキャッシュ論理分割機能の開発
○小川純司, 西本 哲, 小関英通, 石川 篤 (日立)
- 超高性能ヒューマノイド・ロボット用アーキテクチャ WR-X の開発
○斎藤卓也, 村岡洋一 (早大)

一般セッション [3A会場] (3月8日(水) 15:30~18:00)

設計自動化技術 (1) 座長 西 直樹 (NEC)

- 3次元型トランジスタを用いたシステム LSI の設計法
○渡辺重佳 (湘南工科大)
- 微細 MOSFET のリーク電流を考慮したシステム LSI の高速低消費電力設計法
○渡辺重佳 (湘南工科大)
- テレビ画像処理 LSI のファームウェア・ハードウェア協調検証環境
○庄野温夫 (東芝デジタルメディアネットワーク)
- 教育用計算機 KERNELII の実装
○永尾亜美, 有田五次郎 (九産大),
田中康一郎 (九工大), 重松 悠 (九産大)
- 組込みシステム設計教育のための FPGA を搭載したロボット教材
○増永愛子, 澤田 直 (九産大)

一般セッション [4A会場] (3月9日(木) 9:00~12:00)

OS 構成法 座長 河野 健二 (慶大)

- Linux カーネルにおける性能情報取得機構
○松沢敬一, 揚妻匡邦, 中野隆裕, 岩岸正明 (日立)
- エンタープライズ Linux 向け高信頼メモリダンプ機能の開発
○小笠原克久, 杉田由美子 (日立)
- ネットワークブートシンクライアントシステムを用いた中高齢者向けコンピュータ環境の開発と運用方法の提案
○佐々木喜一郎 (名大), 安立成洋, 田村 孝 (岐阜経済大),
安田孝美, 横井茂樹 (名大)
- 情報セキュリティサービス (1) - ログ統合管理 -
○樋口 毅, 村澤 靖, 村田 篤 (三菱)
- 情報セキュリティサービス (2) - デジタルトレーサビリティ -
○鶴川達也, 安田晃久, 北上真二 (三菱)
- AnT オペレーティングシステムの設計
○谷口秀夫, 乃村能成, 田端利宏 (岡山大)
- AnT オペレーティングシステムのドライバ構造
○乃村能成, 野村裕佑, 仁科匡人, 谷口秀夫 (岡山大)
- AnT オペレーティングシステムのメモリ領域管理
○田端利宏, 梅本昌典, 安達俊光, 谷口秀夫 (岡山大)

一般セッション [5A会場] (3月9日(木) 14:30~17:30)

組込みシステム 座長 早川 栄一 (拓大)

- デジタル情報機器におけるメモリ削減の検討
○大和仁典, 矢野啓二郎, 安井啓介,
上床克樹, 佐久間毅, 島田智文 (東芝)
- CD/DVD 起動 Linux "KNOPPIX" の起動高速化の実現
○阿部大将, 丹 英之, 北川健司, 千葉大作 (アルファシステムズ),
須崎有康, 飯島賢吾, 八木豊志樹 (産総研)
- 組込み機器におけるセキュア OS 導入評価
○矢野啓二郎, 安井啓介, 上床克樹, 佐久間毅, 島田智文 (東芝)
- マルチコア上の異種 OS 間通信機能の設計と評価
○遠藤幸典, 菅井尚人 (三菱)
- 広域 IP 網を介した iSCSI 通信におけるプロトコルチューニングの一検討
○藤原啓成 (日立), 若宮直紀 (阪大), 志賀賢太 (日立)
- 携帯端末におけるセキュアアプリケーション構築環境の検討
○岡田英明, 清原良三 (三菱)
- 組込み機器における Linux カーネル 2.6 のリアルタイム性評価
○出原章雄, 攝津 敦, 伊藤孝之, 落合真一 (三菱)
- 組込システム向け TCP/IP プロトコルスタックにおける IPsec の実装
○堤 大祐, 堀 武司, 長内 研,
吉川 毅, 山本 寧 (北海道立工業試験場)

学生セッション [1J会場] (3月7日(火) 9:00~12:00)

分散・実時間システムとセキュリティ 座長 高汐 一紀 (慶大)

- データ移動アドレス追跡によるメール添付型ウィルスの振る舞い検出
○池田健太, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- ノンクリックソフトウェアキーボードの提案
○田中俊之, 土居範久, 千葉雄司 (中大)
- プライバシーウェア OS Salvia における共有メモリを介したデータ漏洩の防止手法
○廣 真文, 鈴木和久, 毛利公一, 大久保英嗣 (立命館大)
- Web サーバの負荷制御の為のシステム情報の検討
○加地智彦, 最所圭三 (香川大)
- PC クラスタと VMware による分散システム演習環境の構築
○久森達郎, 塚本享治 (東京工科大)
- キャッシュサーバを用いた大規模分散ファイルシステムの構築と応用
○小柳順裕, 山下直人, 田胡和哉 (東京工科大)
- 大規模分散ファイルシステム向きの高機能ストレージシステムの研究
○山下直人, 小柳順裕, 田胡和哉 (東京工科大)
- 時間駆動オブジェクト指向モデルに基づく組み込み制御システム向け分散処理環境
○石郷岡祐, 横山孝典, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 組込みシステム向け ORB の開発
○谷田貝純, 早川栄一 (拓大)

学生セッション [2J会場] (3月8日(水) 13:15~15:15)

ハイパフォーマンスコンピューティング 座長 合田 憲人 (東工大)

- モンテカルロシミュレーションにおける直交展開サンプリング
○古川哲也, 宮崎洋平, 北守一隆 (北海道工大)
- 交通シミュレータの限定描画による処理の高速化の研究
○神保尚義, 中村俊一郎 (日本工大), 宮西洋太郎 (宮城大)
- 交通シミュレータの自動検証機能と類似性評価について
○渡部純也, 中村俊一郎, 大澤 洋 (日本工大), 宮西洋太郎 (宮城大)
- グリッドコンピューティングを用いた「積み込み計算」の解法 - 根の振る舞いの解析に向けて -
○黒坂翔一, 鈴木秀男 (能開大), 小林英恒 (日大), 三浦正浩 (創夢)
- ネットワークシミュレータ GloMoSim の並列化
○加藤剛史, 松垣博章 (電機大)
- グリッド環境下での通信遅延を考慮した改良ジョブキュースケジューリング法の評価
○岩切淳一, 山森一人, 吉原郁夫, 相川 勝 (宮崎大)
- Grid Computing の性能見積り手法の研究
○坂巻雅実, 野々田峰寛, 伊藤 剛, 中 健一, 中村太一 (東京工科大)
- SIMD プログラミングのための共通インタフェースの提案および実装
○中西 悠, 本多弘樹, 渡邊啓正 (電通大)

学生セッション [3J 会場] (3月8日(水) 15:30～18:00)

プロセッサと高速化 座長 鳥居 淳 (NEC)

- 1 同期付き共有変数キャッシュを搭載したオンチップマルチプロセッサの効果的なプリフェッチ命令の挿入
○佐藤芳紀, 山脇 彰, 岩根雅彦 (九工大)
- 2 (講演取消)
- 3 パイプラインプロセッサにおけるハザード対応方法の設計と評価
○孟 林, 小柳 滋 (立命館大)
- 4 PISA パイプラインプロセッサの設計と FPGA への実装
○三村貴志, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 5 動的最適化のためのハードウェア・パスプロファイリング機構の検討と実装
○鈴木 智, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 6 動的再構成可能なプロセッサ上における電子透かしの実装
○宮本悠生, 小柳 滋 (立命館大)
- 7 グリッドコンピューティングを用いた映像分散トランスコーディングシステム
○中 健一, 坂巻雅実, 野々田峰寛, 伊藤 剛, 中村太一 (東京工科大)

学生セッション [4J 会場] (3月9日(木) 9:00～12:00)

コンパイラ 座長 佐藤 真琴 (日立)

- 1 自己拡張可能な構文解析器生成系 ○舞田純一, 中井 央 (筑波大)
- 2 ユーザプログラムの応答性の低下を防ぐ実行時コンパイラ構成法
○西岡隆司, 鈴木和久, 毛利公一, 大久保英嗣 (立命館大)
- 3 マルチスレッドコードにおけるインライン展開適用の手法
○増澤英樹, 阿久津徳寿, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 4 プロファイル情報を用いた最適化におけるコストと効果についての評価
○高橋恭平, Jinlatda Vongthongkham, 増保智久, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 5 複雑な制御流を含むループに対応したバイナリレベル自動並列化処理系の開発
○芝崎 諒, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

学生セッション [5J 会場] (3月9日(木) 14:30～17:30)

大規模システムと結合網 座長 横田 隆史 (宇都宮大)

- 1 PC クラスタ向け OS 「SSS-PC」のための負荷分散スケジューラの設計
○久松佳之 (農工大), 松本 尚 (国立情報学研), 並木美太郎 (農工大)
- 2 DIMMnet-2 向け Windows ドライバの設計と実現
○金井 遵, 森 拓郎, 荒木健志, 中條拓伯, 並木美太郎 (農工大)
- 3 大域的情報伝達による耐故障ルーティングの検討
○小川雅昭, 鈴木剣之介, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 4 2D トーラスネットワークにおける通信方向予測ルーティング
○鎌倉正司郎, 西村康彦, 吉永 努 (電通大)
- 5 iSCSI アクセス時の複数台 Initiator を用いた TCP 輻輳ウィンドウ制御方式の一検討
○豊田真智子 (お茶の水女子大), 山口実靖 (東大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 6 iSCSI における TCP パラメータとアプリケーション実行性能の相関関係評価
○千島 望, 豊田真智子 (お茶の水女子大), 山口実靖 (東大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 7 組み込みシステムにおける高負荷機器制御と TCP/IP 通信の並列処理
○瀬川博貴, 牛丸真司 (沼津高専)
- 8 ハートビートによる障害検知方式に関する考察
○宮 徹, 高屋敷光一, 猪股俊光, 曾我正和 (岩手県大)

学生セッション [6J 会場] (3月10日(金) 9:00～12:00)

設計自動化技術 (2) 座長 島崎 健二 (松下)

- 1 ハードウェア・ソフトウェア協調設計方式と画像処理システムへの適用
○鈴木義之, 松本祐輔 (電機大), 遠藤 祐 (ソニックソフトウェア), 小泉寿男 (電機大)
- 2 (講演取消)
- 3 H.264/AVC エンコーダの協調設計
○岡本 豊, 黒川恭一, 岩井啓輔 (防衛大)
- 4 FPGA のためのネットワークインターフェースの検討
○丹野 博, 坪川 宏 (東京工科大)
- 5 (講演取消)
- 6 FPGA 上のデータマスク方式による DPA 対策の検証
○佐々木稔, 黒川恭一, 岩井啓輔 (防衛大)

デモセッション [デモ会場]

デ-06 (3月8日(水), 3月9日(木), 3月10日(金))

シーケンス制御記述言語向けハードウェア・ソフトウェア協調実行環境

○田中輝明 (三菱), 瀬戸謙修 (東大), 吉本忠司 (三菱), 藤田昌宏 (東大)

デ-15 (3月8日(水), 3月9日(木), 3月10日(金))

1CD ブート Linux である "KNOPPIX" の改良

○須崎有康, 飯島賢吾, 八木豊志樹 (産総研), 北川健司 (アルファシステムズ), 田代秀一 (産総研)

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [6A 会場] (3月10日(金) 9:00～12:00)

分析/設計・学習 座長 紫合 治 (電機大)

- 1 XP と OSS を連携させたソフトウェア開発法に関する一考察
○佐藤秀樹, 金子正人, 武内 敦, 藤本 洋 (日大)
- 2 メタモデルを用いたビジネスプロセスアクセス手法の開発
○馬場昭宏, 山足光義, 近藤誠一 (三菱)
- 3 自然言語処理を利用したユースケース記述推敲支援
○山梨敦志, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 4 クラス図に埋没する構造の管理とその応用の提案
○石井俊直, 山岡孝之, 堀池 聡 (三菱)
- 5 UML ステートマシン図を用いた S/W 設計検証方法の提案
○炭崎竜平, 辰巳尚吾, 井上勝行 (三菱), 松村和機 (京大), 吉田 実 (三菱)
- 6 プログラミングにおけるソース文の変化特性分析
○土田康太, 水穂良平, 浜名隆広, 佐藤匡正 (島根大)
- 7 ソフトウェア開発演習のためのグループ編成の最適化支援
○桑原 徹, 秋 玉梅, 橋浦弘明, 石川達也, 山下公太郎, 古宮誠一 (芝浦工大)

一般セッション [7A 会場] (3月10日(金) 14:30～17:30)

品質・テスト 座長 田村 直樹 (三菱)

- 1 効率的なレビューのための静的コード解析機能の拡張とその評価
○野原賢二, 坂田祐司, 横山和俊 (NTT データ)
- 2 静的解析ツールを用いた品質向上施策の検討 ○河崎文雄 (日立)
- 3 オープンソースツールを活用した単体試験技法とその事例報告
○川崎将人, 上野浩一郎 (三菱)
- 4 安全なシステム移行のためのシステム試験方法
○秦野克彦, 住野 寛, 保坂奈緒美 (三菱電機情報ネットワーク), 佐藤雅之 (三菱)
- 5 オブジェクトの構造をテストする表明文の導入
○榊原正天, 櫻井孝平, 山崎雄大, 古宮誠一 (芝浦工大)
- 6 ソフトウェアの流用開発における自動テストのための試験データの自動生成
○戸堀賢治, 大橋一史, 古澤康一 (三菱)
- 7 HTML 及び CSS における IRI テスト環境の提供
○米川和宏, Martin Duerst (青学大)

一般セッション [2B 会場] (3月8日(水) 13:15～15:15)

アルゴリズムとその応用 座長 鹿島 久志 (日本 IBM)

- 1 二項分布情報源に対してすべての2元ハフマン符号を生成する方法について
○福岡久雄 (松江高専), 和田雄次 (電機大)
- 2 (講演取消)
- 3 墨塗り署名方式の比較
○伊豆哲也, 金谷延幸, 武仲正彦, 吉岡孝司 (富士通研)
- 4 複数 USB フラッシュメモリによる機密情報拡散通信手法の実装
○松垣博章, 落合孝文 (電機大)
- 5 最適所得課税理論と日本の申告所得税 ○市田浩三 (京産大)

一般セッション [3B 会場] (3月8日(水) 15:30～18:00)

グラフ・アルゴリズム 座長 稲越 宏弥 (富士通研)

- 1 有向非循環グラフにおける最短 N 経路探索アルゴリズム
○蓮井洋志 (室蘭工大)
- 2 P システムの応用ー巡回セールスマン問題の新しい近似解法
○西田泰伸, 成田雅彦 (富山県大)

- 3 Balanced (C_3, C_4)-2t-Foil Decomposition Algorithm of Complete Graphs
○潮 和彦 (近畿大)
- 4 On the Complexity of Three-Dimensional Channel Routing
○山口貴史, 田湯 智, 上野修一 (東工大)
- 5 断続的な故障を考慮したマルチプロセッサシステムのシステムレベル故障診断に関する研究
○桐 大輔, 山田敏規 (埼玉大)
- 6 マンハッタン距離に基づいた無線ネットワークの最小エネルギーブロードキャストに関する研究
○洪 明一, 山田敏規 (埼玉大)
- 一般セッション [4F 会場] (3月9日 (木) 9:00 ~ 12:00)**
サービス・アスペクト指向 座長 増原 英彦 (東大)
- 1 MZ Platform: イベント駆動型コンポーネント指向開発環境を用いたエンドユーザ開発への試み
○古川慈之, 澤田浩之, 富澤拓志, 松木則夫 (産総研)
- 2 UbiSM: スタック抽象に基づくユビキタス・アプリケーション構築支援ミドルウェア
○望月祐洋 (東工大)
- 3 CORBA アプリケーションの Web サービス化における透過性の実現
○渡邊将一郎, 森 和夫 (日本 IBM)
- 4 複合 Web サービスのモデルベース開発方法と支援環境の提案
○福永遂重, 青山幹雄 (南山大)
- 5 JSP/ サブレット型 Web アプリケーション専用のリムーバブル式開発環境構築支援システムの考案と実装
○平河内竜樹 (無所属)
- 6 横断的関心事の特定に基づくアスペクトモジュールの記述支援
○齊藤 瞳, 櫻井孝平, 山崎雄大, 古宮誠一 (芝浦工大)
- 7 組込み Java 向け開発環境へのアスペクト指向ツールの適用
○井奥 章 (日立), 上原一郎 (日立ソフトウェアエンジニアリング), 川崎進一郎, 森本義章 (日立), 磯部竜雄 (日立ソフトウェアエンジニアリング)
- 学生セッション [7J 会場] (3月10日 (金) 14:30 ~ 17:30)**
開発支援・分析/設計 座長 沖田 直幸 (横河電機)
- 1 ストラテジ指向型ソフトウェア開発体制に関する研究
○侯 剛, 大原茂之 (東海大)
- 2 ビジネスプロセスモデルを用いた情報システム構築法の試作
○平林秀一, 上西 司, 小泉寿男 (電機大), 大川 勉 (三菱)
- 3 ユースケースから設計への橋渡しに関する研究
○齊藤孝幸, 宮本衛市 (はこだて未来大)
- 4 組込みソフトウェア向けデザインパターンとその適用方法
○寧 静, 青山幹雄 (南山大)
- 5 プログラムの構造に基づいた検索が可能なソースコードブラウザ
○村上和真, 中山 健, 小林良岳, 前川 守 (電通大)
- 6 グループワークによるソフトウェア開発における成果物管理支援
○荷田雄太, 松浦佐江子, 栗原紘樹 (芝浦工大)
- 7 学生を対象としたソフトウェア開発におけるインスペクション効果の検証
○栗原紘樹, 松浦佐江子, 荷田雄太 (芝浦工大)
- 8 (講演取消)
- 9 Weblog を用いたプロジェクト型開発支援システムの開発
○松岡 陽, 牧 俊男, 深海 悟 (阪工大)
- 学生セッション [2K 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)**
変換/合成・検証 座長 吉岡 信和 (国立情報学研)
- 1 過去の設計仕様書を利用した分析クラス図の自動生成に関する基礎的研究
○細島啓史, 池辺正典, 田中成典, 中村健二 (関西大)
- 2 MDA に基づいたプラットフォーム依存モデルと非依存モデルの境界点の考察
○磯野亘平, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 3 XSLT を用いた Swing/SWT 共通コードジェネレータの実現
○大城繁鷹, 塚本享治 (東京工科大)
- 4 MVC を用いたコンポーネント連携型 UIMS の提案
○久原政彦, 伊藤 誠 (中京大)
- 5 自動化コンポーネント連携のためのプログラム採点支援ツールの改善
○藤原 巧, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 6 Aspect 指向を用いた Java3D アプリケーションの構造
○泉水論司, 小林 洋 (東海大)
- 7 リアルタイムシステム向けアスペクト指向設計のためのシーケンス図を対象としたモデルウィーバ
○柳館雄太, 横山孝典, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 8 THA の到達可能性解析によるハイブリッドシステムの検証について
○栗田 淳, 中村勝則, 房岡 璋 (立命館大)
- 9 Ambient Calculus による物流システムの記述と検証
○森本大輔, 加藤 暢, 樋口昌宏 (近畿大)
- 学生セッション [3K 会場] (3月8日 (水) 15:30 ~ 18:00)**
Web・サービス指向 座長 坂田 祐司 (NTT データ)
- 1 日本語ワークフローに基づく Web アプリケーション向けプロトタイプ生成ツール
○林 雅彦, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 2 Web ページに基づく Web アプリケーションスクルトン自動生成手法の提案
○本田創大, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊 (岩手県大)
- 3 WEB アプリケーションのセキュリティ要件とその開発方法
○中村千恵子, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 4 Web アプリケーションの Web サービス変換アーキテクチャとその評価
○加藤房良, 林 佑亮, 青山幹雄 (南山大)
- 5 ポリシー制御に基づく Web サービスの対話型トランザクションアーキテクチャの提案と評価
○大谷洋子, 青山幹雄 (南山大)
- 6 SOAP over SMTP を用いた非同同期型メッセージングの提案と評価
○森 晃, 青山幹雄 (南山大)
- 7 コンテキストに応じたモバイルサービスのアーキテクチャとプロトタイプによる評価
○中村一仁, 森 晃, 大谷洋子, 福永遂重, 青山幹雄 (南山大)
- 8 モバイルサービスの自己組織化モデルの提案と評価
○武市寛司, 青山幹雄 (南山大)
- 9 サービス指向アーキテクチャに基づく情報家電機器の自律的サービス連携アーキテクチャの提案
○藤山麻衣, 飯島沙織, 加藤有希, 青山幹雄 (南山大)
- 学生セッション [5K 会場] (3月9日 (木) 14:30 ~ 17:30)**
アルゴリズムと数理モデル化 座長 廣安 知之 (同志社大)
- 1 対象のニューラルネットに合わせたプロセッサ自動配置する並列学習アルゴリズム
○佐々木健吾, 渥美清隆 (鈴鹿高専)
- 2 知的照度センサを用いた知的照明システムの提案
○昌山 智, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 3 可視光通信による知的照明システムの収束性の改善
○朝山絵美, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 4 赤外線通信による知的照明システムの収束性の改善
○狩野浩一, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 5 サービスを考慮した施設配置問題に対する近似アルゴリズムの実験評価
○中塩英良, 浅野孝夫 (中大)
- 6 障害物環境下におけるロボットの経路生成
○常山剛希 (中大)
- 7 総人口変化を考慮した SEIR 伝染病モデルの大域的安定性
○杉本達也, 江上親宏 (沼津高専)
- 8 有限振幅情報に基づく非ガウス形不規則信号の各種統計量推定法
○谷田 眞, 横田幸恵, 隅田寿充, 南原英生 (岡山理大)
- 9 (講演取消)
- 10 遷移集合に着目したダブル配列法における追加手法の提案
○中村康正, 野村 優, 望月久稔 (大阪教育大)
- 11 線形ハッシュの効率解析
○木建 翼, 三浦孝夫 (法大)
- 12 HIV 力学系における薬物治療モデルの安定性解析
○酒井佑植, 江上親宏 (沼津高専)
- 学生セッション [6K 会場] (3月10日 (金) 9:00 ~ 12:00)**
品質・メトリクス 座長 渡辺 博之 (オーガス総研)
- 1 リファクタリングのソフトウェア保守に対する効果測定
○松本義弘, 肥後芳樹, Simone Livieri, 片岡欣夫, 楠本真二, 井上克郎 (阪大)
- 2 Executable UML を用いたアプリケーション開発における保守性・移植性の検証
○末永雅嗣, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 3 オブジェクト指向特性に基づく Java プログラムの再利用性評価方法
○内山哲也, 松浦佐江子 (芝浦工大)

- 4 Visual Basic によるアプリケーションプログラムの進化メトリクスの
検討 ○野崎英之介, 登内貴士, 中島功一郎, 神林 靖 (日本工大)
- 5 フォーマットの診断によるプログラミングスタイル支援システムの提案
○池谷 武, 伊藤一成, Martin Duerst (青学大)
- 6 Java プログラミング初学者に対するテスト方法の対話的な学習支援
○上河内頌之, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 7 プログラム実行履歴情報を用いたトランザクションファンクションの
抽出 ○森岡 佑 (阪大), 英 繁雄,
前田憲一, 津田道夫 (日立システムアンドサービス),
楠本真二, 谷口考治, 井上克郎 (阪大)
- 8 組み込みソフトウェアの機能量測定法に関する比較検討
○三重堀亜紀, 小澤陽平, 小泉寿男 (電機大)
- 9 開発者の生産性を考慮した開発プロジェクト間の人員最適配置に関する
研究 ○北野光一, 吉田博哉, 田中成典, 中村健二 (関西大)
- 10 XP のペアプログラミングにおける生産性の測定
○中田 賢, 佐々木淳, 米田多江, 船生 豊 (岩手県大)

一般セッション [4B会場] (3月9日(木) 9:00~12:00)

音声言語情報処理 座長 山田 武志 (筑波大)

- 1 携帯端末上で動作する日中通訳システムの開発
○花沢 健, 赤峯 亨, 石川 開, 磯谷亮輔, 山端 潔, 服部浩明, 奥村明俊 (NEC)
- 2 低消費電力マルチコアプロセッサで動作する日英自動通訳システム
○山端 潔, 石川晋也, 花沢 健, 長田誠也, 土井伸一, 磯谷亮輔, 服部浩明, 奥村明俊 (NEC)
- 3 GAによる話者位置への同時発話認識システムの最適化
○山本俊一 (京大), 中臺一博, 中野幹生, 辻野広司 (ホンダRLJ), Jean-Marc Valin (CSIRO), 武田 龍, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 4 音源定位及び唇の動き検出による複数ユーザ環境における発話者認識
○HYUN-DON KIM, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 5 音声と口唇の動き特徴を用いたマルチモーダル個人認証
○佐藤慶幸, 西田 眞 (秋田大), 西 健治 (アルファシステムズ)
- 6 動的環境情報を利用したマルチモーダル対話システムの構築と適用応答文生成法の検討
○吉田昌弘, 大隈祐治, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 7 キーワード抽出と意味解釈を併用したマルチモーダル対話システムの検討
○福井教順, 桂田浩一, 新田恒夫 (豊橋技科大), 小暮 悟 (静岡大), 高木 朗 (CSK), 麻生英樹 (産総研), 伊東幸宏 (静岡大)

一般セッション [5B会場] (3月9日(木) 14:30~17:30)

生体情報処理 座長 湯浅 将英 (電機大)

- 1 コンタクトプロセスによる感染症の伝播に関する研究
~渡り鳥効果を考慮した一般的モデル~
○松崎雄大 (北海道情報大)
- 2 杆体におけるロドプシン活性化過程のCRフィルタモデル
○薛 斯毅, 富永陽介, 小島正典 (阪工大)
- 3 杆体におけるPDE活性化過程のアクティブフィルタモデル
○富永陽介, 薛 斯毅, 小島正典 (阪工大)
- 4 杆体外節における光感受性電流生成の定常応答に対する非線形増幅回路モデル
○小島正典, 富永陽介 (阪工大)
- 5 神経細胞の電気特性に基づいた電子計算回路の構築
○張 曉林, 前田幸徳 (東工大)
- 6 健康に関する領域オントロジーの構築
○佐藤ひかり (仙台高専), 青木浩之, 結城 啓 (宮城大), 板橋吾一 (仙台応用情報学研究振興財団), 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台高専), 富樫 敦 (宮城大)
- 7 健康に関するルール構築と健康アドバイスへの適用
○板橋吾一 (仙台応用情報学研究振興財団), 和泉 論 (仙台高専), 湯本純也 (宮城大), 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台高専), 富樫 敦 (宮城大)

一般セッション [6B会場] (3月10日(金) 9:00~12:00)

知的システム 座長 松平 正樹 (沖電気)

- 1 架空名義入札に頑健な2段階オークションメカニズムの特徴付けと社会的総余剰に関する評価
○松尾徳朗, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 2 4次元空間立体四目並べプレイプログラムの設計
○水間 輝, 苔米地宣裕 (八戸工大)
- 3 サンプル評価に基づく適応度関数を用いた対話型室内レイアウトシステムの開発
○濱田悠介, 狩野 均 (筑波大)
- 4 (講演取消)
- 5 総務省受託「健康福祉プロジェクト」の概要
○富樫 敦 (宮城大), 板橋吾一 (仙台応用情報学研究振興財団), 打矢隆弘, 木下哲男 (東北大), 野口正一 (仙台応用情報学研究振興財団)

一般セッション [7B会場] (3月10日(金) 14:30~17:30)

探索と学習 座長 吉田 哲也 (北大)

- 1 論理プログラミングによる優先順位付き極小限定の計算と性能評価
○富田一夫, 若木利子 (芝浦工大)
- 2 高速k-opt法を用いた遺伝的局所探索法について
○河本敬子 (近畿大), 片山謙吾, 成久洋之 (岡山理大)
- 3 囚人のジレンマゲームにおける空間上のエージェントの進化・学習
○小野真裕, 石塚 満 (東大)
- 4 条件付き入札に基づく相互依存価値オークションの設計
○伊藤孝行 (名工大), Parkes David (Harvard University)
- 5 2重染色体を用いた遺伝的アルゴリズムでのTSPの解法
○又吉光邦 (沖縄国際大)
- 6 分散制約充足による交通信号制御方式
○山田和枝, 水野一徳, 山田雅一, 三谷 純, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)
- 7 単語の接続情報を利用した系列予測モデルの提案
○篠沢佳久 (慶大)
- 8 モバイルエージェントにおけるクラスタリングを用いた階層的強化学習
○下山佐助, 末田直道 (大分大)

一般セッション [2C会場] (3月8日(水) 13:15~15:15)

色彩画像処理・画像検索 座長 鈴木 卓治 (国立歴史民俗博物館)

- 1 sRGBディスプレイ上の色再現評価
○尾崎敬二 (国際基督教大)
- 2 複数カメラ間の色補正技術
○外館弘理, 横光澄男, 佐藤正章 (パナソニックシステムソリューションズ)
- 3 ストロークを単位とする手書き数字列の認識方法
○宮崎俊和, 成田篤信, 小川琢也 (NTTコムウェア)
- 4 局所平均差分の階層的四分木符号を特徴量とするカラー自然画像の類似検索
○栗田涼平, 金井 理, 岸浪建史, 涉川勝久 (北大)
- 5 類似テクスチャ画像の検索に適した特徴量について
○箕谷祐也, 長嶋秀世 (工学院大)
- 6 テクスチャ画像の色カテゴリに基づいた印象の推定について
○山崎淳史, 長嶋秀世 (工学院大)

一般セッション [3C会場] (3月8日(水) 15:30~18:00)

画像の理解 座長 安達 文夫 (国立歴史民俗博物館)

- 1 表情パタンの平面回路的基礎について
○横田 誠 (生工システム (伝子工学) 研究会)
- 2 非同期マルチカメラ画像を用いた人物分布状況の推定手法
○小林美保, 及川道雄 (日立)
- 3 口裂に着目した口の閉閉状態の判別に関する検討
○白澤洋一, 西田 眞 (秋田大), 栗栖怜史 (アルファシステムズ)
- 4 顔画像の位相特性に基づいた個人固有の表情特徴空間の形成に関する検討
○石井雅樹, 佐藤和人 (秋田県産業技術総合研究センター), 西田 眞 (秋田大), 間所洋和 (秋田県産業技術総合研究センター)
- 5 映像の種類に依存しない映像要約手法に関する検討
○倪 輝斌 (早大), 野村敏男, 渡部秀一 (シャープ), 亀山 涉 (早大)
- 6 人間の動作系列からの感情・情動抽出手法の構築
○加賀谷拓, 羽倉 淳, 藤田ハミド (岩手県大)
- 7 排水性舗装における路面状態の画像処理評価手法
○加世田将光, 後藤彰彦 (阪産大), 北川和男, 島村哲朗 (京都市産業技術研究所工業技術センター), 大道 賢 (日進化成), 土屋忠寛 (前田道路), 石丸 修, 白石哲也 (利昌工業)

一般セッション [4C会場] (3月9日(木) 9:00~12:00)

動画像・立体視・医用画像 座長 長尾 智晴 (横浜国大)

- 1 動画像の圧縮・特徴表示とその応用
○齋藤寛著 (電機大), 齊藤朋子, 柏村文郎 (帯広畜産大), 齊藤 剛 (電機大)
- 2 ファジー推論ニューラルネットワークを用いた動画像からの動オブジェクト抽出
○桑原修一, 坂田真人, 小原 仁 (秋田大)
- 3 反応拡散ネットワークによるステレオ視差の検出
○野村厚志, 一川 誠, 三池秀敏 (山口大)
- 4 ヘリコプタに装着した両眼アクティブカメラを用いた立体地図計測法
○張 曉林, 松崎和敏, 加藤芳彦 (東工大)

- 5 眼球運動特性を有する両眼監視システム
○谷 宇章, 佐藤 誠, 張 曉林 (東工大)
- 6 Enhancing PET images by means of Bates' blind deconvolution
○岡野大祐 (日立), 青垣総一郎, 竹内富士雄, 外山政文 (京産大)
- 7 Dynamic Programming Distance を利用した領域拡張法による3次元
医用画像からの特定領域の抽出 ○森井 喬, 牧之内顕文 (九大)
- 8 3次元人体カラー画像からの半自動による肺領域抽出
○城戸英彰, 牧之内顕文 (九大)

一般セッション [5C 会場] (3月9日 (木) 14:30 ~ 17:30)

- 自然言語処理 座長 中川 裕志 (東大)
- 1 技術文書中の特徴的情報を表示しユーザの文書選択を支援する機能を
備えた全文検索システムの開発 ○荒井豊文 (日本ガイシ)
- 2 投稿記事間の“ばらつき”を利用したブログ分類手法
○佐藤吉秀, 関口裕一郎, 川島晴美, 奥田英範 (NTT)
- 3 統合主題グラフを用いた主題の類似性に基づく文書クラスタリング
○中田正雄, 長名優子 (東京工科大)
- 4 携帯メールにおける顔文字自動付与手法
○鈴木信雄, 津田和彦 (筑波大)
- 5 同義性判定ルールを用いた重複レコード照合システム
○齋藤 悠, 立石健二, 久寿居大 (NEC)
- 6 誤訳/訳漏れチェッカーの利用 - 翻訳納品物の受け入れ検査プロセス
○脇田早紀子, 前川伸子 (日本 IBM)
- 7 日本語点字翻訳における例外事例適用閾値の自動調整
○小野智司, 山崎 節, 中山 茂 (鹿児島大)
- 8 べた書きかな文の仮単語境界推定を用いたかな漢字変換法の精度
○荒木哲郎, 倉野正樹 (福井大), 山田和義, 古川康夫 (福井県警)

一般セッション [2H 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)

- 音楽情報科学 (3) 座長 小坂 直敏 (電機大)
- 1 著作権フリー BGM のための新提案 - FMC3 からの発展 -
○長嶋洋一 (静岡文化芸大)
- 2 画像の色彩情報に基づく対話型作曲システム MUSCAT について
○岩井憲一, 中川早織 (滋賀大)
- 3 集中マイクロホンの指向特性を利用したブラインド音源分離
○松本光春, 橋本周司 (早大)
- 4 共感覚的比喩と絶対音感 ○山脇一宏, 椎塚久雄 (工学院大)
- 5 音楽意味的に楽曲パターンを分類できる IT 機器の基礎系について
○横田 誠 (生システム (伝子工学) 研究会)

学生セッション [7K 会場] (3月10日 (金) 14:30 ~ 17:30)

- AI 応用 座長 駒谷 和範 (京大)
- 1 事例ベース推論を用いた、雪氷作業指示支援システム
○池田芳紀, 仲谷善雄 (立命館大)
- 2 コンピュータブリッジにおける他者のモデルを用いた並列探索
○小田和友仁, 村上隆志, 上原貴夫 (東京工科大)
- 3 コンピュータブリッジにおけるディフェンス
○村上隆志, 小田和友仁, 上原貴夫 (東京工科大)
- 4 コミュニティ情報を利用した思い出の構築手法の提案
○橋本克哉, 仲谷善雄 (立命館大)
- 5 視覚化を利用した知識ベース管理システムの設計と実装
○重松伴典 (東理大), 平石広典 (ウヰズダムテック),
溝口文雄 (東理大)
- 6 TS 法によるコンタクトセンタ要員シフト作成法
○掛水貴之, 金久保正明, 菱沼千明 (東京工科大)
- 7 (講演取消)
- 8 k-means を用いた音楽フレーズのクラスタリング
○桑島 洋, 小谷善行, 但馬康宏, 池田 剛 (農工大)
- 9 ヒューマノイドロボットによる自律的な音韻と語彙の獲得
○戸塚伸弥, 橋本周司 (早大), 鈴木健嗣 (筑波大)
- 10 RoboCup サッカーシミュレーションにおける組織的守備
○戸所映次郎, 早川栄一 (拓大)

学生セッション [1L 会場] (3月7日 (火) 9:00 ~ 12:00)

- 遺伝的アルゴリズム 座長 松井 正一 (電中研)
- 1 探索中の良好な解と交叉を行うシミュレーテッドアニーリング
○平岩健一郎, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 2 形質獲得箇所を考慮した突然変異手法の効果検証
○當真嗣真, 又吉光邦 (沖縄国際大)
- 3 形質獲得箇所からの遺伝距離を考慮した TSP における突然変異手法の
効果検証 ○當山直正, 又吉光邦 (沖縄国際大)
- 4 3 並列型近傍幅調節機能を持つシミュレーテッドアニーリング
○平尾洋樹, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 5 EDA におけるエントロピー制約の導入とアニーリングの実現
○花野勝則, 末松伸朗, 林 朗 (広島市大)
- 6 (講演取消)
- 7 対話型進化計算法を用いたオフィスレイアウト支援システム
○細野克之, 屋中麻衣子, 長名優子 (東京工科大)
- 8 (講演取消)
- 9 進化論的計算手法による金融データの予測
○大野勝彦, 伊庭齊志 (東大)
- 10 遺伝的プログラミングによる組み合わせ型ロボットの形態形成
○島田健太, 峠 隆広, 伊庭齊志 (東大)

学生セッション [2L 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)

- 音楽情報科学 (1) 座長 平田 圭二 (NTT)
- 1 Stribeck 効果を伴う動摩擦力を考慮した擦弦の精密シミュレーション
○中山晴貴 (早大)
- 2 共鳴部駆動による箏のエレキ化 ○高橋直也 (早大)
- 3 機械学習を用いた音楽フレーズグルーピング法の獲得
○山上信一, 小谷善行, 但馬康宏, 池田 剛 (農工大)
- 4 多重奏中特定パートの自動採譜における複数特徴量の自動重み付け
○糸山克寿, 北原鉄朗, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 5 階層構造による音楽リズムの分析と生成 ○笠原俊一 (早大)
- 6 音楽音響信号を対象としたジェスチャによる音楽指揮システム
○小尾正和 (早大), 鈴木健嗣 (筑波大), 橋本周司 (早大)
- 7 事例に基づく演奏表情生成システムへの MusicXML の適用
○清水厚志 (芝浦工大), 鈴木泰山 (ピコラボ),
野池賢二 (無所属), 徳永幸生 (芝浦工大)

学生セッション [3L 会場] (3月8日 (水) 15:30 ~ 18:00)

- 音楽情報科学 (2) 座長 鈴木 泰山 (ピコラボ)
- 1 Web 上のコミュニケーションツールで利用可能な電子楽譜システム
○音無知徳, 青柳龍也 (津田塾大)
- 2 リズムと音程の関連性を考慮した標準 MIDI ファイルのジャンル自動
分類手法の提案 ○川村 修, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 3 好みの楽曲を選定するための楽曲類似度測定方法
○宮沢祐光, 梶 崇, 飯田善久 (成蹊大)
- 4 印象の類似度に基づくオンライン楽曲推薦手法の研究
○千田一孝, 藤澤公也 (東京工科大)
- 5 複数ユーザの音楽嗜好特徴空間を用いた楽曲推薦システム
○永田裕二 (早大), 帆足啓一郎, 菅谷史昭 (KDDI 研), 甲藤二郎 (早大)
- 6 標題音楽アニメーションのための階層的物語タグの設計
○西山正紘, 北原鉄朗, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 7 擬音語表現を利用した環境音のための XML タグの設計と自動付与
○田口明裕, 北原鉄朗, 石原一志, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

学生セッション [4L 会場] (3月9日 (木) 9:00 ~ 12:00)

- 複雑系 座長 栗原 聡 (阪大)
- 1 シミュレーテッドアニーリングによる自動プログラミングにおける
温度の自動調節 ○柴田 優, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 2 時系列変化を考慮した論文ネットワークの解析
○榊 剛史 (東大), 松尾 豊 (産総研), 石塚 満 (東大)
- 3 進化的計算理論のネットワークのダイナミクス解析に関する一考察
○米田貴雄, 吉井伸一郎 (北大)
- 4 Minority Game における富の性質 ○戸田皓治, 中村泰之 (名大)
- 5 分散制約最適化問題における局所負荷軽減のための非同期分散探索手法
○橋本大樹, 能登正人 (神奈川大)

- 6 複雑適応系の現実問題への適用について ○上地洋祐 (芝浦工大)
- 7 汎用性を考慮した GA・SA 併用アーキテクチャ
○川崎洋輔, 吉川雅弥, 寺井秀一 (立命館大)
- 8 ハード・ソフト協調システムを用いた進化的ロボットの行動獲得シミュレーション ○溝口博生, 吉川雅弥, 寺井秀一 (立命館大)
- 9 配線問題における段階的詳細化を考慮した GA 配線手法について
○咲間由紀, 新井浩志 (千葉工大)
- 10 パラメータ予測によるルール変化型 1 次元セルオートマトンの進化的設計
○佐藤正平, 市場大介, 狩野 均 (筑波大)
- 11 進化的手法を用いた繰り返しジャンケンにおける戦略モデルの獲得および評価
○田上嗣能, 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)

学生セッション [5L 会場] (3月9日 (木) 14:30 ~ 17:30)

マルチエージェントシステム 座長 北村 泰彦 (関西学院大)

- 1 非ゼロ和ゲームにおける相手の協調行動を誘う戦略
○大橋資紀, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 2 マルチエージェント強化学習システムにおける報酬配分とロバスト性
○中畑一宏, 延澤志保, 太原育夫 (東理大)
- 3 相互作用の定量化手法を用いたマルチエージェントシステムの学習過程の分析
○荒井良太, 渡辺成良 (電通大)
- 4 セマンティック Web 推論を用いた議論エージェントシステム
○向井孝徳, 宮下裕充 (芝浦工大), 松永久美子 (新潟大), 若木利子 (芝浦工大), 沢村 一 (新潟大), 新田克己 (東工大)
- 5 セマンティック Web 技術を用いた e-learning 支援システム -LOM-RDF 変換ツールの実装-
○立川正和 (芝浦工大), 澤井 進 (学習ソフトウェア情報研究センター), 若木利子 (芝浦工大)
- 6 共同利用のためのカート配車システム
○粉川貴至, 片山泰輔, 小川 均 (立命館大)
- 7 RoboCup Soccer Simulation における開発者支援ツールの開発 -ロブプレイヤーの設計と実装-
○瀧澤 崇 (福井大), 久保長徳 (仁愛大), 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)
- 8 情報共有ネットワークを利用したリソース分配を自動化するエージェントシステムの構築
○山谷孝史, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 9 在庫管理支援マルチエージェントシステムの構築
○安福 広, 小泉寿男 (電機大)
- 10 JavaScript におけるマルチエージェントシステムの実現とその応用
○伊藤正都, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 11 マルチエージェントシステム構築基盤の開発
○田那部洋平, 川村 潤, 小泉寿男 (電機大)

学生セッション [6L 会場] (3月10日 (金) 9:00 ~ 12:00)

学習 座長 宮崎 和光 (大学評価・学位授与機構)

- 1 ILP に基づく蛋白質一次構造からの機能予測における背景知識の改良
○田畑雅也, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)
- 2 サンプリングによる ILP の効率的な学習法
○岩丸悠一, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)
- 3 GA を用いた ILP システムによる例外的知識の発見
○大橋政彦, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)
- 4 契約ネットプロトコルにおける入札ルールの学習
○池田圭吾, 末田直道 (大分大)
- 5 強化学習における SOM を用いた状態空間の適応的構成法
○岩崎秀樹, 末田直道 (大分大)
- 6 強化学習によるロボットの歩行動作の獲得
○橋本佳典, 大藪又茂 (金沢工大)
- 7 (講演取消)
- 8 RNNPB を用いたモダリティ間マッピングによるロボットの動作生成
○服部佑哉, 駒谷和範, 尾形哲也 (京大), 小嶋秀樹 (NICT), 奥乃 博 (京大)
- 9 ペットロボットの感情における形質変化の研究
○鎌田紘子, 藤田ハミド, 羽倉 淳 (岩手県大)
- 10 知覚情報を用いた微視的機能に基づく適応機構
○東内秀樹, 相場 亮 (芝浦工大)

- 11 ディリクレ過程を利用した HMM に基づく時系列クラスタリング
○佐藤夏士, 末松伸朗, 林 朗 (広島市大)

学生セッション [7L 会場] (3月10日 (金) 14:30 ~ 17:30)

ニューラルネットワーク 座長 小野田 崇 (電中研)

- 1 TSP 問題におけるスモールワールド構造を持ったホップフィールドネットワークの提案 ○大口尚紀, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)
- 2 複数勝者競合による分散表現パターンを用いた逐次学習可能なカオス連想メモリ ○安藤正尚, 奥野佑輔, 長名優子 (東京工科大)
- 3 あきらめ機能を有する逐次学習可能なカオス連想メモリ
○荒井俊浩, 長名優子 (東京工科大)
- 4 時間的に変化する不応性のパラメータを有するカオスニューラルネットワークの想起能力に関する検討
○岡村壮一郎, 長名優子 (東京工科大)
- 5 結合荷重のランダム変動によるニューラルネットワークの学習
○久保博隆, 三枝 亮, 橋本周司 (早大)
- 6 RNNPB を用いて獲得した擬似シンボルによる人間とロボットの協調の実現
○松本祥平, 駒谷和範, 尾形哲也 (京大), 谷 淳 (理研), 奥乃 博 (京大)
- 7 アクティブセンシングを用いたロボットによる模倣動作の自律的獲得
○横矢龍之介, 駒谷和範, 尾形哲也 (京大), 谷 淳 (理研), 奥乃 博 (京大)
- 8 階層型適応的自己組織化マップによる物体画像のセグメンテーション、正規化、骨格抽出、正規化および認識
○中村隼馬, メディ ヌリ・シラジ (阪工大)
- 9 FPGA を用いたパルスニューラルネットワークの製作と検証
○安喰貴章, 吉田秀樹, 藤原祥隆 (北見工大)
- 10 遺伝的プログラミングと隠れマルコフモデルを用いた自動作曲 (2)
○岡部寛之, 長名優子 (東京工科大)
- 11 不応性の項を有する自己組織化特徴マップによる類似画像検索
○最上 光, 大竹正彦, 河野直樹, 長名優子 (東京工科大)

学生セッション [2M 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)

画像の合成と抽出 座長 川崎 洋 (埼玉大)

- 1 デジタルビデオ画像における任意移動物体の除去に関する基礎研究
○谷口寿俊, 杉町敏之, 田中成典 (関西大)
- 2 注視領域優先伝送方式
○植松圭一郎, 澤田昌宏, 中 健一, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)
- 3 欠損画像の補完とその品質評価
○平塚大輔, 徳永幸生 (芝浦工大), 大谷 淳 (早大)
- 4 Parallel Animation Processing with 3-Variable Transfer Functions Using Object-Oriented Language ○佐藤直哉, 森 和好 (会津大)
- 5 時空間情報を用いた画像合成
○竹澤潤一, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 6 6 台の全方位カメラによる自由視点画像の生成
○山本吉亮, 末松伸朗, 林 朗 (広島市大)
- 7 ガウスフィルタを用いた誤差拡散文字画像の復元の実験的検討
○石渡洋孝, 荒井啓啓, 石澤 健, 大井直人, 仁後直哉, 久保田裕紀, 嶋 好博 (明星大)

学生セッション [3M 会場] (3月8日 (水) 15:30 ~ 18:00)

画像検索技術 座長 新田 克己 (東工大)

- 1 適応的探索法を用いたスケールスペース法による領域分割 -既存手法との比較- ○奥長 剛, 広永美喜也, 西村卓也 (近畿大)
- 2 拡張類似 Haar フィルタを用いた物体認識
○東島由佳, 高野 茂, 新島耕一 (九大)
- 3 大解像度画像からの類似部分画像の高速抽出
○五味 愛 (お茶の水女子大)
- 4 類似検索エンジンを用いた画像処理 ○田中浩康, 橋本周司 (早大)
- 5 独立成分分析を用いた 3 次元モデルの類似検索
○立間淳司, 青野雅樹, 関 洋平 (豊橋技科大), 大淵竜太郎 (山梨大)
- 6 画像のレイヤー化とレイヤー木マッチングを用いたビデオシーン検索
○中村直人, 高野 茂, 新島耕一 (九大)
- 7 映像のインデクシング画像への自動キーワード付加
○松下大介, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)

学生セッション [4M 会場] (3月9日(木) 9:00 ~ 12:00)

人間情報の画像処理技術 座長 和田 俊和 (和歌山大)

- 視線を用いた注目度の自動判別
○謝乃 聡 (東京工科大), 中村亮太 (慶大), 松下 温, 市村 哲, 井上亮文 (東京工科大)
- 更新型テンプレートマッチングを用いた眼鏡装着時における目の位置検出に関する検討
○籠谷徳彦, 加藤誠巳 (上智大)
- 口唇の局所領域が有する形状特徴の解析
○飯岡弘司, 白澤洋一, 石沢千佳子, 西田 眞 (秋田大)
- 肌色抽出を利用した照明条件にロバストな顔特徴点抽出
○松本 幹, 内田 理, 中西祥八郎 (東海大)
- 基本表情間の関係性に対する主成分分析を用いた検討
○畠山径久, 舟久保登 (豊橋創造大)
- 人の表情認識における次元モデル - 多様な表情空間の探索 -
○月安 聡, 小塩ひさよ, 小林知博, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 次元モデルに基づく表情認識 - Adaboost を用いて
○小塩ひさよ, 小林知博, 月安 聡, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 画像処理を用いた動画中の人体動作追跡に関する検討
○武藤麻矢, 加藤誠巳 (上智大)
- インタラクティブ作品のための単視点モーションキャプチャ
○齊藤貴志, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- コンピュータビジョンによる行動認識システム
○平本 恒, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 動きベクトルによるスポーツ映像の競技シーン検出手法の提案
○奥川雄紀, 後藤 敏, 池永 剛 (早大)

学生セッション [5M 会場] (3月9日(木) 14:30 ~ 17:30)

音声言語情報処理 座長 大淵 康成 (日立)

- 複数ドメイン音声対話システムにおける対話履歴を利用したドメイン選択の高精度化
○神田直之, 駒谷和範 (京大), 中野幹生, 中臺一博, 辻野広司 (ホンダRIJ), 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 音声対話システムにおけるユーザの誤り原因の推定に基づく動的ヘルプ生成
○福林雄一朗, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 平叙的な音声を物語調へ変換する試み
○百瀬智則, 関口芳廣, 西崎博光 (山梨大)
- (講演取消)
- 音声認識システムにおける音韻的類似表現を考慮した言語モデルのタスク適応
○大山景詞, 延澤志保, 太原育夫 (東理大)
- 概念ベースを用いたニュース音声のトピックセグメンテーション
○黒田雅友, 関口芳廣, 西崎博光 (山梨大)
- 講演音声評価システムの構築
○藤江 毅, 関口芳廣, 西崎博光 (山梨大)
- ICAによる音源分離とミッシングフィーチャーマスクによる同時発話認識
○武田 龍, 山本俊一, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- パーティクルフィルタによる音源追跡の性能評価
○村瀬昌満 (京大), 中臺一博 (ホンダRIJ), 奥乃 博 (京大)
- (講演取消)
- 混合状態 DBN を用いた環境音のモデル化と分類
○俵喜美子, 林 朗, 末松伸朗, 岩田一貴 (広島市大)

学生セッション [6M 会場] (3月10日(金) 9:00 ~ 12:00)

セキュリティ画像処理技術・医療画像処理 座長 羽下 哲司 (三菱)

- 映像電子透かし埋め込みに関する研究
○澤田昌宏, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)
- 画像処理による監視システムの開発
○李 麗花, 田中成典, 杉町敏之 (関西大)
- 盗難防止システムのための書籍の認識
○岩村茂樹 (帝京大)
- ロボットカメラを使った不審者追跡記録システムの構築
○深井 越, 植竹亮介, 田村 仁 (日本工大)
- カメラとRFIDを併用した個人位置同定手法
○坂本龍哉, 佐野睦夫 (阪工大)
- JPEG2000を活用した人物モニタリングシステム
○鈴木貴之, TANSURIYAVONG Suriyon, 岩橋政宏 (長岡技科大)
- 可搬性を高めた小型サーモキシステムの設計と実装
○楠戸健一郎, 土肥 浩, 石塚 満 (東大)

- 3次元画像の多重解像度解析による領域分割に関する考察
○前崎 渉, 広永美喜也, 西村卓也 (近畿大)
- MRI脳画像における側頭葉領域の自動抽出法に関する基礎的検討
○伊藤桃代, 西田 眞, 苗村育郎 (秋田大)
- 内視鏡画像からのオプティカルフローを利用した視覚支援システム
○奥山加奈子, 澁澤貴裕, 水野一徳, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)

学生セッション [7M 会場] (3月10日(金) 14:30 ~ 17:30)

ロボットビジョン・3次元画像処理 座長 倉爪 亮 (九大)

- 画像を用いた迷路内の前壁情報取得に関する一検討
○小林初美, 堀桂太郎 (明石高専)
- 自律移動型ロボットのためのステレオ視による3次元地図生成と自己位置推定
○洪 起範, 橋本周司 (早大)
- 回転カメラによるモンテカルロ自己位置同定を用いたロボットのタスク支援
○堀口研一, 神尾正太郎, 伊庭齊志 (東大)
- 人間共存ロボットのための後頭部からの個人認識の検討
○武用吉史, 橋本周司 (早大)
- 自由視点から撮った画像からの3次元自動モデリングに関する検討
○由良俊樹, 加藤誠巳 (上智大)
- ステレオカメラの差分視差画像による動作認識の研究
○三井 宗, 本間弘一 (電通大)
- 固視微動を利用した立体視手法
○川合拓郎, 宮下則俊, 小林 剛, 佐藤 誠, 張 曉林 (東工大)
- 立体映像上での物の大きさ感の知覚について
○浅谷浩康, 寺島信義, 平田克二 (早大)
- 3次元映像における物体認識が視覚性動揺病の発症に与える影響
○大谷昌代, 川瀬智仁, 森駿一朗, 梶井文人, 河合敦夫, 井須尚紀 (三重大)
- ヒトの固視微動の計測と解析
○宮下則俊, 川合拓郎 (東工大), 相澤啓助 (フォトロン), 佐藤 誠, 張 曉林 (東工大)

学生セッション [1N 会場] (3月7日(火) 9:00 ~ 12:00)

情報抽出と解析 座長 那須川哲哉 (日本IBM)

- 言語に非依存な統計的アプローチによる日本語質問応答システムの構築
○Julien Hamonic, Edward Whittaker, 古井貞熙 (東工大)
- (講演取消)
- Web上からのニーズ抽出方法の提案
○高橋知七, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)
- 特定用語に関するWeb上の関連文書群からの用語説明情報の抽出
○松本 航, 椎野 努 (愛知工大)
- MPMLを用いた自動プレゼンテーションのためのWebからの説明文抽出
○松田隆宏, 石塚 満 (東大)
- ブログの投稿時間を考慮した流動的な商品評価に関する基礎研究
○石田 聡, 吉田博哉, 田中成典 (関西大)
- グラフ情報と協調するテキスト要約
○渡邊千明, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 決定木学習を用いたカタカナ複合語の略語生成システム
○吉田佑樹, 古宮嘉那子, 但馬康宏, 小谷善行 (農工大)
- オープンソースソフトウェアマニュアルを用いた対訳パターンの自動抽出
○韓 曉峰, 松原茂樹, 吉川正俊 (名大)
- テンス・アスペクト構造が変化する文の解析システム
○菊田 亨, 横山晶一 (山形大)
- XMLデータベースに対するタグ抽出機構の研究
- 在宅介護分野への応用 -
○北郷 航, 末田直道 (大分大)

学生セッション [2N 会場] (3月8日(水) 13:15 ~ 15:15)

感性画像情報処理 座長 勞 世紅 (オムロン)

- 楽譜画像からの感性情報検出
○田原直樹, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 印象の近い音楽と画像の組合せ自動選出法
○小田瑞穂 (お茶の水女子大)
- DIVA: 画像の印象に合わせた音楽自動アレンジの一手法
○大山喜牙 (お茶の水女子大)
- Web3Dを用いた官学協働のバーチャル博物館
○吉崎亮介, 木野宏亮, 井上道哉, 草野友徳, 大類 淳, 出口修次, 齊藤英一郎, 渡部 翔, 長澤可也 (湘南工科大), 浪川幹夫, 三堀 弘 (鎌倉市役所)

- 5 カラー情景画像における看板の文字列領域抽出に関する検討 (I)
○麻生悦子, 西田 眞, 景山陽一 (秋田大)
- 6 実環境中に存在する文字情報の自動抽出
○遠海由夏, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)

学生セッション [3N 会場] (3月8日 (水) 15:30 ~ 18:00)

文書分類と情報検索 座長 相澤 彰子 (国立情報学研)

- 1 Information Bottleneck 法の文書クラスタリングへの適用
○矢口輝和, 田中 譲 (北大)
- 2 サポートベクターマシンを用いた Web ページ分類
-SVM 繰り返し学習法による属性選択の評価 -
○斎木陽介, 若木利子 (芝浦工大)
- 3 Web 文書のページタイプを用いた適応的分類の拡張と評価
○長内 亘 (岩手県大), 金子大輔 (三菱スペースウェア),
高山 毅, 池田哲夫 (岩手県大)
- 4 特徴語を手がかりとした掲示板スレッドの話題分類
○中村俊一, 延澤志保, 太原育夫 (東理大)
- 5 検索結果文書から類似文書発見による検索精度向上への取り組み
○倉地彩乃, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 6 ユーザの入力キーワードに関連するホットな話題を提供する
情報推薦システム ○齋藤 舞, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 7 語の接続情報を用いた Web からの関連文書検索
○近藤雄飛, 榊 剛史, 石塚 満 (東大)
- 8 そば口上データの自動分類とその教育システムの構築
○阿部智恵, 杉山雅英 (会津大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [4N 会場] (3月9日 (木) 9:00 ~ 12:00)

コーパス・辞書・概念 座長 熊野 正 (NHK 技研)

- 1 ユーザ編集型のシステムを利用した単語同士の関連語の抽出
○宮田祐輝, 小瀬木浩昭, 武田正之, 松澤智史 (東理大)
- 2 共通・類似属性を考慮した概念間関連度計算方式
○荒木孝允, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)
- 3 Web を用いた未知語検索キーワードのシソーラスノードへの
割付け手法 ○後藤和人, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)
- 4 誤認識データベースと用言コーパスによる助詞補正を用いた音声認識後の
文章補正方式 ○合田輝幸, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)
- 5 シソーラスの分類情報を利用した概念ベースの属性追加手法
○北川晋也, 奥村紀之, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)
- 6 Integration of Heterogeneous Ontology by Constructing Similarity
Matrices and Resolving the Anomaly of the Matrices
○Md. Hanif Seddiqui, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 7 単語の概念関係を用いた文書校正ツールの開発
○板倉由知, 白井治彦, 高橋 勇,
黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)
- 8 修飾を伴う喩詞による比喩表現のスコープの検出
○河田美智子, 権野 努 (愛知工大)
- 9 (講演取消)
- 10 留学生の日本語文章の誤り分析と助詞修正システム
○松本康隆, 横山晶一 (山形大)
- 11 Shift Codon Matching を用いた言語判別に関する一考察
○和田祐一, 岩橋政宏 (長岡技科大),
中鉢欣秀 (JST), 三上喜貴 (長岡技科大)

学生セッション [5N 会場] (3月9日 (木) 14:30 ~ 17:30)

対話と生成 座長 中岩 浩巳 (NTT)

- 1 質疑応答からの状況獲得 ○小林桂輔, 三浦孝夫 (法大)
- 2 言語を媒介にする操作インタフェースの研究
○大西可奈子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 3 (講演取消)
- 4 自動会話システムにおける話題切り替えの効果
○河野恭佑, 徳永幸生 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 大谷 淳 (早大)
- 5 顔の輪郭画像を用いた会話システムにおけるアイコンタクト特性
○吉田 亨, 徳永幸生 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 大谷 淳 (早大)
- 6 車載器用会話型エージェントシステムにおける発話生成法に関する検討
○堂野心悟, 加藤誠巳 (上智大)

- 7 車内空間における意味理解を目標とした対話の解析に関する検討
○畑中聖二, 加藤誠巳 (上智大)
- 8 会話型エージェントシステムにおける相槌応答タイミング生成に関する
検討 ○三村真吾, 加藤誠巳 (上智大)
- 9 車載情報端末を用いた居眠り運転防止支援システムに関する検討
○山崎 愛, 加藤誠巳 (上智大)
- 10 連想に基づく応答文生成のための内容語選択
○佐藤 和, 延澤志保, 太原育夫 (東理大)
- 11 多元的な intertextuality を巡る試作と考察
○中嶋美由紀 (山梨大), 小方 孝 (岩手県大)

デモセッション [デモ会場]

デ-01 (3月8日 (水))

意味解析が開く自然語処理の世界 ○原田 実 (青学大)

デ-17 (3月8日 (水))

動画を用いた超解像化パノラマ画像の作成
○佐竹保紀, エクトル サンドヴァル,
千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)

第3分冊**(データベースとメディア)****一般セッション [6C会場] (3月10日(金) 9:00~12:00)****特徴抽出と応用 座長 金子 邦彦 (九大)**

- 潜在クラスを利用したクロスメディアレコメンデーション方式の提案
○柳原 正, 帆足啓一郎, 松本一則, 菅谷史昭 (KDDI 研)
- Proxy Log に基づいたコンテンツ自動推薦による知識共有支援システムの提案
○丹 英之, 本田光太郎, 芝崎 亮, 山口 哲, 千葉大作, 原誠一郎 (アルファシステムズ)
- 近隣サンプルを利用した共変関係を有する特徴組の検出
○名見耶厚, 石川慎也 (電機大), 小野裕次郎 (十文字学園女子大), 市野 学 (電機大)
- キーワードによる文章間のつながりを活用したコミュニティ内情報共有
○芝崎 亮, 千葉大作 (アルファシステムズ), 中沢 実, 服部進実 (金沢工大)
- シラバスデータを使った分野ごとの概念マップの生成
○廣川佐千男, 下司義寛 (九大), 三輪真木子 (メディア教育開発センター)
- オントロジーを用いた文章と絵文の相互変換方式の提案
○森永哲郎, 伊藤一成, Martin Duerst (青学大), 橋田浩一 (産総研)

一般セッション [7C会場] (3月10日(金) 14:30~17:30)**文書処理 座長 武田 正之 (東理大)**

- Web 文書における時間と文脈に依存するイベントの抽出
○森 幹彦 (京大), 山田誠二 (国立情報学研)
- 構造マイニングと自然言語処理によるハイブリッド処理ライブラリ
○阿部裕行, 伊藤一成, Martin Duerst (青学大)
- 未知の検索対象領域における類義語抽出法
○石塚隆男 (亜大), 田中一宏 (医療情報システム開発センター)
- 英和辞典からの知識抽出
○下司義寛, 和多大樹, 廣川佐千男 (九大)
- 個人の発信メディアに対するコンテンツ創出手法
○望月英樹, 伊藤一成, Martin Duerst (青学大)
- 会話連動ナビゲーションシステムのための辞書構築
○境 美樹, 横関大子郎, 高田慎也 (NTT)
- 会話連動ナビゲーションシステムにおける情報提案エンジンの提案
○横関大子郎, 高田慎也, 境 美樹 (NTT)

一般セッション [1D会場] (3月7日(火) 9:00~12:00)**セキュリティ 座長 丸山 宏 (日本IBM)**

- 大規模ログデータベースの評価
○竹内丈志, 山岸義徳, 中村隆顕, 郡 光則 (三菱)
- 大規模ログデータベースの実現
○中村隆顕, 山岸義徳, 竹内丈志, 郡 光則 (三菱)
- (4D セッションに移動)
- コンテンツ管理におけるログ活用方法の検討
○松本良央, 森川修一, 早川孝之 (三菱)
- OS イベントリアルタイム解析による高精度文書監視方式の提案
○坂本 久, 高橋宏幸, 喜田弘司 (NEC システムテクノロジー)
- 共有ファイルのアクセス制御による高精度文書監視方法の提案
○高橋宏幸, 喜田弘司, 坂本 久 (NEC システムテクノロジー)
- 機密情報を高精度に保護・監視・追跡する企業内情報漏えい対策ソフトウェアの提案
○喜田弘司, 坂本 久, 高橋宏幸 (NEC システムテクノロジー)
- アプリケーション操作ログの取得方法に関する一考察
○荒木信行, 赤迫貴行, 楯 武士 (NTT コムウェア)

一般セッション [4D会場] (3月9日(木) 9:00~12:00)**情報分類・検索 座長 川越 恭二 (立命館大)**

- 収集履歴と編纂履歴に基づく近傍検索方式
○石井大輔, 浜田伸一郎, 石谷康人 (東芝)
- 電子ジャーナルの多面的検索分析システム
○関 隆宏, 安元裕司, 和多大樹 (九大), 伊藤 希 (筑波大), 廣川佐千男 (九大)

- 機能展開木に基づく設計文書の分類方法
○崎村茂寿, 湯田晋也 (日立)
- RDF グラフマッチング結果の差異抽出による情報比較方式
○飯塚京士, 佐藤宏之, プラムディオノ イコ, 村山隆彦 (NTT)
- キーワード検索の精度・再現率の限界についての考察
○和多大樹, 廣川佐千男 (九大)
- XML 文書としての電子カルテ検索システム
○安元裕司, 関 隆宏, 中島直樹, 廣川佐千男 (九大)
- Classification in Data Mining System for Multimedia Communication Networks using Fuzzy Linear Programming
○岳 五一, 何 静 (甲南大), 石 勇 (中国科学院)
- タイムスタンプ蓄積情報に基づくファイル関連性推定システムの開発
○幸嘉平太 (大分県産業科学技術センター)

一般セッション [5D会場] (3月9日(木) 14:30~17:30)**パフォーマンス 座長 鈴木 優 (立命館大)**

- スケラブルインテリジェントストレージアーキテクチャによる並列データウェアハウス
○清水英弘, 郡 光則 (三菱)
- 集計処理並列化に関する評価
○佐藤重雄, 早川孝之 (三菱)
- 検索結果の高速転送方式と評価
○秩父かおり, 佐藤重雄, 早川孝之 (三菱)
- 標準 SQL 基本関数を用いたデータ要約による近似集計手法
○藤野友也, 平井規郎, 東 辰輔 (三菱)
- クエリプランを利用した先読み技術のクエリ多重実行時における性能の評価
○出射英臣, 茂木和彦, 西川記史, 大枝 高 (日立)
- 高信頼ディザスタリカバリシステムの研究
○丸山哲也, 山本康友, 荒川敬史, 二瀬健太, 川村俊二, 岩村卓成 (日立)
- substring array を使った大規模全文検索
○内藤一兵衛, 上田和紀, 三上啓太 (早大)
- Java ベースの Web システムを想定した PostgreSQL ベンチマークスイート
○金木佑介, 飯塚 剛, 金田典久 (三菱), 浅見可津志 (三菱電機インフォメーションシステムズ)

一般セッション [6D会場] (3月10日(金) 9:00~12:00)**コンテンツ管理・流通 座長 山田 誠二 (国立情報学研)**

- 信頼の構造 - ネットワーク構造に基づく Trust モデル -
○森純一郎 (東大), 武田英明 (国立情報学研), 石塚 満 (東大)
- コンテンツ循環における権利継承処理の実現手法に関する検討
○関亜紀子, 亀山 涉 (早大)
- 柔軟な知識管理体系に基づくコンテンツ管理技術に関する基礎的検討
○秋元良仁, 亀山 涉 (早大)
- Web アノテーションの効果的な視覚表現手法
○村田菜々子, 伊藤一成, Martin Duerst (青学大)
- Annpphony: 任意のデジタルコンテンツに対するアノテーションプラットフォーム
○梶 克彦, 長尾 確 (名大)
- A framework of a multidimensional recommendation system
○Sutheera Puntheeranurak, Hidekazu Tsuji (東海大)
- WebWidgetWorkbench-Web を用いた高度 Web サイトの構築
○木村訓康, 田村浩一郎 (中京大)
- 企業文書のライフサイクルマネジメント
○木村俊之, 石川智子, 花崎芳彦, 北上眞二 (三菱)

一般セッション [7D会場] (3月10日(金) 14:30~17:30)**マルチメディア 座長 船生 豊 (岩手県大)**

- 人気領域を考慮した映像切り替えの手法の検討
○井東 大, 西岡欣亮, 住野 優, 上島紳一 (関西大)
- (講演取消)
- SVG(Scalable Vector Graphics) による分割地図表示手法の提案
○田中卓弥, 村松茂樹 (KDDI 研), 高木 悟 (YRP ユビキタスネットワークキング研), 西山 智 (KDDI 研)
- 3D グラフィックスハードウェアを利用した GUI 部品の描画方式
○豊岡 明, 小中裕喜 (三菱)
- ポリゴンモデルからの外形線抽出手法
○木下 勉 (ラティス・テクノロジー), 今野晃一 (岩手大), 鳩宿 朋 (ラティス・テクノロジー)

- 6 A Personal Photo Album with Semi-automatic Metadata Generation
○Supheakmungkol SARIN (早大), 長橋敏則, 三代沢正 (セイコーエプソン), 亀山 渉 (早大)
- 7 DMD システムを用いた 3 次元 CG アニメーション制作の評価
○江村恒一, 青木輝勝, 安田 浩 (東大)
- 8 地図を用いた映像デジタルアーカイブシステムの構築に関する研究
○高見澤信弘, 長谷川文雄 (東北芸工大)
- 一般セッション [1E 会場] (3月7日 (火) 9:00 ~ 12:00)**
- Web 座長 関 洋平 (豊橋技科大)**
- 1 Wordlog: 頻度付き語彙列を用いたブログの分類と検索
○長尾 確 (名大)
- 2 Synvie: ブログの仕組みを利用したマルチメディアコンテンツ配信システム
○山本大介, 清水敏之, 大平茂樹, 長尾 確 (名大)
- 3 Web 上の表情情報の例示検索方式
○横川智浩 (電機大), 吉田 稔 (東大), 山田剛一, 絹川博之 (電機大), 中川裕志 (東大)
- 4 (講演取消)
- 5 入出力データ型に透過な Web サービス動的実行システム
○越田高志 (松江高専)
- 6 Web からの情報抽出における高速文書更新判定アルゴリズムに関する研究
○池田利夫, 太田 弘 (関西電力)
- 7 (講演取消)
- 8 ウェブを活用した災害初期対応システム
○井上 明 (甲南大), 大滝裕一, 寺田守正 (京都府中丹広域振興局), 佐野嘉紀, 奥田晋也, 白井由希子, 村西あい, 竹内一浩, 中村喜輝, 永井智子, 金田重郎 (同志社大)
- 一般セッション [2E 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)**
- XML 座長 加藤 弘之 (国立情報学研)**
- 1 異種 ID 規格間における電子タグ属性情報の翻訳
Translating RFID attributes of one specification to another.
○福尾哲洋, 布田寿康, 村山弘城 (NTT データ)
- 2 XML 文書を単一の 2 列のテーブルに変換する手法およびその効果
○綿部良介 (三菱)
- 3 部分構造を統合的に活用するための XML データ管理システム
○杉本典子, 大森洋子, 伊東栄典, 廣川佐千男 (九大)
- 4 XML データベースを用いた DICOM データの閲覧・管理システムの試み
○二反田慎, 牧之内顕文 (九大)
- 5 HTML 及び XML における bidi 問題に関する一方策
○堀江史郎, 和田雄策, Martin Duerst (青学大)
- 6 携帯電話での更新を考慮した XML 文書符号化方式
○村松茂樹, 小林亜令, 太田慎司, 西山 智 (KDDI 研)
- 学生セッション [6N 会場] (3月10日 (金) 9:00 ~ 12:00)**
- セマンティックウェブとオントロジー 座長 新 麗 (IUI)**
- 1 学習教材検索システムにおけるセマンティック Web を用いた推論について
○中村佳祐, 齋藤健司, 齋藤 一, 前田 隆 (北海道情報大)
- 2 Jena と SPAQL を用いた RDF 検索
○坪崎 瞬 (東京工科大)
- 3 BPEL と OWL-S を用いた Web サービスの自動合成に関する研究
○石崎康太, 大沢英一 (はこだて未来大)
- 4 オントロジ構築による異種スキーマ間の検索
○丸山朝也, 塚本享治 (東京工科大)
- 5 オントロジーを利用した NewsML メタデータ検索システムの試作
○荻谷恵介, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 6 分散 Wiki による Web サイト間キーワード共有システムの提案
○河木孝治, 小瀬木浩昭, 武田正之 (東理大)
- 学生セッション [7N 会場] (3月10日 (金) 14:30 ~ 17:30)**
- 高速化・高機能化 座長 金政 泰彦 (富士通研)**
- 1 オープンソースの全文検索システムの速度性能比較
○早坂良太, 林 貴宏, 尾内理紀夫 (電通大)
- 2 データの検索頻度を考慮した最適なインデックス生成に関する研究
○小熊祐子, 南澤吉昭, 吉井伸一郎 (北大)
- 3 分散型ワーカモデルを用いたグリッド環境における Modified PrefixSpan 法の動的負荷分散方式
○高木 允, 田村慶一, 北上 始 (広島市大)
- 4 木構造に基づいたアイテムマネージャ
○西村潤二, 中山 健, 小林良岳, 前川 守 (電通大)
- 5 XPath を用いた LDAP ツリーの検索
○山本剛士, 塚本享治 (東京工科大)
- 6 時区間データ構造の性能評価
○川村雄介, 三好涼介, 三浦孝夫 (法大)
- 7 IP-SAN における暗号処理最適化ミドルウェアの構築
○神坂紀久子 (お茶の水女子大), 山口実靖 (東大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 学生セッション [1P 会場] (3月7日 (火) 9:00 ~ 12:00)**
- マルチメディア 座長 橋本 隆子 (リコー)**
- 1 映画推奨システムにおける階層的クラスタリング手法の評価
○萩田盾一, 辻 秀一, 八鍬健太, Sutheera Puntheeranurak (東海大)
- 2 多次元インデックス手法による映像検索
○石井亮司, 村山健二, 岡田至弘 (龍谷大)
- 3 制約充足問題による携帯電話の Web ブラウジングに最適化した Web ページ作成システムの試作
○山口翁央, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 4 拍長の周期的変動を考慮した楽音符号への情報ハイディング
○山本紘太郎, 岩切宗利 (防衛大)
- 5 高速セグメント探索法によるビデオ検索 - 映像情報と音響情報の比較 -
○芳賀鉄平, 杉山雅英 (会津大)
- 6 GoogleMap を利用した NewsML 検索システムの試作
○児玉政幸, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 7 超 2 次元関数パラメータを用いた土器画像検索
○茂呂優太, 徳永幸生 (芝浦工大), 安達文夫, 鈴木卓治 (国立歴史民俗博物館)
- 8 3D-ViSOM:SOM を用いた 3 次元マルチメディアデータ可視化ツール
○野津裕和, 福武宏理, 岡田義広, 新島耕一 (九大)
- 9 (講演取消)
- 10 感性検索における音楽感性空間の軸補正と評価
○橋場雄太, 高山 毅, 池田哲夫, 菊池 繁 (岩手県大)
- 11 感性検索のためのインタフェース「2D-RIB」の改良と評価
○菊池 繁, 高山 毅, 池田哲夫, 橋場雄太 (岩手県大)
- 学生セッション [2P 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)**
- Blog と RSS 座長 中島 伸介 (奈良先端大)**
- 1 時系列性を考慮した情報収集作業の支援に関する研究
○空門日出来, 相場 亮 (芝浦工大)
- 2 組織内 blog におけるコンテキストを用いたユーザの関連するエントリ推薦システムの提案
○井上正博, 平島大志郎, 勅使河原可海 (創価大)
- 3 ユーザの嗜好に基づいた RSS ニュースリーダに関する基礎研究
○杉之原亮, 吉田博哉, 田中成典 (関西大)
- 4 HTML 文書から RSS を自動生成する方法の提案
○矢島崇史 (電機大)
- 5 電子掲示板バックアップシステムの開発
○峯岸純也, 早川栄一 (拓大)
- 6 Blog からの評判抽出に関する研究
○霜田雄一, 成田祐一 (日大)
- 7 blog コミュニティにおける話題抽出に関する研究
○藤島浩二, 宮本衛市 (はこだて未来大)
- 8 Web サービス入出力インターフェースの動的生成に関する研究
○灘本裕紀, 佐藤友紀, 越田高志 (松江高専)
- 学生セッション [3P 会場] (3月8日 (水) 15:30 ~ 18:00)**
- Web マイニングとコミュニケーション 座長 浦本 直彦 (日本 IBM)**
- 1 Web における情報配信の最適化のためのユーザ行動の分析手法の提案
○向井康人, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 2 SNS 上におけるユーザの GPS 機能
○吉田英樹, 平山巧馬, 小柳 滋 (立命館大)
- 3 Web 書評を用いた書籍情報の分析
○中山翔介, 富山北斗, 伊東栄典, 廣川佐千男 (九大)
- 4 大学シラバスデータベースの設計と試作
○島松千春, 廣川佐千男 (九大), 篠原正典 (メディア教育開発センター)

- 5 Web上のニュース記事を対象とした信頼度の判定手法の提案
○奈倉良介, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 6 AccessLogを用いたWeb遷移特性の抽出と解析
○不破 拓, 和田雄次 (電機大)
- 7 変動するグループを想定したウェブ上のコミュニケーションシステム
○並松鏡友, 田村浩一郎 (中京大)
- 8 P2Pを用いた情報配信とコミュニケーション
○山田雄太, 近藤洋介, 大原愛子, 濱川 礼 (中京大)

学生セッション [4P会場] (3月9日(木) 9:00 ~ 12:00)

推薦システム 座長 仲尾 由雄 (富士通研)

- 1 ソーシャルブックマークとFolksonomyを利用したWebページ推薦システム
○菅野直之, 大矢健太, 小瀬木浩昭, 武田正之 (東理大)
- 2 確率的手法を用いたWebページ推薦システム
○臼井大介, 塚本享治 (東京工科大)
- 3 アクセス情報を用いたWEBサイトの流行判定とそのサイト推薦システムへの応用
○吉村 武, 松本和博, 内田 理, 中西祥八郎 (東海大)
- 4 個人化されたtfidf法による文書検索の研究
○外岡良太, 川越恭二, 鈴木 優 (立命館大)
- 5 コモンズ・ドメインと商用ドメインを橋渡しするデジタル証券モデルを用いたコンテンツの価格決定法の提案
○河村春雄, 徳永幸生 (芝浦工大), 曾根原登 (国立情報学研)
- 6 ユーザモデルとコンテキストが共に動的に変化する場合における情報推薦手法の提案
○松山 学, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 7 インターネットの履歴を利用したユーザプロファイリングシステム
○湯浅麻衣, 大橋 祐, 袴田有勇, 濱川 礼 (中京大)
- 8 特徴キーワードを用いた検索支援システムに関する研究
○亀田 直 (芝浦工大)
- 9 タグを利用したWebサイト検索
○石原進一, 松本和博, 内田 理, 中西祥八郎 (東海大)
- 10 ユーザ情報に基づいたWeb検索支援システムの提案
○朝倉理浩 (電通大), 村山隆彦 (NTT), 多田好克 (電通大)
- 11 ユーザの指向を考慮した献立配信システムの提案
○畠中 淳, 内田 理, 中西祥八郎 (東海大)

学生セッション [5P会場] (3月9日(木) 14:30 ~ 17:30)

Web応用 座長 大山 敬三 (国立情報学研)

- 1 ユーザの嗜好の変化を反映するファイル共有システム
○開 慶貴, 佐藤 敬 (北九州市大)
- 2 多次元クラスタリングを用いたレコメンドシステムの研究
○八鍬健太, 辻 秀一, Suthera Puntheeranurak, 萩田盾一 (東海大)
- 3 多対多リンクをベースとしたコンテンツマネジメントシステム
○新保春樹, 塚本享治 (東京工科大)
- 4 キーワード別人脈ネットワークの自動生成に関する基礎研究
○三善健太, 吉田博哉, 田中成典 (関西大)
- 5 Webからのエンティティ間の関係情報の抽出
○辻下卓見, 森純一郎, 石塚 満 (東大)
- 6 オンラインマーケットにおける動的カテゴリ生成機能
○伊藤裕介, 平山巧馬, 小柳 滋 (立命館大)
- 7 電子メールの定型性を用いた自己組織化に基づくスマートメールボックス自動生成
○平岡佑介, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 8 メール の早急性と受信者のプレゼンス情報を考慮する電子メールフィルタリング手法の提案
○友岡英一, 山崎賢悟, 勅使河原可海 (創価大)

学生セッション [6P会場] (3月10日(金) 9:00 ~ 12:00)

Web 座長 岩山 真 (日立)

- 1 ユーザによる外観更新が可能なWebアプリケーション保守環境の構築
○矢野日高, 佐々木淳, 米田多江, 船生 豊 (岩手県大)
- 2 スプレッドシートインタフェースによる複数Webアプリケーションのオーケストレーション
○吉原祥平, 田中 譲 (北大)
- 3 (2Pセッションに移動)

- 4 WebエージェントMiSpiderにおけるサービスの記述法
○深菫裕二郎, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 5 ユーザの閲覧ページに合わせたBookMarketletによるドメインへのWebサービス付加システム
○田辺正喜, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 6 XMLと自然言語解析を用いたレシポータルサイトの構築
○谷村奈緒子, 山本剛士 (東京工科大), 松本大貴 (管理工学研究所), 塚本享治 (東京工科大)
- 7 中国語検定に準じた中国語能力判定システムの研究開発
○許 会慶, 物部寛太郎, 田中成典 (関西大)
- 8 e-learningにおける学習者に適する教授法に関する考察
○小笠原有正, 斎藤 一, 齋藤健司, 前田 隆 (北海道情報大)
- 9 アクセシビリティを考慮したWebデザイン支援環境の構築
○柳下悦史, 小飼 敬, 杉村 康 (茨城高専)
- 10 軽量JavaによるWebアプリケーションのMDAツール
○佐野篤史, 高橋健一, 紫合 治 (電機大)

学生セッション [7P会場] (3月10日(金) 14:30 ~ 17:30)

データマイニング 座長 松本 一則 (KDDI研)

- 1 データマイニングとORの手法を用いた売上分析システムの設計
○奥津元靖, 大和田勇人, 松井藤五郎 (東理大)
- 2 生体情報の時系列データマイニングの試み
○坂倉 奨, 青野雅樹, 関 洋平 (豊橋技科大)
- 3 パケットヘッダのリレーショナルデータベース化と集約問い合わせによる分析の試み
○白木原祐介, 牧之内顕文, 金子邦彦 (九大), 富永浩之 (ネットワーク応用技術研究所)
- 4 近隣集合に基づく特徴変数の類似性評価に関する研究
○前野良隆, 市野 学 (電機大)
- 5 TinyDBを利用したセンサデータダイジェスト自動生成システムの提案
○志田憲一 (慶大)
- 6 Mining Outliers for Fraud Detection in Financial Data
○Zakia Ferdousi, 前田 亮 (立命館大)
- 7 ExMiner: Explorative Mining for k-Most Interesting Frequent Patterns
○Quang Tran Minh, 山崎勝弘, 小柳 滋 (立命館大)
- 8 空間特徴を用いたデータマイニングによる人行動パターンの分析
○井口祐喜, 和田雄次 (電機大)

学生セッション [1Q会場] (3月7日(火) 9:00 ~ 12:00)

知財・コンテンツ管理 座長 石川 博 (首都大)

- 1 電子辞書編集のための権利管理システムの開発
○田中慶之, 塚本享治 (東京工科大)
- 2 XMLデータバインディングにおけるマッピングファイル作成支援ツールの開発
○衣川勇樹, 内藤広志 (阪工大)
- 3 情報抽出を利用したNewsML編集支援システムの提案
○浅川浩紀, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 4 JScriptMLを用いたJavaScriptリポジトリの試作
○井上陽介, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 5 (講演取消)
- 6 RFIDを用いた衣類管理支援システム
○高島 優, 伊藤雅仁, 松下 温 (東京工科大)
- 7 モバイルRFIDタグリーダを用いた物品管理システムの評価
○肥田一生, 宮丸卓也, 峰野博史 (静岡大), 徳永雄一, 宮内直人 (三菱), 水野忠則 (静岡大)
- 8 RFIDを用いた貴重品管理及び探し物支援システム
○小田賀一, 伊藤雅仁, 松下 温 (東京工科大)
- 9 RFIDを利用した冷蔵庫内の食品管理
○土屋聡美, 伊藤雅仁, 松下 温 (東京工科大)
- 10 様々な流通形態に対応したファイルトレース方式の設計
○西ヶ谷伸幸, 勅使河原可海 (創価大)
- 11 個人情報の取り扱いを代行・集約するためのWebアプリケーションフレームワークに関する研究
○瀬高昌弘, 天野直紀 (東京工科大)

デモセッション [デモ会場]

デ-04 (3月9日(木))

- パーソナリティにあったRSSの配信
○中平頼孝, 千種康民 (東京工科大)

デ-09 (3月8日(水))

部分構造を統合的に活用するためのXMLデータ管理システム

○杉本典子, 大森洋子, 伊東栄典, 廣川佐千男 (九大)

デ-11 (3月8日(水))

プレイリストを使った音楽情報の分析

○伊東栄典, 寶ギョクホウ, 下司義寛, 廣川佐千男 (九大)

デ-12 (3月8日(水))

シラバスデータを使った分野ごとの概念マップの生成

○廣川佐千男, 下司義寛 (九大), 三輪真木子 (メディア教育センター)

デ-13 (3月8日(水), 3月9日(木))

英和辞典からの知識抽出

○廣川佐千男, 下司義寛, 和多太樹 (九大)

デ-14 (3月8日(水), 3月9日(木))

電子ジャーナルの多面的検索分析システム

○廣川佐千男, 関 隆宏, 安元裕司, 和多太樹 (九大), 伊藤 希 (筑波大)

(ネットワーク)

一般セッション [3E会場] (3月8日(水) 15:30~18:00)

移動体ネットワーク・遠隔監視 座長 横田 英俊 (KDDI研)

- 無線LANの電波強度を利用した位置検出方法
○山口広行, 若林和紀, 前森彩子 (八戸工大)
- 屋内及び屋外のシームレスな位置検出に関する検討
○今野貴洋, 渡部修平, 森脇康介, 森嶋健平 (NTTコムウェア)
- 携帯電話アプリケーションとマルチエージェント技術によるWSN簡易構築システム
○大林真人 (都立産業技研), 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 移動情報端末による交通情報生成方法の提案 ○五味田啓 (三菱)
- 自動車センサ情報の活用による道路状況観測システムの開発
○西川孝二 (北海道自動車短大), 吉井伸一郎 (北大)
- 監視のための自律移動型カメラシステムの開発
○紅山史子, 松本高斉, 守屋俊夫 (日立), 若原彰伸 (日立システムアンドサービス)
- インターネットを活用した遠隔監視制御システムの構築
-- カメラ画像クリック位置指定方式によるロボット遠隔制御 --
○中道智之, 外山政文 (京産大)

一般セッション [4E会場] (3月9日(木) 9:00~12:00)

セキュリティ (1) 座長 菊池 浩明 (東海大)

- 機器利用権によるアクセス制御
○道下 学, 釜坂 等, 北上真二 (三菱)
- フィッシング詐欺対策のための、ICカードを用いた個人情報送信判定方式
○橋本英明, 桜井鐘治, 撫中達司 (三菱)
- ワンストップ認証のためのプロトコルに関する考察
○阿部玲子, 竹田義聡, 北山泰英 (三菱)
- Merkle Hash TreeとIDAを用いたストリーム認証方式
○新崎裕隆, 上田真太郎, 金子伸一郎, 荻野 剛, 重野 寛 (慶大)
- ポリシー交渉によるユーザの同意に基づいた属性情報流通制御
○畠山 誠, 五味秀仁, 細野 繁, 藤田 悟 (NEC)
- 属性間のバインド方式の一検討 ○柿崎淑郎, 辻 秀一 (東海大)

一般セッション [5E会場] (3月9日(木) 14:30~17:30)

セキュリティ (2) 座長 宇田 隆哉 (東京工科大)

- WebアプリケーションのAID(Anomaly Intrusion Detection)に対する評価項目の提案
○吉田 剛 (三菱)
- 侵入検知システムの一考察
○時庭康久, 永嶋規充, 後沢 忍 (三菱)
- 定点観測による不正アクセス分析システムの提案
○榊原裕之, 藤井誠司, 北澤繁樹, 平井規郎, 鹿島理華, 東 辰輔 (三菱)
- 定点観測による不正アクセス分析システムの提案
- ワーム攻撃による異常検出のためのネットワークログ分析手法
○平井規郎, 鹿島理華, 東 辰輔, 榊原裕之, 藤井誠司, 北澤繁樹 (三菱)

- 位置情報を考慮したモバイルネットワークの安全性提示手法の提案
○田原慎也, 東 雄介, 川口信隆, 小畑直裕, 重野 寛, 岡田謙一 (慶大)
- モバイル端末の安全性向上のためのモバイル端末とセキュアデバイスの連携方式に関する研究 ○内山宏樹, 梅澤克之, 洲崎誠一 (日立)

一般セッション [6E会場] (3月10日(金) 9:00~12:00)

分散システム・ネットワーク運用管理 (1) 座長 加藤 由花 (電通大)

- ネットワーク記述言語の開発とそれによるネットワーク管理
○武田利浩, 佐藤哲也, 平中幸雄 (山形大)
- FPGAによる10GbpsVPNの検討
○竹内清史, 小林 智, 小貫淳史, 後沢 忍 (三菱)
- リコンフィギャラブルプロセッサを用いた Gigabit Ethernet モニタの開発
○安田 豊 (京産大), 高島研也 (ユートン・ネットワークス)
- (講演取消)
- 遅延を考慮したVPNトポロジ決定方式の評価
○堀 賢治, 吉原貴仁, 堀内浩規 (KDDI研)
- 顧客通話の積滞を可能としたビデオコールセンターシステム
○町井義亮, 伊藤俊之 (三菱)
- P2Pネットワーク上での地域によるコンテンツ収集システムの提案
○北 望, 山本友里, 中澤啓介, 重野 寛 (慶大)
- DHTをベースとした一括更新可能な複数名前解決方式の一検討
○山越公洋, 関 良明 (NTT)

一般セッション [7E会場] (3月10日(金) 14:30~17:30)

分散システム・ネットワーク運用管理 (2) 座長 今泉 貴史 (千葉大)

- 自律運用管理基盤における障害対処ポリシーの適用制御および流用の実装評価
○大野允裕, 加藤清志 (NEC)
- トラブルチケットと連携した障害アラーム管理システム
○大越冬彦, 菅野幹人 (三菱)
- 3拠点カスケードリモートコピー構成における主ホスト障害時のデータ可用性維持方式
○岡田 渡, 牧 晋広, 宮田和久, 佐藤雅英 (日立)
- マルチサイトリモートコピー制御における低ホスト負荷障害監視方式
○牧 晋広, 岡田 渡, 宮田和彦, 佐藤雅英 (日立)
- (講演取消)
- 負荷分散型クラスタにおけるサーバ自動管理方式の考案と有効性検証
○百瀬正光, 近藤秀明, 原口健太郎, 野澤雅之 (NTTコムウェア), 高橋浩和, 箕浦 真, 黒澤崇宏, サイモン ホーマン (VA Linux Systems Japan)
- オープンソースを活用した大阪府産技研の業務システムの構築と運用
○石島 梯, 中西 隆, 袖岡孝好, 平松初珠, 森田 均 (大阪府立産総研)

一般セッション [1F会場] (3月7日(火) 9:00~12:00)

社会システム基盤 座長 森本喜一郎 (産能大)

- 進行経路を考慮したローカル情報定位手法の提案
○桐村昌行, 齋藤正史 (三菱)
- 車両密度変化に対応した車間ルーティングプロトコルの提案
○春名恒臣, 成田干城, 重野 寛 (慶大)
- 異種ホームネットワークにおけるプラグアンドプレイおよびストリーム転送接続方式の開発
○森田知宏, 八木孝介, 丸山清泰, 湯川真紀, 安藤重男, 鶴本伸一 (三菱)
- Managed M2Mシステム技術 (1)
- 複数の機器の統一的な遠隔制御と遠隔監視を実現 -
○金子洋介, 釜坂 等, 道下 学 (三菱)
- Managed M2Mシステム技術 (2)
- インターネットを介した安全な即時制御を実現 -
○釜坂 等, 道下 学, 金子洋介 (三菱)
- 投票所入場券を携帯電話で電子化する方法の提案
○小林哲二, 金 幸都, 町田則文 (日本工大)
- 確率的手法による赤外線データ放送のモデル化と性能考察
○蔡 大維, 川島龍太 (岩手県大)
- 診療放射線技師養成のためのeラーニングシステムの開発と評価
○洪井二三男 (城西大), 鳥谷尾秀行 (秀明学園), 坂本重巳 (城西大), 辻 達之 (九工大)

一般セッション [2F 会場] (3月8日(水) 13:15 ~ 15:15)

マルチメディアシステム 座長 井手口哲夫 (愛知県大)

- 1 AdapTVにおけるルールベースの放送コンテンツ変換機構の提案
○鈴木理基, 重野 寛 (慶大), 金次保明 (NHK 放送技研)
- 2 イントラ符号化にベクター表現を用いた動画像圧縮に関する検討
○河村 圭, 山本勇樹, 渡辺 裕 (早大)
- 3 H.264 ソフトウェアデコーダの性能改善
○押切 亮, 加藤宣弘, 境 隆二, 矢野勝久, 館野 剛 (東芝)
- 4 パターン画像を用いた動画再生能力 (フレームレート) 評価方法
○南 賢司, 安藤重男, 前田泰雄 (三菱)
- 5 FEC と暗号化を融合させた高速アルゴリズムの開発
○稲生智久, 佐藤雅史, 平岡冠二, 新谷義弘 (沖電気)
- 6 符号誤り状態適応型ハイブリッド ARQ の一検討
○佐藤 直 (情報セキュリティ大)

一般セッション [3F 会場] (3月8日(水) 15:30 ~ 18:00)

センサーネットと関連技術 座長 秋山 康智 (三菱)

- 1 3層方式によるセンサプラットフォームの提案
○斎藤 忍, 高橋成文, 桑田喜隆 (NTT データ)
- 2 センサネットワークを用いた意味処理過程の可視化
○松下直樹, 吉野 孝 (和歌山大), 服部正嗣, 平松 薫, 岡留 剛 (NTT)
- 3 センサネットワークのためのトポロジ構成方式の基本評価
○茂木信二, 吉原貴仁, 堀内浩規 (KDDI 研)
- 4 センサネットワークを用いた位置把握システム
○渡部修平, 古川嘉誠, 小池秀樹 (NTT コムウェア)
- 5 ユビキタスゲートウェイによるセンサノード管理方法
○小熊 寿, 永田智大, 山崎憲一 (NTT ドコモ), 猿渡俊介, 鈴木 誠, 森川博之, 青山友紀 (東大)
- 6 P2P を用いた広域分散センサノードのための統合通信基盤の提案
○磯村 学 (KDDI 研), Decker Christian, Beigle Michael (University of Karlsruhe), 堀内浩規 (KDDI 研)
- 7 多カメラ映像監視システムにおける映像集信方式の検討
○横里純一, 奥村誠司, 鷹取功人, 柴田邦夫 (三菱)

一般セッション [5F 会場] (3月9日(木) 14:30 ~ 17:30)

電子タグ・携帯機器サービス 座長 戸辺 義人 (電機大)

- 1 マルチプラットフォーム環境における電子タグ属性情報の交換プロトコルの策定
○萩原秀郎 (日本 IBM)
- 2 電子タグ利用環境下における効率的なキャッシュ構築手法
○佐藤圭嗣, 横溝和宏 (日本 IBM)
- 3 電子タグプラットフォーム認証技術に関する提案
○布田寿康, 高橋成文 (NTT データ)
- 4 (講演取消)
- 5 モバイルコンテキストを用いたサービス推薦システム
○高橋三恵, 細見 格, 中尾敏康 (NEC), 上田博唯 (NICT)
- 6 グループ型通信対応サービス切替え方式の実装と評価
○岡坂和之, 今井尚樹, 堀内浩規 (KDDI 研)
- 7 (7G セッションに移動)
- 8 組込機器向け DOM のメモリ管理方式
○羽藤淳平, 佐々木幹郎, 齋藤正史 (三菱)

一般セッション [6F 会場] (3月10日(金) 9:00 ~ 12:00)

アドホックネットワーク 座長 石原 進 (静岡大)

- 1 スマートアンテナを用いたアドホックネットワーク MAC プロトコルの実装について
○岡田辰博 (静岡大), 渡辺正浩, 小花貞夫 (ATR), 萬代雅希, 渡辺 尚 (静岡大)
- 2 アドホックネットワーク MAC プロトコルにおけるサイドロープの影響とその改良について
○高塚雄也, 長島勝城, 萬代雅希, 渡辺 尚 (静岡大)
- 3 トポロジの変化に対応可能なマルチチャネル MAC プロトコルの性能評価
○劉 文姫, 萬代雅希, 渡辺 尚 (静岡大)
- 4 位置情報交換オーバーヘッドを削減した FACE ルーティングプロトコル
○松垣博章, 奈良澤みなみ (電機大)
- 5 インフラネットワークとアドホックネットワークが混在する分散オブジェクト環境のためのネームサービス
○西谷淳平 (武蔵工大)
- 6 無線アドホックネットワークにおける災害時通信手段としての VoIP システムの提案と構築
○坂田博志, 柴田義孝 (岩手県大)

7 非常用携帯電話ネットワーク構成の提案

○南川敦宣, 西山 智, 太田慎司 (KDDI 研)

8 マルチホーム環境におけるパス数の変動に対応した帯域集約の実現

○田中大吾, 瀬戸明史, 秦野智也, 重野 寛 (慶大)

学生セッション [2Q 会場] (3月8日(水) 13:15 ~ 15:15)

P2P 座長 西山 智 (KDDI 研)

- 1 スーパーノードと木構造を用いた自律分散協調ネットワーク上の全文検索システム
○成毛源樹 (東大)
- 2 巨大ファイル転送に適した P2P における効率的なファイル検索方法
○青木 勲, 湯澤孝有, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 3 (講演取消)
- 4 Chord におけるコンテンツ検索の高速化手法の提案
○妙中雄三, 山口真之介, 西野和典, 大西淑雅 (九工大)
- 5 (講演取消)
- 6 ネットワーク環境とユーザ要求を考慮した P2P ビデオ配信システム
○横川芳隆, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 7 サーバレスなインスタントメッセージングの開発
○池谷亮平, 横山孝典, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 8 MMOG における P2P アーキテクチャを用いた仮想空間情報の配送
○伊藤 晋, 十川 基, 斉藤裕樹, 戸辺義人 (電機大)

学生セッション [3Q 会場] (3月8日(水) 15:30 ~ 18:00)

ナビゲーションシステム 座長 屋代 智之 (千葉工大)

- 1 走行条件に適応するカーナビゲーションの研究
○佐藤雅彦, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温 (東京工大)
- 2 方向音痴のドライバのための予行演習システム
○市川加奈子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 3 認知地図を考慮したランドマークによる道案内地図作成に関する研究
○持永大輔, 物部寛太郎, 田中成典, 加藤佑一, 野中広茂 (関西大)
- 4 曖昧な記憶に基づくランドマークと交差点形状からの経路復元システムに関する検討
○五十畑絵理, 中原史貴, 加藤誠巳 (上智大)
- 5 拡張現実感を用いたランドマークを考慮に入れた歩行者用動画像経路案内システムに関する検討
○塚越義明, 加藤誠巳 (上智大)
- 6 実空間情報の利用を考慮に入れた三次元歩行者ナビゲーションシステムに関する検討
○小出祥平, 加藤誠巳 (上智大)
- 7 位置情報を記憶した RFID ラベルを利用する地域の商店街における歩行者ナビゲーションシステムに関する検討
○吉川友啓, 加藤誠巳 (上智大)
- 8 ナビゲーションシステムでの利用を意図した飲食店に対する評判情報の Web マイニングに関する検討
○中原史貴, 加藤誠巳 (上智大)
- 9 モデルベースドマッチングを利用した歩行者用経路案内支援システムに関する検討
○佐伯昌洋, 小出祥平, 加藤誠巳 (上智大)

学生セッション [4Q 会場] (3月9日(木) 9:00 ~ 12:00)

ユビキタスコンピューティング 座長 堀内 浩規 (KDDI 研)

- 1 センサネットワークにおけるセンシング密度の動的変更方式の提案
○長嶋翔平, 山北 嶺, 寺田松昭 (農工大)
- 2 災害時における情報収集を支援するセンサネットワークの考察
○牧江春佳, 萬代雅希, 渡辺 尚 (静岡大)
- 3 センサデータの周期的更新を反映した推論機構の提案
○神田 武, 佐竹 聡, 川島英之, 中村 学, 今井倫太 (慶大)
- 4 センサネットワークを用いた生活支援システムの提案と実装
○篠原義隆, 安藤瑞穂, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 5 生活リズム解析を目指した無線センサシステムの設計
○内山智裕, 上原雄一, 斉藤裕樹, 戸辺義人 (電機大)
- 6 タイムスタンプ機能を装着したモーションセンサ内蔵型ロガーの開発
○岡澤 昂, 牟田口公洋, 富澤 優, 河合 純, 金田重郎 (同志社大)
- 7 家電の操作情報をもとに自律走行する掃除ロボットの提案
○三浦明大, 河合 純, 金田重郎 (同志社大)
- 8 ゆかりコアに基づくカメラとテレビのリアルタイム配信システム
○金子愛里, 河合 純, 金田重郎 (同志社大), 山崎達也 (NICT)
- 9 家庭における RFID の活用方式
○荒井大輔, 河野真也 (早大), 井口 誠, 美尾治生 (フランステレコム), 後藤滋樹 (早大)
- 10 RFID を用いた家電の識別・制御システム
○海老原宏樹, 伊藤雅仁, 松下 温 (東京工大)

- 11 RFID ラベルの貼付された商品に対するレビュー情報の投稿・検索システムに関する検討 ○徳永和仁, 加藤誠巳 (上智大)

学生セッション [5Q 会場] (3月9日(木) 14:30 ~ 17:30)

ITS と位置情報サービス 座長 萬代 雅希 (静岡大)

- 1 擬似ループセンサを用いた交差点の交通量計測システム
○根岸廣人, 小泉寿男 (電機大)
- 2 路面凍結情報システムの拡張と 2005 年度実証実験
○千葉力也, 村田康之, 高山 毅, 元田良孝, 池田哲夫, 佐野嘉彦 (岩手県大)
- 3 携帯端末を用いたバス利用サポートシステムの開発
○浅野智之, 西脇修平, 船越雄太, 和田守美穂, 原 元司, 福岡久雄 (松江高専)
- 4 位置情報を利用した動的情報配信による被災者支援システム
○岩淵友喜, 柴田義孝 (岩手県大)
- 5 車両間通信を利用して位置情報サービスを提供する NAvi の提案
○畑中恵里奈, 屋代智之 (千葉工大)
- 6 知識メディア技術によるプロアクティブ環境の実現
○中山元也, 田中 譲 (北大)
- 7 地図情報を用いた GIS アプリケーション
○丹羽弘行, 加藤康之介, 後藤智春, 濱川 礼 (中京大)
- 8 MobiTra における指向性を考慮した位置推定方式の検討
○宮丸卓也, 肥田一生, 峰野博史 (静岡大), 寺島美昭, 宮内直人 (三菱), 水野忠則 (静岡大)
- 9 無線ロボットネットワークを用いた音源定位
○森木正人, 王 彪, 大坐島智, 川島幸之助 (農工大)
- 10 個人用知的移動体における個人間通信を利用した衝突回避
○伊藤 周, 長尾 確 (名大)

学生セッション [6Q 会場] (3月10日(金) 9:00 ~ 12:00)

モバイルアプリケーション (1) 座長 萩野 浩明 (NTT ドコモ)

- 1 ケータアプリを利用したモブログの提案と検証
○佐藤大輔, 片岡信弘 (東海大)
- 2 大規模クラスにおける携帯電話を利用した授業評価アンケート・携帯アンケート・出席確認
○三並敬之, 小山和倫, 植木泰博, 冬木正彦 (関西大), 堀川和義 (e-kikai), 荒川雅裕 (関西大)
- 3 POINT: オリエンテーリング競技者の位置捕捉システム
○北崎 茂, 土井宏真, 望月祐洋 (東工大)
- 4 (2R セッションに移動)
- 5 ユーザの嗜好と位置情報を利用した携帯電話向け地域ポータルサイトの構築
○富沢和也, 内田 理, 中西祥八郎 (東海大)
- 6 個人の好み情報をベースとした情報取得のためのモバイルコミュニケーションシステムの開発
○水越友之, 松岡勇樹, 武井恵雄 (帝京大)
- 7 個人の好みに適した情報取得を目的とするマシンコミュニケーション方法の開発
○松岡勇樹, 水越友之, 武井恵雄 (帝京大)
- 8 Mobicom: GUI モバイルアプリケーションの部分的なマイグレーションを支援するフレームワーク
○福田浩章 (慶大)
- 9 大学生ボランティアのための携帯端末を用いた地域通貨システム
○惣島麻未, 辻 秀一, 鈴木健司, 小林 隆 (東海大), 柿崎淑郎 (東海大学連合), 石川依里香, 矢野字太郎, 増岡智大 (東海大)
- 10 GPS 携帯電話による障害者用鎌倉観光ガイド
○出口修次, 渡部 翔, 来住野久之, 加藤 誠, 大滝由明, 渡辺真也, 井上道哉, 長澤可也 (湘南工科大)
- 11 次世代携帯電話 PID の提唱
○猪狩一真, 山田 淳, 宗 直喜, 高久幸夫, 平泉康志 (工学院大)

学生セッション [7Q 会場] (3月10日(金) 14:30 ~ 17:30)

モバイルアプリケーション (2) 座長 北形 元 (東北大)

- 1 通信回線共有方式を用いた高速 Web アクセスにおける動的ページへの対応方法
○荻野秀岳, 石原 進 (静岡大)
- 2 アドホックネットワークを利用した P2P アプリケーションの提案
○池田篤史, 片岡信弘 (東海大)

- 3 携帯電話と情報家電間におけるフレキシブルなセッション転送の実現 ~対応 B2BUA の開発~
○江藤 努, 足立奈央登, 峰野博史 (静岡大), 鈴木偉元 (NTT ドコモ), 水野忠則 (静岡大)

- 4 携帯電話と情報家電間におけるフレキシブルなセッション転送の実現 ~対応 SIP UA の開発~
○足立奈央登, 江藤 努, 峰野博史 (静岡大), 田中希世子 (NTT ドコモ), 水野忠則 (静岡大)

- 5 携帯電話を中心とした CTI アーキテクチャの提案と応用
○飯泉圭太, 大和田勇人, 松井藤五郎 (東理大)
- 6 C# による FeliCa ライブラリ
○原田和貴, 齋藤祐輔, 並木美太郎 (農工大)
- 7 携帯電話用 Java アプリケーションメタデータ検索手法の提案と検証
○後藤和之, 片岡信弘 (東海大)
- 8 携帯電話 Java 向けファイルシステムライブラリの開発
○佐々木悠, 小高健二, 並木美太郎 (農工大)
- 9 携帯電話を用いた防犯システムの研究開発
○垂水佐和, 物部寛太郎, 田中成典 (関西大)
- 10 赤外線データ放送による携帯電話の開発とその利用方法の提案
○齋藤 明, 川島龍太, 蔡 大維 (岩手県大)
- 11 P2P 型プリンタ共有システムの提案
○中上恭介, 後藤幸功, 村山優子 (岩手県大)

学生セッション [1R 会場] (3月7日(火) 9:00 ~ 12:00)

ストリーミング 座長 山崎 克之 (KDDI 研)

- 1 MPEG のデータ構造を考慮したマルチメディアチェックポイントの一貫性評価
○結城和也, 松垣博章 (電機大)
- 2 通信モデルの混在を考慮したマルチメディアチェックポイントの一貫性評価手法
○木下稔也, 松垣博章 (電機大)
- 3 自然なコマ落しとマルチキャストによる VOD サーバの高性能化手法
○李 成必 (農工大)
- 4 P2P を用いた VOD* サーバの負荷低減方式の提案 -サーバ・クライアントのキャッシュ制御プロトコル-
○島田佳広, 佐藤陽一, 中西 亮, 平田謙司, 品川高廣, 吉澤康文 (農工大)
- 5 P2P を用いた VOD* サーバの負荷低減方式の提案 -クライアントの再生機能を保証する方式-
○佐藤陽一, 島田佳広, 中西 亮, 平田謙司, 品川高廣, 吉澤康文 (農工大)
- 6 P2P を用いた VOD* サーバの負荷低減方式の提案 -サーバならびにクライアントの資源を利用するキャッシュ管理法-
○中西 亮, 佐藤陽一, 島田佳広, 平田謙司, 品川高廣, 吉澤康文 (農工大)
- 7 P2P を用いた VOD* サーバの負荷低減方式の提案 -MPEG ビックチャ分析に基づく映像品質の評価-
○平田謙司, 佐藤陽一, 島田佳広, 中西 亮, 品川高廣, 吉澤康文 (農工大)
- 8 高精細全方位映像の利用と通信のためのミドルウェアの開発
○米田祐也, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 9 大規模多者間通話システムの構成方式に関する一考察
○小暮慶輔, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 10 モバイルアドホックネットワークにおけるストリームデータ送受信に関する一検討
○内田智理, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 11 ウェブログへのストリーミング機構の統合
○土井宏真 (東工大)

学生セッション [2R 会場] (3月8日(水) 13:15 ~ 15:15)

分散システムとウェブサービス 座長 安東 孝二 (東大)

- 1 料金所渋滞のシミュレーションによる ETC 普及効果の評価
○根笹賢一, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 2 情報場を備えた JavaSpaces による情報共有空間の制御
○矢島研自, 二宮 洋, 吉田幸二, 坂下善彦 (湘南工科大)
- 3 Web サービス複数連携システムの構築とその評価
○鈴木 亮, 東 真樹, 小泉寿男 (電機大)
- 4 Web サービスを用いたオンラインシステム構築手法の比較評価
○柿田真海, 東 真樹, 小泉寿男 (電機大)

- 5 Web サーバの負荷情報に基づいた動的パラメータチューニング
○南野久美子, 多田好克, 佐藤 喬 (電通大)
- 6 分散処理による Web サイト格付けシステム KAGAMI の拡張
○竹内康夫 (東理大), 平石広典 (ウヰズダムテック),
溝口文雄 (東理大)
- 7 情報家電における機能の自動検出と協調に関する研究
○塚田裕之, 天野直紀, 藤澤公也 (東京工科大)
- 8 多様な情報端末からのアクセスに適応したパーソナライズド情報提供システム
○藤井崇史, 平田敏之, 三浦元喜, 國藤 進 (北陸先端大)

学生セッション [3R 会場] (3月8日(水) 15:30 ~ 18:00)

ネットワーク構築, 管理, QoS 座長 地引 昌弘 (NEC)

- 1 フォワード・バックワード複合型 WDM 波長予約手法の評価
○角田 隆, 桧垣博章 (電機大)
- 2 分散ネットワーク管理のための SNMP 情報集約方式の提案
○津秦知士, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 3 グローバルアドレスとプライベートアドレス空間を跨る DPRP の検討
○後藤裕司, 渡邊 晃, 鈴木秀和 (名城大)
- 4 IP ストレージリモートアクセスにおける VPN 利用に関する一検討
○武田裕子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 5 ネットワーク上のデータ転送におけるアルゴリズム最適化の考察
○高橋三四郎, 伊藤 誠 (中京大)
- 6 IPv6 ネットワークにおける BGP 経路制御トラフィックの解析
○有田真也, 後藤滋樹 (早大)
- 7 MPLS ネットワーク上の単一リンクにおける LSP の再ルーティングアルゴリズムの提案
○久保庭章子, 海老原義彦, 木村成伴 (筑波大)
- 8 ホームネットワーク向け高品質動画配信手法の提案
○熊倉章人, 千葉雄司, 土居範久 (中大)
- 9 有線と無線との相互接続ネットワークにおける連続メディア転送のための QoS 制御法
○熊能春彦, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)

学生セッション [4R 会場] (3月9日(木) 9:00 ~ 12:00)

アドホックネットワーク 座長 尾上 裕子 (NTT ドコモ)

- 1 無線アドホックネットワークにおける要求者の位置を考慮した位置依存情報複製配置の検討
○鈴木 望, 山中麻理子, 土田 元, 石原 進 (静岡大)
- 2 車々間アドホックネットワークにおける車両の移動特性を考慮した位置依存情報複製配布方式に関する検討
○山中麻理子, 鈴木 望, 土田 元, 石原 進 (静岡大)
- 3 順次短縮リンクによる無線マルチホップ通信の広帯域化
○沼田祐哉, 桧垣博章 (電機大)
- 4 FACE プロトコルに基づくホップ数削減を考慮したアドホックルーティングプロトコル
○高橋秀彰, 桧垣博章 (電機大)
- 5 MRAODV の接続性の評価
○小島隆宣, 桧垣博章 (電機大)
- 6 複数チェックポイントの同時発生に対応したアドホックネットワークにおけるチェックポイントプロトコル
○小野真和, 桧垣博章, 足立暁生 (電機大)
- 7 アドホックルーティングプロトコル A²P² における中継ノードの選定
○栗田崇徳, 井手口哲夫, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 8 アドホックネットワークのルートディスカバリーにおける省電力フラッディング手法
○有川 隼, 松田充敏, 能登正人 (神奈川大)
- 9 ロボットアドホックネットワークにおける通信品質向上のための協調制御方式
○王 彪, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)

学生セッション [5R 会場] (3月9日(木) 14:30 ~ 17:30)

モバイル IP 座長 佐藤 永欣 (東洋大)

- 1 Mobile IP を利用した Access Grid の実現
○石井勇弥, 三浦周平, 後藤滋樹 (早大)
- 2 Mobile PPC におけるパケットロスなしハンドオーバーの提案
○金本綾子, 瀬下正樹, 竹内元規, 渡邊 晃 (名城大)
- 3 グローバルアドレス空間とプライベートアドレス空間を跨る移動通信の検討
○榎本万人, 坂本順一, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大)
- 4 車載 Mobile Router を用いた通信回線共有方式における Alliance 構築手法
○中安俊行, 舛田知広, 石原 進 (静岡大)

- 5 Mobile IP SHAKE における動的帯域推定を用いたパケット分配方式の検討
○櫻木伸也, 峰野博史 (静岡大),
鈴木偉元, 石川憲洋 (NTT ドコモ), 水野忠則 (静岡大)
- 6 連続通信のためのマルチインタフェース列車ネットワーク構築の検討
○若林 理, 新庄勇一, 屋代智之 (千葉工大)
- 7 IPv6 ネットワークにおけるマルチプレフィックスを利用したモバイルアーキテクチャの研究
○安田直樹, 寺田松昭 (農工大)
- 8 2 アドレス方式を用いた移動端末制御方式の提案
○鈴木寛和, 安田直樹, 中馬裕基, 山本恭平, 寺田松昭 (農工大)
- 9 低軌道衛星ネットワークにおける移動管理法
○土谷敏子 (青学大), 若原 恭 (東大), 水澤純一 (青学大)

学生セッション [6R 会場] (3月10日(金) 9:00 ~ 12:00)

ネットワークセキュリティ (1) 座長 寺田 真敏 (日立)

- 1 脆弱性の逐次検査が可能なウェブアプリケーション開発手法の提案とその実装
○大村貴俊, 安井浩之, 松山 実 (武蔵工大)
- 2 復号化状況の秘匿によりコード隠蔽を可能にする JavaScript 開発環境の実現
○小松正樹, 大面忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 3 セキュリティゲートウェイの構築
○黒羽秀一 (東京工科大), 初谷良輔, 齋藤孝道 (明大)
- 4 SSL WEB システムのパフォーマンス計測に関する考察
○初谷良輔, 齋藤孝道 (明大)
- 5 P2P ネットワークゲームにおける多数決による不正ノード検出除去プロトコルの提案
○萩原一昌, 十川 基, 斉藤裕樹, 戸辺義人 (電機大)
- 6 トラフィック監視による spam-mail 対策
○新井裕子, 辻 秀一 (東海大)
- 7 忘却を考慮したブラックリスト自動管理を用いた spam 拒否システム
○森崎智博, 渥美清隆 (鈴鹿高専)
- 8 DDoS 攻撃のためのパス識別子メカニズムにおけるプロトコル単位でのフィルタリング方式の提案
○志田雄哉, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 9 アドホックネットワークにおけるブラックホール攻撃と対策
○岡田伊織, 横山 信, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 10 握るという行為を用いた個人認証システム
○佐藤勝規, 佐藤 究, 小笠原直人, 布川博士 (岩手県大)
- 11 コントローラーを用いた個人認証に関する研究
○水田明宏, 安達 章, 堀 幸雄 (香川大)

学生セッション [7R 会場] (3月10日(金) 14:30 ~ 17:30)

ネットワークセキュリティ (2) 座長 竹森 敬祐 (KDDI 研)

- 1 SAML における XML 処理効率向上の提案
○津田斎志, 辻 秀一 (東海大)
- 2 多機能 IC チップを利用した任意多地点間 VPN のための鍵交換手法に関する研究
○兵庫友一郎, 鈴木裕之, 小尾高史,
谷内田益義, 山口雅浩, 大山永昭 (東工大)
- 3 マルチホップ無線ネットワークにおけるセキュアコネクションの生成・管理方式の一提案
○鎌田美緒, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 P2P フレームワークにおける公開鍵暗号方式を用いた認証機構の実装
○小原奈緒子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 5 IP ヘッドへの利用者情報埋め込み型認証システムの構築
- 実験と評価 - ○中西康夫, 安井浩之, 松山 実 (武蔵工大)
- 6 携帯電話を用いたネットワーク認証システム
○太田和宏, 福岡久雄 (松江高専)
- 7 (講演取消)
- 8 異なる医療情報ネットワークドメインにおけるアクセス制御と権限付与に関する研究
○佐藤 守, 谷内田益義, 鈴木裕之,
小尾高史, 山口雅浩, 大山永昭, 喜多敏一 (東工大)
- 9 コミュニティセキュリティを実現するための提案とその安全性の評価
○梶野春恵, 井手口哲夫, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 10 (1T セッションに移動)

学生セッション [1S 会場] (3月7日(火) 9:00 ~ 12:00)

無線ネットワーク 座長 齋藤 正史 (三菱)

- 1 無線 LAN 統合認証方式における優先度制御の実装
○阪口敬司, 山下真純, 西村俊和, 小川 均 (立命館大)

- 2 無線 LAN 統合認証方式とマルチホップ通信による即席ホットスポットの構築
○江藤 亮, 西村俊和 (立命館大)
- 3 予測レート制御機構を用いた無線 LAN ハンドオーバーにおける動画画品質の評価
○田村大輔 (静岡大), 宮本 剛 (NICT), 石原 進 (静岡大)
- 4 WAPL のアーキテクチャとハンドオーバーの実現方式
○山崎浩司, 渡邊 晃, 市川祥平, 小島崇広 (名城大)
- 5 無線アクセスポイントリンク "WAPL" のインターネット接続の検討
○加藤佳之, 大石泰大, 増田真也, 渡邊 晃 (名城大)
- 6 Sensed Chiyoda : 千代田区における無線マルチホップ転送のネットワーク測定
○石塚宏紀, 佐々木健司, 金澤祥弘, 戸辺義人 (電機大)
- 7 CC-WSCP の性能評価
○服部幸英, 桧垣博章 (電機大)
- 8 異種無線相互接続によるモバイルネットワークの研究
○柏田康志, 柴田義孝 (岩手県大)
- 9 無線 LAN 通信時における TCP パラメータの一解析
○松井愛子, 豊田真智子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 10 無線 LAN の多重化による高帯域化ネットワークとその応用
○高野尚恭, 柴田義孝 (岩手県大)

学生セッション [2S 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)

分散システム/グリッド 座長 弓場 敏嗣 (電通大)

- 1 分散コンポーネントの Plug and Play 環境を利用した負荷分散システムの構築
○佐藤琢紀, 高田真吾 (慶大), 土居範久 (中大), 名倉正剛, 河野泰隆 (慶大)
- 2 透過的なネットワーク環境を実現するグリッドミドルウェア
○大迫勇哲, 山崎 航, 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 3 PC クラスタシステムにおける環状スケジューリングとその評価
○大原常德, 高井昌彰 (北大)
- 4 グリッドにおけるネットワーク実験支援システムの設計
○橋本浩二, 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 5 アクセス頻度によってデータを再配置するサーバレス分散ファイルシステム
○藤井孝文, 安倍広多, 石橋勇人, 松浦敏雄 (阪市大)
- 6 π 計算から Java への変換系を用いた分散システム開発手法
○玉井 徹, 樋口昌宏, 加藤 暢 (近畿大)
- 7 JavaSpaces を用いたノード接続関係の履歴情報を利用したランデブー手法
○碓井康弘, 坂下善彦 (湘南工科大)

デモセッション [デモ会場]

デ-05 (3月9日 (木))

- 携帯電話を用いた音響情報の非接触 ID 検出技術の開発
○茂出木敏雄 (大日本印刷)

デ-10 (3月10日 (金))

- 端末間でのネットワーク上の暗号化通信を提供可能なクライアントアダプタ
○田中 晶, 岡山祐孝, 今井光洋, 佐藤洋平 (日立)

第4分冊

(インタフェース)

一般セッション [7F会場] (3月10日(金) 14:30～17:30)

モデリング及びCAD 座長 岡田 稔 (早大)

- 1 身体に適合した靴の自動設計のための曲面生成手法
○古田泰大, 水野一徳, 福井幸男, 三谷 純, 西原清一 (筑波大)
- 2 足部点群データからの基準の解剖学的特徴点の抽出
○高橋瑛逸, 矢原弘樹, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)
- 3 GPUを用いた境界表現モデルからボクセルモデルへの変換の高速化
○中村徳裕, 井上雄介, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 4 動作名により検索可能な身体動作データベースの開発
○湯川 崇 (秋田栄養短大), 小原直子, 玉本英夫 (秋田大)
- 5 3次元CGによるイラン・バム遺跡の仮想復元 ○阿部信明,
河合隆史 (早大), 伊藤朝香 (エルゴビジョンズ),
池田践理 (エルゴシーティング),
Elham Andaroodi, 小野欽司 (国立情報学研)
- 6 隣接する紙地図の連結法
○三好孝治, 永井康雄 (広島工大), 中前栄八郎 (三英技研)
- 7 壺・甕を対象とした発掘図面に基づく容量計算プログラムの開発
-Windowsでの実現- ○嶋田鉄兵 (福井大), 藤原正敏,
萩野繁春, 坪川武弘, 清水幹郎 (福井高専)

一般セッション [1G会場] (3月7日(火) 9:00～12:00)

コミュニケーションとインタフェース 座長 堀 浩一 (東大)

- 1 ブログの視覚化によるナビゲーションインタフェースの提案
○川口克則, 宮原伸二, 定方 徹, 奥田英範 (NTT)
- 2 3Dblogシステムの改良と開発
○西尾吉男 (金城学院大), 横井茂樹 (名大)
- 3 マルチユーザ音声チャットシステムにおける音声基本周波数を用いた
アバタ表情制御法の提案 ○宮島俊光, 藤田欣也 (農工大)
- 4 高齢者・弱者のためのインターネット閲覧ツールの作成
○西村ミサキ, 西尾吉男 (金城学院大)
- 5 パーソナルフォントのための感性語によって表現された漢字の形状を
実現するフォント作成法
○田丸雅純, 杉本富利, 米山正秀 (東洋大)
- 6 注視点移動計測を用いた視認性に関する基礎的検討
○齋藤大輔, 齋藤恵一, 齋藤正男 (電機大)
- 7 (2Gセッションに移動)
- 8 セルオートマトンを用いた仮想都市の自律変化
○塚越啓介, 西原清一, 福井幸男, 三谷 純, 水野一徳 (筑波大)

一般セッション [2G会場] (3月8日(水) 13:15～15:15)

作業支援のインタフェース 座長 横井 茂樹 (名大)

- 1 多重ワークの研究 - 支援システムの試作 -
○松永義文, 服部宏行, 矢後友和,
湯澤秀人, 小村晃雅 (富士ゼロックス)
- 2 多重ワークの研究 - テキスト支援 -
○小村晃雅, 湯澤秀人, 矢後友和, 松永義文 (富士ゼロックス)
- 3 多重ワークの研究 - プロアクティブ支援 -
○湯澤秀人, 矢後友和, 小村晃雅, 松永義文 (富士ゼロックス)
- 4 多重ワーク時における会議中継カメラの自動切替手法
○津村弘輔, 住谷哲夫, 高田 格, 重野 寛, 岡田謙一 (慶大)
- 5 アジェンダを利用した遠隔会議参加とデスクワークの多重ワーク支援
○高田 格, 住谷哲夫, 津村弘輔, 重野 寛, 岡田謙一 (慶大)
- 6 ロボットは会議に潜む多重文脈の表出を支援できるか
○関口海良, 田中克明, 赤石美奈, 堀 浩一 (東大)
- 7 思考空間に潜む多重文脈の表出支援 ○堀 浩一 (東大)

一般セッション [3G会場] (3月8日(水) 15:30～18:00)

レンダリング 座長 斎藤 隆文 (農工大)

- 1 方位角シフトを用いたBTFデータのベクトル量子化
○河合直樹, 松藤和夫 (大日本印刷)
- 2 起毛素材の質感の効率的な表現のための視線依存テクスチャマッピング
手法 ○柳川和徳 (銚路高専),
高井那美 (北海道情報大), 高井昌彰 (北大)

- 3 異方性3Dテクスチャのポイントベースレンダリング
○伊藤智也 (八戸工大), 藤本忠博 (岩手大),
村岡一信 (東北工大), 千葉則茂 (岩手大)

- 4 (4Tセッションに移動)
- 5 直感的な理解のための4次元空間提示システム
○酒井幸仁, 橋本周司 (早大)
- 6 (講演取消)

一般セッション [4G会場] (3月9日(木) 9:00～12:00)

グループウェア 座長 宗森 純 (和歌山大)

- 1 P2PによるWebアノテーション方式 ○瀬川 修 (中部電力)
- 2 レーザポインタ指示情報に基づくマルチメディア議事録の協調的提示
手法の検討 ○大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 3 Rabbit: プログラマのプレゼンテーションツール
○須藤功平, 西谷泰昭 (岩手大)
- 4 対話型情報ナビゲーションにおける動的情報提示
○原 雅樹, 宮崎陽司, 河野 泉 (NEC)
- 5 ディスカッションオントロジー: 実世界の会議における
人間行動解析による知識発見 ○友部博教, 長尾 確 (名大)
- 6 集計の公正性の直感的説明が可能な匿名電子投票システム
○岩井 淳, 佐渡一広 (群馬大)
- 7 安全ではない経路を複数利用することにより, 安全な認証を行う方法
○宮原隆行 (上武大)
- 8 製品不具合事例の傾向分析
○坂上聡子, 宮田 亮, 辻野克彦, 堀池 聡 (三菱)

学生セッション [3S会場] (3月8日(水) 15:30～18:00)

顔と表情 座長 金子 正秀 (電通大)

- 1 人相を表現する言葉情報に基づく3次元顔モデルの形成
○星野雄介 (東洋大)
- 2 人相の経年変化を表現する言葉空間での人相合成
○長谷川慶滋 (東洋大)
- 3 工学的応用を目的とした画像処理による瞳孔径計測に関する検討
○篠田貴之, 加藤誠巳 (上智大)
- 4 線形判別分析を用いた表情ベクトルの分離による似顔絵アニメーションの
生成 ○沙 秀, 今井順一, 金子正秀 (電通大)
- 5 FACSを利用した自然な表情からの感情認識手法
○山平慎吾, 羽倉 淳, 藤田ハミド (岩手県大)

学生セッション [4S会場] (3月9日(木) 9:00～12:00)

マルチメディア/マルチモーダルインタフェース

座長 長 幾郎 (早大)

- 1 エネルギー自給型草刈ロボット ○八木迪子, 橋本周司 (早大)
- 2 行動状況により検索可能な体験映像提示手法の検討
○志村将吾, 平野 靖, 梶田将司, 間瀬健二 (名大)
- 3 (講演取消)
- 4 強化学習による人間位置に基づいたロボットの拳動選択
○田崎 豪, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 5 舞踊学習のための残像を用いたリアルタイム動作遅延判定
○高橋智也, 松田浩一 (岩手県大), 海賀孝明, 長瀬一男 (わらび座)
- 6 ユーザのコンテキストに合わせて選曲する音楽プレイヤー
○阪口 豊 (電通大)
- 7 ジェスチャを用いたユーザインタフェースの構築
○木村勝敏 (阪電通大)
- 8 複数ユーザとコミュニケーションするロボットにおけるマルチモーダル
情報に基づくユーザ毎の優先度判定
○崔 元杰, 今井順一, 金子正秀 (電通大)
- 9 音の提示と情報化に関する研究
○橋美知輝, 高橋陽介, 岡内秀明, 長 幾郎 (早大)
- 10 情報伝達を目的とした非言語音声生成支援システム
○野中貴俊, 中山 健, 小林良岳, 前川 守 (電通大)
- 11 本のメタファを用いた入力インタフェース
○今泉裕介, 伊藤雅仁, 松下 温 (東京工科大)

学生セッション [5S 会場] (3月9日(木) 14:30～17:30)

感性情報処理 座長 杉本 富利 (東洋大)

- 感情の発生条件と体系的分類についての研究
○斉藤諭彦 (工学院大)
- クロスメディア検索の実現に向けて - 感性語と画像の対応付け -
○鈴木潤也, エクトル サンドヴァル, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- チャットによる人材評価システムの妥当性検証方法の提案
○木下善皓, 野地 保, 北岡功二 (東海大)
- 地域伝統舞踊におけるリズム感の個人差抽出
○郡 未来, 松田浩一 (岩手県大), 海賀孝明, 長瀬一男 (わらび座)
- 感情を付加した朗読システムの為の文章の場面分割と場面毎の感情分類
○浦野慧介, 米山正秀, 杉本富利 (東洋大)
- キーボードタッチ入力による感情情報収集システムの男女差の検証
○小野田誠, 野地 保, 渡部谷子 (東海大)
- 生体情報として感情情報を活用するセキュリティシステムの検討
○野地 保, Puttikarukot Jarawan, 木下善皓 (東海大)
- トータルコーディネートサポートシステムの提案
○木下善皓, 郭 春皓, 野地 保 (東海大)
- 個人情報保護システムの一手法
○野地 保, 吉野央朗, 小野田誠 (東海大)
- ベイジアンネット混合モデルを用いた感性ロボットのための対話者感情の推定法
○杉野良樹, 加藤昇平, 伊藤英則 (名工大)
- 色情報を活用する業務効率の向上を図るシステムの提案
○小野田誠, 野地 保, 久松 功 (東海大)

学生セッション [6S 会場] (3月10日(金) 9:00～12:00)

情報提示と視覚化 座長 三浦 元喜 (北陸先端大)

- 電子地図での画面外オブジェクトの距離と方向の視覚化
○花井裕子, 遠藤裕貴, 郷健太郎 (山梨大)
- 博物館資料探索における画像閲覧インターフェースの検討
○上島史行, 徳永幸生 (芝浦工大), 鈴木卓治, 安達文夫 (国立歴史民俗博物館)
- ホームページ改ざん検知システムのための管理者支援
○岡部優佑, 高屋敷光一, 猪股俊光, 曾我正和 (岩手県大)
- コンテキスト情報を用いた動的なグループおよびグループプレゼンス情報の自動生成手法の検討
○田坂未来, 山崎賢悟, 平島大志郎, 勅使河原可海 (創価大)
- 共有スペースにおける状況情報提供システムの構築
○川上智司, 三浦元喜, 國藤 進 (北陸先端大)
- 学習における講義内容のデジタル記述・整理システムの開発
○武田雅斗, 小飼 敬, 弘畑和秀 (茨城高専)
- 議論の活性化支援を目的とした添付つきメーリングリストの視覚化
○岡田陽平, 金田重郎, 芳賀博英 (同志社大)
- 漫画コマ割り手法による映像会議録情報の提示
○川戸祐介, 井上智雄 (筑波大)
- セマンティックセンサネットワークにおける論理関係可視化システム Viewlon の設計
○古山真之, 今井倫太, 向井 淳 (慶大)
- 気象情報を用いた生活情報パネルの設計論文趣旨
○滝上達郎, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)

学生セッション [1T 会場] (3月7日(火) 9:00～12:00)

コミュニケーションとインタフェース 座長 今井 倫太 (慶大)

- Text to Speech と同期して動作する唇モデル
○酒巻 亮 (東洋大)
- 学習障得児に対する漢字読み書き支援
○北城修平, 相場 亮 (芝浦工大), 霜田浩信 (文教大)
- 親密別居家族間における会話促進を用いた親密度の維持向上に関する研究
○遠藤哲重, 相場 亮 (芝浦工大)
- 近距離への呼び込みを目的とした遠距離対話システム
○山本友紀子, 梅澤 猛, 今井倫太 (慶大)
- チャットと並行して作業を行うための入力予測システムの開発
○笹木 翔, 平川正人 (島根大)
- 二次元チャットシステムのキャンバス上の会話情報をより容易に把握する手法の提案
○風間隆人, 魚井宏高 (阪電通大)
- 確率モデルに基づくコミュニケーション制御と対話ロボット
○仲川 潤, 佐野陸夫 (阪工大)

- ロボットとユーザとのインタラクションにおける
ロボット・ユーザ・オブジェクトの相対的位置関係の取扱い
○立木翔一, 今井順一, 金子正秀 (電通大)
- 身の回りの物体に付与されたセンサを利用した音声対話ロボット
○志和敏之, 石井健太郎, 今井倫太 (慶大)
- 手の認識による新たなユーザインタフェースの作成
○伊東 聖, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 凝視とそれに伴う呼び掛け判定システム
○近藤圭紘, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- アウェアネス情報を利用したスポットライトによる事故予防システム
○鶴間剛士, 金井秀明, 中田豊久, 國藤 進 (北陸先端大)

学生セッション [2T 会場] (3月8日(水) 13:15～15:15)

レンダリング 座長 柿本 正憲 (日本 SGI)

- 半透明複数等値面の高速な重ね合わせ表示
○平野未来, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 分散コンピューティング環境における大域照明レンダリング
○小林直記, 武田正之 (東理大)
- 粒子法による安定な混相流モデル
○阪本重隆, 高橋成雄, 西田友是 (東大)
- 風になびく草原の物理シミュレーション
○成田佳宏 (農工大)
- 風景写真を入力とした風景画生成システムの提案
○清水香織, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 顔部品の特徴を考慮した画像ベースの似顔絵生成
○河田智行, 中村徳裕, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 動画ベース群衆動作生成シミュレーション
○新倉寿樹, 高橋成雄, 西田友是 (東大)
- イメージベースドレンダリングにおける虹の表現
○菊池愛美, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)

学生セッション [3T 会場] (3月8日(水) 15:30～18:00)

入力インタフェース 座長 角田 博保 (電通大)

- ウェアラブルコンピュータのための入力装置の設計と評価
○池田貴紀, 赤池英夫, 角田博保 (電通大)
- 文字入力速度から見たペンインタフェースとキーボードの比較
○森本莊平, 中村 靖 (広島工大)
- 小型タッチ画面における片手親指の入力特性
○松浦吉祐, 遠藤裕貴, 郷健太郎 (山梨大)
- スライド入力法: タッチ画面キーボードにおける効率的な文字入力
○萩原竜一, 遠藤裕貴, 郷健太郎 (山梨大)
- MouseField デバイスを用いた文字入力手法
○松崎由香里, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 文鎖メタファーを利用した小型情報機器向けインタフェース
○辻田 眸, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)

学生セッション [4T 会場] (3月9日(木) 9:00～12:00)

可視化及び非写実的レンダリング 座長 斎藤 豪 (東工大)

- 大規模試験での問題分析のための解答状況の可視化
○横内文香, 齋藤隆文, 宮村(中村)浩子 (農工大)
- 二色塗り分け疑似カラー表示法による大規模気象観測データの可視化の評価
○加世田匠, 宮村(中村)浩子, 斎藤隆文 (農工大)
- イネの生長特性比較のための可視化
○深井寛修, 七夕高也, 宮村浩子, 斎藤隆文 (農工大)
- 情報可視化手法「平安京ビュー」を用いた遺伝子ネットワークの可視化
○西山慧子, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 監視カメラ画像の効率的閲覧手法の検討
○阿久津渡, 塚越貴之, 古谷雅理, 瀬川大勝, 宮村浩子, 斎藤隆文 (農工大)
- 非透視投影のための2次元制約を用いたカメラパラメータ制御
○吉田謙一, 高橋成雄, 西田友是 (東大)
- スケッチ画における曲線ストロークの対話的修正法
○山田紗耶香, 宮村(中村)浩子, 斎藤隆文 (農工大)
- HMMを用いた毛筆調レンダリングに関する研究 第二報
-HMM クラスタリングによる実行時間の短縮-
○岡部雄太, 齋藤 豪, 高橋裕樹, 中嶋正之 (東工大)
- 遠隔会議システムのための非写実的人物像表現
○澁川友恵, 斎藤隆文, 宮村(中村)浩子 (農工大)

- 10 衝突音の発生を含めた3次元CG作成システムの提案
○山下哲史, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 11 音声操作による3次元CGシーン編集システム
○福武宏理, 赤澤由章, 岡田義広, 新島耕一 (九大)
- 12 左京と右京:2つの平安京ビューによるアンケート情報の可視化
○橘 春帆 (お茶の水女子大)

学生セッション [5T 会場] (3月9日 (木) 14:30 ~ 17:30)

- 複合現実感** 座長 岡田 義広 (九大)
- 1 服飾デザインシステムのための生地裁断・裁縫シミュレーション
○宮原克典, 岡田義広, 新島耕一 (九大)
- 2 ヴァーチャルガス給湯器故障診断体験ソフト
○樋口義久, 加藤大輝, 紫合 治 (電機大)
- 3 居眠り防止のための音楽自動再生システムの構築
○高部秀則, 伊藤雅仁, 松下 温 (東京工大)
- 4 方向依存ディスプレイ Lumisight Table における多言語表示のための多層表示方式の開発
○小菅 徹, 吉野 孝 (和歌山大), 松下光範 (NTT), 宗森 純 (和歌山大)
- 5 3次元機能オブジェクト構築のための直感的インターフェース
○赤澤由章, 岡田義広, 新島耕一 (九大)
- 6 複数枚の全方位画像を用いた施設案内システムの構築に関する検討
○中山慎哉, 加藤誠巳 (上智大)
- 7 全方位画像からの全天球画像空間の構築とその応用に関する検討
○星 勇次, 中山慎哉, 加藤誠巳 (上智大)
- 8 発話者の位置特定機能を有する全方位映像 TV 会議システム
○齊藤純一, 米田祐也, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 9 多人数テレビ会議システムにおけるキャリブレーションの自動化と映像表示の工夫
○中野大輔, 富野 剛, 福井登志也, 市村 哲, 松下 温 (東京工大)
- 10 複合現実感を用いた分散会議支援の提案
○野口康人, 井上智雄 (筑波大)
- 11 超高速ネットワークをベースとした没入型環境システムにおける共有法
○石田智行 (岩手県大), 宮川明大 (石川県七尾市), 柴田義孝 (岩手県大)

学生セッション [6T 会場] (3月10日 (金) 9:00 ~ 12:00)

- 協調作業のインターフェース** 座長 市村 哲 (東京工大)
- 1 eXtremeMeeting をベースとした映像と議事録の連携
○後藤拓郎, 塚本享治 (東京工大)
- 2 構造化議事録を用いた会議コンテンツ視聴支援システム
○佐橋典幸, 大平茂輝, 友部博教, 長尾 確 (名大)
- 3 議事録に基づく知識活動サイクルの活性化
○土田貴裕, 友部博教, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 4 優先度付き LA 推論に基づいた議論支援システム (P++)
○柴田裕介, 山口和紀 (東大)
- 5 ISM 自動作成に基づく問題構造の時系列的変化の抽出
○金澤伸昭, 平沙緒梨, 笹平敏昭, 金田重郎 (同志社大)
- 6 研究室配属のための履修支援システムの提案と試作
○藤本高志, 平石邦彦, 三浦元喜, 國藤 進 (北陸先端大)
- 7 情報共有に基づくコラボレーション支援システムの設計と実装
○畑 寛之, 山崎 航, 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 8 ユーザの興味情報を考慮した大規模3次元仮想空間の実現方法
○掃部直樹, 中井優志, 柴田義孝 (岩手県大)
- 9 大規模 CVE のための分散型論理ネットワークの提案
○中井優志, 柴田義孝 (岩手県大)
- 10 異種映像の組み合わせによる遠隔ヘルスケア教育支援システムの研究
○小林亮太, 米田祐也, 橋本浩二 (岩手県大), 佐々木由香 (三重県看護大), 柴田義孝 (岩手県大)

学生セッション [7T 会場] (3月10日 (金) 14:30 ~ 17:30)

- コミュニケーション一般** 座長 井上 智雄 (筑波大)
- 1 携帯電話を用いた学習ゲームの枠組みと開発環境
○横江省宏 (電通大)
- 2 携帯電話向けプロジェクションシステムの開発
○田中真冴, 両見 茜, 福岡久雄 (松江高専)
- 3 RFID を用いて過失による個人情報漏洩を防ぐシステム
○大谷孝佑, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温 (東京工大)

- 4 相手の状況を表す音による状況アウェアネス支援に関する研究
○半場雄介, 金井秀明, 中田豊久, 國藤 進 (北陸先端大)
- 5 状態情報に基づく緩やかなコミュニケーションのための人間関係の把握に関する研究
○楠木孝太, 行天啓二, 大城英裕 (大分大)
- 6 ユーザの状態に対応して状態遷移するユーザインタフェースモデルの提案
○石井那由他, 市野 学 (電機大)
- 7 食材を媒体とした居住者間コミュニティ形成支援システム
○漆原誠二, 金井秀明, 中田豊久, 國藤 進 (北陸先端大)
- 8 遠隔コミュニケーションにおける香りを用いた Ambient Information の伝達
○山本翔太, 福井健太郎, 林 剛史, 重野 寛, 岡田謙一 (慶大)
- 9 異文化間コミュニケーションのための用例ベースのコミュニケーションツールの開発
○宮部真衣, 藤井薫和, 藤原義功, 重信智宏, 吉野 孝 (和歌山大), 内元清貴 (NICT), 石田 亨 (京大)
- 10 ヒット商品の社会的背景に関する検証手法
- 新聞記事に対するコレスポネンデンス分析 -
○三島大嗣 (同志社大), 杜 建廷 (関西学院大/同志社大), 金田重郎 (同志社大)

学生セッション [1U 会場] (3月7日 (火) 9:00 ~ 12:00)

- モデリング及びアニメーション** 座長 山口 泰 (東大)
- 1 人体動作測定における加速度積分による移動距離推定
○小嶋宣昌, 白井 大, 上田 穰 (会津大)
- 2 (講演取消)
- 3 顔面部三次元形状情報の利用に関する研究
○及川雄揮, 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 4 適応的データ構造を用いた気泡のアニメーション
○上田卓也, 藤澤 誠, 三浦憲二郎 (静岡大)
- 5 Extremal surface のポリゴンメッシュ化
○川田洋平, 杉浦秀高, 三浦憲二郎 (静岡大)
- 6 3D キャラクターモデルを再利用したデフォルメーション
○相馬大作, 高井昌彰 (北大), 高井那美 (北海道情報大)
- 7 レンジデータからの3次元合成オブジェクトの自動生成
○里 圭太, 岡田義広, 新島耕一 (九大)
- 8 組み立てやすさを考慮したパーツ分解によるポリゴンモデルの展開図作成
○岩泉朋樹, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 9 超刻刀: 削る操作に基づいた立体モデリングシステム
○平野晋一郎, 中山 健, 小林良岳, 前川 守 (電通大)
- 10 画像特徴に沿った四辺形ベース画像モザイク化
○小島加寿代, 高橋成雄, 西田友是 (東大)

学生セッション [2U 会場] (3月8日 (水) 13:15 ~ 15:15)

- 情報共有ソフトウェア** 座長 國藤 進 (北陸先端大)
- 1 Google Map を利用したモバイル協調学習システム
○田中洋和, 井上智雄 (筑波大)
- 2 Web サイト間キーワード共有による自律的関係創出機構の提案
○村田大樹, 小瀬木浩昭, 武田正之 (東理大)
- 3 チャットソフトウェアによる遠隔協調学習の学習支援
○兼子重人, 高田昭伸, 高橋俊哉, 小泉寿男 (電機大)
- 4 所在地情報を持つ地図を活用したメーリングリスト管理システムの構築
○西岡 大, 後藤幸功, 村山優子 (岩手県大)
- 5 個人用知的移動体における体験コンテンツ共有プラットフォーム
○小酒井一稔, 長尾 確 (名大)
- 6 個人用知的移動体における体験共有のためのコミュニケーション支援システム
○成田一生, 長尾 確 (名大)
- 7 P2P 上で情報共有をおこなうための情報管理機構の構築
○大塚雅史, 上原貴夫 (東京工大)
- 8 OpenOffice を用いたオーサリングツールの開発
○都原安貴, 塚本享治 (東京工大)

デモセッション [デモ会場]

- デ-02 (3月8日 (水))
小型で低コストなりリアルタイム3次元画像入力装置
○沼崎俊一, 土井美和子 (東芝)
- デ-03 (3月9日 (木))
書籍等の所有物の管理および推薦と共有を行う Web システム
○山村武司, 千種康民 (東京工大)

デ-08 (3月8日(水))

創作メディア作成支援のための拡張現実による情報提示
○四元隆宏, 米元 聡 (九産大)

(コンピュータと人間社会)

一般セッション [5G会場] (3月9日(木) 14:30 ~ 17:30)

産業と医療の情報システム 座長 山口 高平 (慶大)

- 遠隔監視システム構築に向けた機器仮想化オブジェクトプラグインの可能性について (第二報)
○相馬臣彦, 森本喜一郎, 松家英雄 (産能大)
- 生産ライン監視システムの動的変更可能な GUI の構築
○王 立傑, 相馬臣彦, 森本喜一郎, 松家英雄 (産能大)
- ITIL 準拠運用監視ナビゲータの開発 ○村澤 靖, 金子洋介 (三菱)
- リプレース工事計画のビジュアル化
○樋口重雄, 板垣澄人, 介中雅彦 (日立プラント建設)
- 生活パターンの長期モニタリングによる健康状態の推定
○塚本吉俊, 奈須野雅明 (富山県工業技術センター), 池谷 薫 (立山システム研究所)
- 健康生活計画:生活習慣病を予防するための新たな健康教育方法への取り組み
○富樫 敦, 及川雄一, 西城英之 (宮城大), 蓬菜一郎, 板橋吾一 (仙台応用情報学研究振興財団), 吉田俊子 (宮城大), 野口正一 (仙台応用情報学研究振興財団)
- 訪問看護師支援のための点滴モニタリングシステムの実装
○荒井順平 (山形県産業技術短大), 小山明夫 (山形大), レオナルド バロリ (福岡工大)
- 動画による救急処置記録システム
○浅井博次 (岐阜県生産情報技術研), 速水 悟 (岐阜大), 金川 誠, 石井洋平 (三洋電機), 棚橋英樹 (岐阜県生産情報技術研)

一般セッション [6G会場] (3月10日(金) 9:00 ~ 12:00)

情報管理 座長 辻 秀一 (東海大)

- データ変換による異なる EDI 標準間のユーザ移行
○佐藤雅之 (三菱)
- 製造関連データを生産物データベースへ登録するデータ変換ツール
○坂下善彦 (湘南工科大), 東海林和弘 (岡谷精立工業)
- SCORM 規格によるコンテンツ分散共有のためのリポジトリシステムの開発 -Moodle を利用した実装-
○渡辺将史, 田中文基, 小野里雅彦 (北大)
- プロテオーム研究のためのオープンソース化した実験情報管理システムの開発
○森澤 拓, 廣田三佳子, 桜井洋子, 中村 愛, 戸田年総 (東京都老人総研)
- GPS ログデータからの周遊観光行動の推定及び分析
○長尾光悦, 川村秀憲, 山本雅人, 大内 東 (北大)
- Context Hand-Over: Managing User-Centric Context for Personalized Service Space
○張 世二, 間瀬健二, 梶田将司 (名大)
- 自己組織化マップを用いたユーザからの興味パターンの抽出
○堀 幸雄, 安達 章, 水田明宏, 今井慈朗 (香川大), 中山 堯 (神奈川大)
- インターネットを利用したチラシ閲覧サイト
○櫻井一徳, 本田真望, 大島邦夫 (東理大)

一般セッション [7G会場] (3月10日(金) 14:30 ~ 17:30)

コンピュータと社会 座長 前川 徹 (富士通総研)

- 社会安全システムの将来展望と要素技術の考察
○安藤茂樹 (阪市大)
- 地域コミュニティを対象とした水害リスクコミュニケーション支援システムの開発
○川島健一, 多々納裕一, 畑山満則 (京大)
- 減災情報共有プラットフォームの開発に関する研究
○浅野俊幸, 浦山利博, 齋藤真人, 佐々木光明, 大貫信治 (防災科学技研)
- Multipoint Sound and Image Generation Using Large Microphone and Camera Array
○Mehrdad Panahpour Tehrani, Yasushi Hirano, Toshiaki Fujii, Shoji Kajita, Kazuya Takeda, Kenji Mase (名大)

5 デジタル・アート [技法]、[作品]、[流通]

○糸魚川幸宏 (Wisdom Inc.)

- 情報伝達による流行のパターン形成:ファッションを題材にして
○河合孝尚 (静岡大), 橋本 剛 (北陸先端大), 泰中啓一 (静岡大)
- ユーザによりインストールされたソフトウェアの判別に関する検討
○石沢千佳子, 佐藤 充, 西田 真 (秋田大)
- 大規模システム開発プロジェクトマネージャに必要な能力の実態-18の開発事例から抽出した108の開発阻害要因分析-
○鹿島鉄雄 (富士通)
- 分散環境における行動履歴分析に基づくサービス提供方式の提案
○近藤靖司, 水嶋宏也 (NTT コムウェア)

一般セッション [1H会場] (3月7日(火) 9:00 ~ 12:00)

情報教育 座長 兼宗 進 (一橋大)

- 情報教育におけるグループ学習の効果-III
○寺川佳代子 (常磐会学園大), 喜多 一 (京大)
- 情報処理教育と基礎概念について ○小林 仁 (鎌倉女子短大)
- (講演取消)
- SIEM アセスメント尺度による異なる教員のプログラミング入門教育の分析
○土肥紳一, 宮川 治, 今野紀子 (電機大)
- サーバ・クライアント型 TCP/IP 学習ツールの開発
○荒井正之 (帝京大), 相馬武紀 (アイ電子工業), 高橋 温 (もったいない), 池田勇介 (アイ・シー・エス)
- 知的生産における理解度分析方法論
○志水信幸, 奥村年久, 太田秀昭 (ソフトピアジャパン), 角 行之 (情報文明文化研究所)
- 学生実験用プロセッサボードの開発
○吉岡良雄 (弘前大), 上谷明義 (コアテクノ)
- 画像情報処理設計
-ウォールシュ・アダマール変換、並列処理、画像情報処理定理-
○今井幸雄 (東海大)

一般セッション [3H会場] (3月8日(水) 15:30 ~ 18:00)

教育システム (1) 座長 金子 敬一 (農工大)

- ヘルプデスク支援システムに適する情報抽出法
○池田直哉, 藤原祥隆, 吉田秀樹 (北見工大)
- デスク型 PC を利用した情報教育学習環境の構築
○吉岡 亨, 飯倉道雄, 樺澤康夫 (日本工大)
- 拡張オーバレイモデルの実験による有効性確認
○砂長 裕, 桜井将人, 山本洋介, 古宮誠一 (芝浦工大)
- シングルタスクドリルの携帯電話への応用に関する研究
○工藤雅之 (北海道工大), 増井雄一郎 (ハイセック), 大堀隆文, 川上 敬, 木下正博 (北海道工大), 大淵一博 (札幌市高専)
- 教育実習事前指導 Web システムの提案
○松本亜紀, 田中雅章 (鈴鹿国際短大)
- パワーベース構築によるインタラクティブシステム
○清水次朗 (福岡工大)
- ネットワーク機器遠隔実習システムの開発
○山口広行, 松浦幸成, 三浦晃一郎, 小玉成人, 林 剛 (八戸工大)

一般セッション [4H会場] (3月9日(木) 9:00 ~ 12:00)

教育支援 座長 大即 洋子 (清和大)

- Web 情報を活用した環境調和型エネルギーシステム教材の開発
○安江正治 (宮城教育大)
- e-Learning システムにおける教材作成・管理システム
○藤岡透悟, 田中千代治 (阪工大)
- デジタルコンテンツ利用を促進する学習指導案設計システムの設計
○福本 徹 (国立教育政策研)
- OPE プロジェクトとその進捗状況 ○原 元司 (松江高専), 山本喜一 (OpenEdu プロジェクト), 白石啓一 (詫間電波高専), 白濱成希 (北九州高専), 本間啓道 (奈良高専), 桐山和彦 (鳥羽商船高専), 岡田 正 (津山高専)
- OPE ユーザランドインストーラ (opeu) による実証実験結果について
○桐山和彦 (鳥羽商船高専), 白石啓一 (詫間電波高専), 原 元司 (松江高専), 山本喜一 (OpenEdu プロジェクト), 本間啓道 (奈良高専), 白濱成希 (北九州高専), 岡田 正 (津山高専)

- 6 OPE インストール CD-ROM の作成
○白石啓一 (詫間電波高専), 桐山和彦 (鳥羽商船高専), 原 元司 (松江高専), 山本喜一 (OpenEdu プロジェクト), 本間啓道 (奈良高専), 白濱成希 (北九州高専), 岡田 正 (津山高専)
- 7 経営シミュレーション演習のためのモデリング環境
○加藤美治 (武蔵大)
- 8 経済システムの定性モデリングと教育支援に関する評価
○松尾徳朗, 小松正樹, 大園忠親 (名工大), 伊藤孝行 (名工大/Harvard University/MIT), 新谷虎松 (名工大)
- 一般セッション [5H 会場] (3月9日 (木) 14:30 ~ 17:30)**
企業と情報システム 座長 神沼 靖子 (埼玉大)
- 1 北海道企業における情報技術の導入とセキュリティ対策の動向
○福永 厚, 天笠道裕, 田中央人 (北海学園大)
- 2 北海道企業における情報技術の経営戦略への活用とその効果
○天笠道裕, 福永 厚, 田中央人 (北海学園大)
- 3 認証ローミング技術を利用したビジネスモデルについて
○長坂和俊 (テブコシステムズ)
- 4 役割関係のモデル化によるビジネスプロセス分析手法の提案
○熊谷貴禎, 難波康晴 (日立)
- 5 ロケットを用いた衛星打上ビジネスのリスク評価手法
○高橋正和 (島根大), 河内啓輔 (ギャラクシーエクスプレス), 川崎恭史 (NEDO)
- 6 自動車修理工場向けの工程計画支援システムの試作
○高橋圭一 (近畿大), 西本七名代 (テクノス)
- 7 ビル設備台帳データの統合に関する一考察
○森川修一, 早川孝之 (三菱)
- 8 企業間協調型設計システムに関する考察 ○片岡正俊 (長岡技科大)
- 一般セッション [6H 会場] (3月10日 (金) 9:00 ~ 12:00)**
教育システム (2) 座長 中平 勝子 (長岡技科大)
- 1 自己説明のための教材とその効果について
○中津橋男, 多鹿秀継 (愛知教育大)
- 2 プログラミング課題の採点システムの拡張可能なフレームワーク
○内藤広志 (阪工大)
- 3 プログラミング演習の進捗状況のモニタリングシステム
○内藤広志 (阪工大)
- 4 KNOPPIX を用いたプログラミング言語仮想演習の効果
○小菅貴彦, 外川明子 (日本電子専門学校)
- 5 (講演取消)
- 6 実践力強化を指向した LAN 管理者教育の試み
○中川泰宏, 浮貝雅裕, 須田宇宙, 三井田惇郎 (千葉工大)
- 7 インターネット言語資源を利用した英文検証支援ツール
○安藤一秋, 綱嶋祐一 (香川大), 溝渕昭二 (近畿大)
- 8 システム開発演習における議論支援システムの開発
○三村美香子, 関葉留美, 渡辺美穂, 樋山淳雄, 横山節雄, 宮寺庸造 (東京学芸大)
- 一般セッション [7H 会場] (3月10日 (金) 14:30 ~ 17:30)**
e-learning 座長 渡辺 博芳 (帝京大)
- 1 ICT を利用した英語教育システムに関する研究
○小張敬之 (青学大)
- 2 コース管理システム WebCT とオープンソースのコミュニティサイト構築ソフト XOOPS およびオリジナル学習システムの連携
○榎本守伸 (別府大)
- 3 SCORM-LST:SCORM による e ラーニングシステムの記述
○森本康彦 (富士常葉大), 植野真臣 (長岡技科大), 柴田晋吾 (コンパック), 横山節雄, 宮寺庸造 (東京学芸大)
- 4 日本の教育環境への適合を目指す授業支援型 e ラーニングシステム CEAS-JSF+Spring+Hibernate を用いたシステム再構築 -
○児山享弘, 小山和倫, 植木泰博, 冬木正彦, 荒川雅裕 (関西大)
- 5 日本の教育環境への適合を目指す授業支援型 e ラーニングシステム CEAS- システム機能拡張と支援モデルの発展 -
○小山和倫, 児山享弘, 植木泰博, 冬木正彦, 荒川雅裕, 堂垣正博 (関西大)
- 6 アノト方式デジタルペンの e-Learning 適用に関する一考察
○川西雪也, 小松川浩 (千歳科技大)
- 7 協調学習における学習オブジェクト系列化におけるコンセプトマップの利用に関する考察
○斎藤 一, 小笠原有正, 齋藤健司, 前田 隆 (北海道情報大)
- 8 相互編集機能を持つ Web ベース協調的論文作成支援システムの提案
○藤本貴之 (神奈川工科大)
- 学生セッション [4U 会場] (3月9日 (木) 9:00 ~ 12:00)**
自律的学習支援 座長 佐渡 一広 (群馬大)
- 1 協調的作問可能な WBT システムの適用・評価
-小学生を対象とした学習意欲向上の試み -
○若林俊郎, 高木正則, 勅使河原可海 (創価大)
- 2 e-Learning を活用した授業支援モデルに基づく LMS の開発
○熱田智士, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 3 電子シラバスを用いた大学教養教育における科目選択支援
○由谷真之, 森 幹彦, 喜多 一 (京大)
- 4 遠隔学習における対面コラボレーション方式
○川村和豊, 高田昭伸, 高橋稔哉, 小泉寿男 (電機大)
- 5 遠隔講義内容のアーカイブシステムの検討
○秋元英司, 高田昭伸, 高橋稔哉, 小泉寿男 (電機大)
- 6 定性的手法を用いた環境分析と教育支援システムの構築
○金 慶喜, 松尾徳朗, 小松正樹, 大園忠親, 伊藤孝行, 新谷虎松 (名工大)
- 7 保育者の気づきを喚起する行動量に基づく観察手法
-Ward 法によるクラスタリングとその評価 -
○三木紀佳 (同志社大), 糠野亜紀, 新谷公朗 (常磐会短大), 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 8 統計手法による幼稚園・保育所における保育内容の分析手法の提案
-観察記録の分析による保育内容に関する一考察 -
○川上友香子 (同志社大), 糠野亜紀, 新谷公朗 (常磐会短大), 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 9 子どもの成長段階に適切可能な発達記録とそのシステム化
○秋永美香, 浅野雅哉, 笹田慶二郎 (同志社大), 糠野亜紀, 新谷公朗 (常磐会短大), 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 10 自律的な学習支援を試みる e ラーニングシステムの開発
○庄司慶市, 上野春毅, 渡邊文子, 小松川浩 (千歳科技大)
- 11 課題提示エージェントによる適応型 e ラーニングシステムに関する研究
○渡邊文子, 庄司慶市, 友田成則, 小松川浩 (千歳科技大)
- 学生セッション [5U 会場] (3月9日 (木) 14:30 ~ 17:30)**
エンタテインメントコンピューティング 座長 稲見 昌彦 (電通大)
- 1 角度配色法を応用したメイクアップサポートシステムの構築
○伊藤明代, 米田多江, 佐々木淳, 船生 豊 (岩手県大)
- 2 映画撮影におけるスクリプター支援システム
○植沢 健, 市村 哲, 松下 温 (東京工科大)
- 3 眼球運動を利用した仮想カメラワーク
○楠本隆緒 (東京工科大), 中村亮太 (慶大), 井上亮文, 市村 哲, 松下 温 (東京工科大)
- 4 雑音・音楽の同化により聴きやすさを向上させる携帯型音楽プレイヤー
○備瀬翔平, 井上亮文, 市村 哲, 松下 温 (東京工科大)
- 5 GPS 機能付き携帯電話を用いたエリア内コミュニケーションシステム
○草野友徳, 井上道哉, 大滝由明, 長澤可也 (湘南工科大)
- 6 Aspect-based Creativity Support System ○Jens Balvig (東海大)
- 7 ゲーム制作のための 3D グラフィック仕様検討支援シミュレーション
○新聞信之, 宮岡伸一郎 (東京工科大), 山路和紀 (プレミアムエージェンシー & EEN)
- 8 物語構造分析手法の RPG 分析への応用
○大木智世, 西島芳菜, 内田彩子, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 9 映像作品における比喩表現に関する構造分析的検討
○奈良知美, 田中香葉江, 木田小百合, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 10 アニメーションの影響力の分析に関する研究
-物語構造分析の応用の一事例として -
○土肥千永子, 福島知子, 大津有加, 有井嘉奈子, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 11 デザイン 2 次元コードの開発
○下向宏昌, 佐々木淳, 米田多江, 船生 豊 (岩手県大)

学生セッション [6U会場] (3月10日(金) 9:00～12:00)

コンピュータと社会 座長 仲谷 善雄 (立命館大)

- 震災被害リスクコミュニケーションの研究
○奥村一守, 池田哲夫 (岩手県大), 竹内郁夫 (地震防災フロンティア研究センター), 桑田善隆 (NTT データ), 高山 毅 (岩手県大)
- 緊急地震速報を用いた個人適応型家電制御システム
○坂本良太, 粉川貴至, 小川 均 (立命館大)
- 広域災害情報共有システムのためのロバストな通信基盤の提案と構築
○越後博之 (岩手県大), 浅見公一, 湯瀬裕昭 (静岡県大), 小島誠一郎 (東京いのちのポータルサイト), 山瀬敏郎 (消防科学総合センター), 沢野伸浩 (星陵女子短大), 千川剛史 (大妻女子大), 高畑一夫 (埼玉工大), 柴田義孝 (岩手県大)
- 地震災害時における初動活動支援システムの検討
○沖 晁嗣, 深田秀実 (岩手県大), 三田地道明 (ホロニックシステムズ), 池田哲夫, 高山 毅 (岩手県大)
- 災害対策本部・現場情報共有システムにおけるクライアントシステムの開発と検証
○小池英之 (電通大)
- モバイルルーターを用いた全方位映像による道路状況把握システム
○寺戸一真, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 土地勘のない場所で被災した人の支援方法に関する検討
○前田恵理, 仲谷善雄 (立命館大)
- マルチエージェントによる国際システムのシミュレーション
○渡辺 満, 小原和博 (千葉工大)
- 人工市場 U-Mart を用いた市場分析
○青木邦行, 参沢匡将, 下川哲矢, 大島邦夫 (東理大)
- 高校における情報セキュリティ教育の提案
○今川俊明, 辻 秀一 (東海大)
- ソフトウェア特許における明細書作成支援法の提案
○伊藤星子, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)

学生セッション [7U会場] (3月10日(金) 14:30～17:30)

医療情報システム 座長 松家 英雄 (産能大)

- 脳神経外科における手術経路検討のための血管操作インタフェース
○中西悠介, 松田浩一 (岩手県大), 井上 敬, 小川 彰 (岩手医大)
- 携帯電話を利用した予防接種支援システムにおける接種情報提供法
○佐々木晃, 宇土直哉, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和 (岩手県大)
- OCT を利用した眼底ボリュームデータ構築のための画像処理手法
○鈴木 聡, 伊藤史人, 土井章男 (岩手県大)
- 自己組織化マップによる食品分類とヘルスケアへの応用
○植田 豊, 小原和博 (千葉工大)
- レセプトソフト ORCA を用いた医療情報収集システムの構築
○幸村陽子, 藤井薫和, 吉野 孝 (和歌山大), 楠本嘉幹 (サイバーリンクス), 入江真行 (和歌山県医大)
- 在宅介護者及びヘルパーを支援する遠隔カンファレンスシステム
○佐々木聡, 小山明夫 (山形大)
- IC タグを用いた薬の飲み忘れ・誤飲防止
○新越健一, 伊藤雅仁, 松下 温 (東京工大)
- Structure-based Drug Design におけるソフトウェアの設計
○清 一人 (東理大), 平石広典 (ウイズダムテック), 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 温泉療法を考慮した温泉地提案システムの構築
○高橋定義, 佐々木淳, 米田多江, 船生 豊 (岩手県大)
- 過疎地医師用コンサルテーションシステムの設計と開発
○後藤隆夫, 金谷彰博, 高山 毅 (岩手県大), 石木幹人 (岩手県立高田病院), 池田哲夫 (岩手県大)

学生セッション [1V会場] (3月7日(火) 9:00～12:00)

教育システム (1) 座長 中野 由章 (千里金蘭大)

- Blog を用いたデジタルポートフォリオの支援についての検討
○松田 武, 齋藤健司, 斎藤 一, 前田 隆 (北海道情報大)
- 自主学習支援ロボットを導入した教育システムに関する研究
○後藤友美, 森田 徹 (久留米大)
- Java プログラミング初等教育統合環境における専用エディタの構築
○米田毅浩, 石井和佳奈, 澤田英敏, 山本啓介, 高岡詠子 (千歳科大)

教材配信の場としての Blog の活用

- 川原真生, 志田晃一郎, 横山孝典, 吉田国子 (武蔵工大)
- 理工系教育支援のための e ラーニングシステムの実証開発
○佐々木英嵩, 佐藤 秀, 花田政紀, 山川広人, 小松川浩 (千歳科大)
 - LOM を用いた知識検索を有する e ラーニングシステムの開発と大学数学への適用
○友田成則, 茂木正憲, 渡邊文子, 今井順一, 小松川浩 (千歳科大)
 - ウェブ教材のためのマルチユーザ付箋システム
○加藤数孝, 沖山 新, 渡辺博芳 (帝京大)
 - グラフアルゴリズムを対象とした教育支援システムの開発
○内藤智唯, 稲垣 宏 (豊田高専)
 - 作問による協調学習支援システムの構築
○平井佑樹, 樋山淳雄 (東京学芸大)
 - テキストマイニングによる授業評価アンケートの分析
○磯田有希, 宇都宮公訓 (筑波大)
 - デバイス制御を備えた SH-3 シミュレータの開発
○川口貴弘, 西野洋介, 早川栄一 (拓大)

学生セッション [2V会場] (3月8日(水) 13:15～15:15)

バイオ情報学と身体情報処理 座長 関嶋 政和 (産総研)

- Multi-Domain Hmsearch のシミュレーションデータセットを用いた実験による評価
○瀬下真吾, 賀屋秀隆, 松井藤五郎, 朽津和幸, 大和田勇人 (東理大)
- 生物学の知識の埋め込みを可能とするモチーフ検索システムの開発
○吉原久雄, 松井藤五郎, 賀屋秀隆, 大和田勇人, 朽津和幸 (東理大)
- 塩基配列データの圧縮率による生物種の比較法
○高島弘明, 吉原郁夫, 山森一人 (宮崎大), 菅原 研 (東北学院大), 剣持直哉 (宮崎大)
- ベイジアンネットワークによる遺伝子ネットワークの推定
○島田公敬 (芝浦工大)

(5K セッションへ移動)

- 格子上の餌 - 捕食者系における移動の効果
○柏木亨平, 泰中啓一, 河合孝尚, 橋本 剛, 林 太郎, 吉村 仁, 北村孔志 (静岡大)
- 陸上競技大会における Web エントリーと競技結果分析システムの構築
○千葉康太郎, 植竹俊文, 菅原光政 (岩手県大)
- 持続力の向上を支援するアプリケーションの開発
○山内秀行, 小飼 敬, 杉村 康 (茨城高専)

学生セッション [3V会場] (3月8日(水) 15:30～18:00)

組織と情報システム 座長 鎌田真由美 (日本 IBM)

- (講演取消)
- 学生参加型の授業支援システムにおけるユーティリティの改良
○鈴木 崇, 渡辺博芳, 古川文人, 高井久美子, 及川芳恵, 武井恵雄 (帝京大)
- 学童保育事業における事務支援システム
○伊吹山香理, 岡本 東, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 階層分析によるセキュリティ対策評価法
○大村博敏, 佐藤 直 (情報セキュリティ大)
- 地方自治体への情報システム導入に伴う BPR に関する一考察
○福井潤之, 阿部昭博, 南野謙一, 渡邊慶和 (岩手県大)
- GIS を用いた老人福祉施設のエリアマーケティング
○小崎千香, 阿部昭博, 南野謙一, 渡邊慶和 (岩手県大)
- 脅威の変化に対応した動的なリスク分析手法の検討
○川西英明, ギジェルモ・オラシオ ラミレス・カセレス, 勅使河原可海 (創価大)
- 連携するシステムを構築するための開発方式の提案
○大澤真彦, 片岡信弘 (東海大)
- SOA による部品連携システムの研究
○韓 斌, 森本喜一郎, 松家英雄 (産能大)

学生セッション [4V会場] (3月9日(木) 9:00～12:00)

教育システム (2) 座長 石田 厚子 (日立)

- フィルタリング技術を活用した教育支援システム Airs について
○高橋泰樹, 松澤俊典, 山口未来, 和田雄次 (電機大)

- 2 アセンブリ言語学習シミュレータの開発
○黒田順子, 早川栄一 (拓大)
- 3 電子教材における学習概念の出現順序評価に関する基礎的研究
○吉村智史, 池辺正典, 田中成典, 中村健二 (関西大)
- 4 重要語句に学習者の注目を集めることができる講義コンテンツの自動編集システム
○奈良澤圭之 (東京工科大), 中村亮太 (慶大), 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 5 Web 等の電子文書を基にした教育用資料作成支援システムの構築
○羽根昭裕, 藤澤公也 (東京工科大)
- 6 マルチレイヤーディスプレイを用いた識字学習システムの評価
○池下花恵, 加藤 亮, 河合隆史 (早大), 山形 仁, 山崎 隆 (ナムコ), 佐藤 正 (ニューテクノロジー振興財団), 宮尾益知 (国立成育医療センター)
- 7 バーチャル創造館
- コピーレフトに基づく教育利用目的 Web コンテンツ使用ルールの検討 -
○浅水悠子, 丸山有紀子, 谷口唯成, 田中 真, 日向寺祥子, 前田陽二, 上村龍太郎 (東海大)
- 8 プライバシーに配慮した学習記録システムの開発
○谷野智章 (帝京大)
- 9 課題の解としての GUI プログラムの評価システム
○横濱彰則, 海尻賢二, 海谷治彦 (信州大)
- 10 論理設計ツールとの連携を考慮した CPU 作成支援ツールの開発
○福田 純, 中村保之, 西田誠幸 (拓大)
- 11 プログラミング初学者のトレース能力の修得を目的とした学習支援システムの開発
○山崎倫巳 (帝京大)
- 6 ニューラルネットワークを用いた局所気象予測に基づく大学生協における購買パターンの予測
○海浦隆一, 徳永幸生 (芝浦工大)
- 7 農産物産地直売所における販売流通システムの開発
○半澤幸恵, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 8 PHP+Smarty による単一データベースによる複数サイトの構築
○北浦慶尚, 前田奈緒美, 植村俊介, 植木泰博, 冬木正彦 (関西大), 堀川和義 (e-kikai), 荒川雅裕 (関西大)
- 9 コンテキスト・ウェアネスを考慮した適応的アプリケーションに関する研究
○中瀬良和, 相場 亮 (芝浦工大)
- 10 競争着信選択 ACD の実装と評価
○島田裕也, 菱沼千明 (東京工科大)
- 11 紛失多項式評価の拡張と安全な情報埋め込みサービスの一構成
○平原耕一, 折笠大典, 小瀬木浩昭, 武田正之 (東理大)

デモセッション [デモ会場]

デ-07 (3月8日(水), 3月9日(木), 3月10日(金))

OPE によるマルチデスクトップ環境の作成

○桐山和彦 (鳥羽船舶高専), 白石啓一 (民間電波高専), 原 元司 (松江高専), 山本喜一 (OpenEdu プロジェクト), 本間啓道 (奈良高専), 白濱成希 (北九州高専), 岡田 正 (津山高専)

デ-16 (3月8日(水), 3月9日(木), 3月10日(金))

KNOPPIX 教育利用研究会による KNOPPIX 教育導入事例調査

○志子田有光 (東北学院大), 濱田龍義 (福岡大), 小菅貴彦 (日本電子専門学校), 佐々木整 (拓大), 須崎有康 (産総研), 千葉大作 (アルファシステムズ), 小野 孝 (東北学院大)

学生セッション [5V 会場] (3月9日(木) 14:30 ~ 17:30)

教育システム (3) 座長 小山 博史 (ガリレオ)

- 1 グループウェアベースの協調学習支援システムの開発と評価 (1)
○加藤祐介, 小林正和, 田邊 学, 小松川浩 (千歳科技大)
- 2 グループウェアベースの協調学習支援システムの開発と評価 (2)
○登り口泰久, 砂原 悟, 川西雪也 (千歳科技大), 中嶋輝明 (北星学園大), 小松川浩 (千歳科技大)
- 3 博物館での見学履歴を活用した Web による事後学習支援システムの提案
○竹島さや香, 守屋和幸 (京大)
- 4 Web サービスを利用した携帯電話によるアンケート評価サポートの試行
○黒田亮平, 辻 光宏 (関西大)
- 5 赤外線データ放送を用いた授業支援型 u-Learning システムの提案
○川島龍太, 蔡 大維 (岩手県大)
- 6 習熟度を考慮した敬語学習支援システムの開発
○小田切直, 樽松理樹, 藤田ハミド (岩手県大)
- 7 テキストマイニング技術の活用へ向けた実験支援システム
○丸山 広, 中村正太, 高橋知七, 中村太一 (東京工科大)
- 8 e-Learning における学習支援システム
○土屋嘉宏, 伊與田光宏, 山下和也, 前川仁孝 (千葉工大)
- 9 中小建設業者の CALS 導入のための e-Learning システムの研究開発
○鳥形由希, 物部寛太郎, 田中成典 (関西大)
- 10 Inverse Kinematics を用いた教師役 CG キャラクターの動作制御
○荻野裕介, 米山正秀, 村上 真, 五味真理子 (東洋大)
- 11 高校課程 "情報 B" 教科書の試作
○青柳真純, 三浦孝夫 (法大)

学生セッション [7V 会場] (3月10日(金) 14:30 ~ 17:30)

情報システムの実例 座長 刀川 真 (NTT データ)

- 1 Web 情報を利用したスーパーマーケットの顧客サービスシステムの提案
○陳 磊, 松家英雄, 森本喜一郎 (産能大)
- 2 商品購入の前後関係を考慮したレコメンド方式の拡張と実データでの評価
○佐々木雄大, 高山 毅, 池田哲夫 (岩手県大)
- 3 自動生成した Wrapper を用いた Web 情報の自動収集・提供システムに関する検討
○増田雄紀, 加藤誠巳 (上智大)
- 4 商品情報サイトの横断検索と商品情報の比較を支援するシステムの開発と評価
○米坂元宏, 植木泰博 (関西大), 堀川和義 (e-kikai), 冬木正彦, 荒川雅裕 (関西大)
- 5 ソーシャルネットを用いたオントロジーの抽出
○土屋吉寛 (電機大)

第68回全国大会委員名簿

第68回全国大会組織委員会

委員長 白鳥 則郎 (東北大)
副委員長 山田 敬嗣 (NEC)
委員 小橋 喜嗣 (NTT), 久世 和資 (日本IBM), 椎塚 久雄 (工学院大), 下間 芳樹 (三菱), 竹林 洋一 (静岡大),
土井 美和子 (東芝), 西田 豊明 (京大), 本位田 真一 (NII), 松本 裕治 (奈良先端大), 丸山 文宏 (富士通研)

第68回全国大会プログラム委員会

委員長 椎塚 久雄 (工学院大)
副委員長 管村 昇 (工学院大)
委員 酒井 哲也 (東芝), 須田 宇宙 (千葉工大), 祖父江 恒夫 (日立), 高汐 一紀 (慶大), 田中 久弥 (工学院大),
塚本 節男 (NEC), 寺田 真敏 (日立), 土井 美和子 (東芝), 永野 秀尚 (NTT), 松下 智 (NEC),
水田 秀行 (日本IBM), 三宅 滋 (日立), 山田 敬嗣 (NEC), 山田 誠二 (NII)

第68回全国大会現地実行委員会

委員長 椎塚 久雄 (工学院大)
委員 小野 諭 (工学院大), 小西 克己 (工学院大), 管村 昇 (工学院大), 高橋 静昭 (工学院大),
田中 久弥 (工学院大), 長嶋 祐二 (工学院大), 藤井 昭宏 (工学院大), 三好 和憲 (工学院大)

第68回全国大会プログラム編成WG

委員長 椎塚 久雄 (工学院大)
委員 相田 満 (国文学研究資料館), 秋元 良仁 (凸版印刷), 有次 正義 (群馬大), 安崎 篤郎 (日立),
五十嵐 健夫 (東大), 伊藤 毅志 (電通大), 岸場 清悟 (広島大), 小池 賢一 (三菱), 鯉淵 道紘 (NII),
爰島 快行 (東芝), 鈴木 卓治 (国立歴史民俗博), 高汐 一紀 (慶大), 高松 淳 (東大), 立田 ルミ (獨協大),
土屋 英亮 (電通大), 土井 洋 (情報セキュリティ大), 永吉 功 (メディアグレー), 西田 修造 (シャープ),
新田 祐介 (ルネサステクノロジ), 橋本 泰一 (東工大), 藤田 茂 (千葉工大), 古市 実裕 (日本IBM),
古瀬 慶博 (三菱スペースソフト), 堀内 浩規 (KDDI研), 堀内 靖雄 (千葉大), 松永 賢次 (専修大),
三宅 滋 (日立), 森 辰則 (横浜国大), 屋代 智之 (千葉工大), 山下 博之 (JST), 山田 誠二 (NII),
山田 武志 (筑波大), 脇田 建 (東工大), 鷲崎 弘宜 (NII), 渡邊 淳司 (東大), 渡辺 知恵美 (お茶の水女子大)

第68回全国大会 イベント企画

特別セッション (1) : ここまで来たコンピュータ将棋
松下 智 (NEC)

特別セッション (2) : サービス・サイエンスの出現
水田 秀行 (日本IBM)

特別セッション (3) : Symbiotic Computing シンポジウム
山田 敬嗣 (NEC)

特別セッション (4) : ブロードバンド情報発信・BBコンテンツ
椎塚 久雄 (工学院大)

特別セッション (5) : 競争と協調による情報検索研究の深耕: NTCIRの足跡と未来
酒井 哲也 (東芝)

シンポジウム: 日本学会会議と「情報学」の新展開
笈 捷彦 (早大)

研究グループ企画: ありかな? 「てごろでがっちり情報保障」～障害のある人と考える機会を, もっと
萩川 友宏 (静岡大), 福祉社会システム実務研究グループ

教育シンポジウム (1) : 理工系情報専門学科学生の実力は?: 達成度調査の結果と分析
掛下 哲郎, 情報処理教育委員会, アクレディテーション委員会

教育シンポジウム (2) : 高校の「情報科」教員養成における課題

ー企業・社会と高校のギャップ, 教員養成制度と教員採用のギャップー
辰己 丈夫 (農工大), 初等・中等情報教育小委員会

教育シンポジウム (3) : 大学の一般情報処理教育のあり方について ー2006年問題を考えるー
河村 一樹 (東京国際大), 駒谷 昇一 (NTTソフトウェア), 一般情報処理教育小委員会

今大会では、工学院大学様より会場のご提供を頂き誠にありがとうございました。
ここに厚くお礼申し上げます。